

**学生の確保の見通し等を記載した書類**  
(東京農業大学 国際食料情報学部 国際食農科学科)

■ 目 次 ■

|   |   |
|---|---|
| <b>ア 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況</b>           | 1 |
| 1. 学生確保の見通し                               | 1 |
| (1) 入学定員設定の考え方                            | 1 |
| (2) 定員充足の見込みと根拠                           | 1 |
| 1) 本学及び他大学等の入試動向                          | 1 |
| 2) 新設学科に対する入学意向調査                         | 3 |
| (3) 学生納付金設定の考え方                           | 3 |
| 2. 学生確保に向けた具体的な取組状況                       | 4 |
| (1) 学生確保に向けた具体的な取組状況（予定含む）                | 4 |
| (2) 学生確保についての具体的な取組状況及びその効果、反応等           | 5 |
| <br><b>イ 人材需要の動向等社会の要請</b>                | 5 |
| 1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）            | 5 |
| 2. 上記が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 | 6 |
| (1) 養成する人材養成に応じた人材需要                      | 6 |
| (2) 卒業生に対する採用意向調査                         | 7 |

## **ア 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況**

### **1. 学生確保の見通し**

#### **(1) 入学定員設定の考え方**

本学科は、「1) 食と農にかかわるあらゆる科学、すなわち生産から消費さらに調理を含め栄養学的知見まで食に関連する一連のプロセスの包括的な学習」、「2) 食や農に関わる歴史や文化的社会的背景、政策や制度に関する幅広い知識の習得」、「3) 今後ますます重要になるフィールドワーク、実習など実践性の高い教育」、を実現することをその特色としている。それは、食と農に関わる現場において、実践力をもつ人材を養成するためである。すなわち、本学科は専門化・細分化の進む農学分野において、自然科学から社会科学、人文科学までを幅広く修得し、その上で一つの分野の知識を深める事を通じて、実践性の高い知識を獲得できるというところにその機能をもつ。本学の教育理念を体現し、現場で能力を発揮し社会に貢献できる幅広い知識とスキルを修得できることが、本学科の特色である。

そのため、本学科では、演習、実験、実習科目を多く取り入れ、様々な体験や経験を通じ、学生の主体的な学修を促す質の高い学士課程教育を編成している。

中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」には、これらの予測困難な時代において高等教育段階で培うことが求められる「学士力」の重要な要素が示されている。

本学では、研究室での教育研究活動や集団生活を「学士力」の重要な要素を育む源として位置付けている。本学における教育研究組織の最小ユニットは研究室であり、教員は学生への専門教育指導や課外活動のサポートの他、学生生活指導や就職支援も行っている。そのため、学生は研究室での集団生活を通じて、社会生活を送る上で重要な教養や専門知識のみならず、他者とのコミュニケーション能力等も身に付けることができる。

本学は、研究室を中心とした教育システムを有効に機能させ、掲げた「教育上の目的」を達成可能とする適正な入学定員等について、本学の資源を最大限に活用することを前提に、教員数や施設設備、学生納付金等の面から検討し次のとおり設定した。

① 入学定員 100 人（収容定員 400 人）

② 教員数 14 人

③ 初年度学生納付金 1,485,600 円

（入学会員料、授業料、実験実習演習費、施設設備費及び学生厚生費の合計）

#### **(2) 定員充足の見込みと根拠**

##### **1) 本学及び他大学等の入試動向**

内閣府が文部科学省の資料を基に作成した「18 歳人口と高等教育機関への進学率等の推移」[資料 1](#)によると、18 歳人口は、平成 21～32 年頃までほぼ横ばい（120 万人前後）で推移するが、平成 33 年頃から減少（114 万人）し、高等教育機関への進学率はここ数年頭打ちの傾向が示されている。

一方、日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、平成 23 年度に 69,494 人であった農学系の志願者数は、平成 27 年度には 85,235 人となり、5 年間で 11,259 人増（約 22.7% 増）となった。資料 2

また、下表の示すとおり、農学系を志望する受験生の多くは本学を志願先として認知しており、農学系の志願者数の増加は本学の学生確保の見通しを担保する大きな要因といえる。

志願者数（平成 23 年度から平成 27 年度）の推移

|              | 23 年度  | 24 年度  | 25 年度  | 26 年度  | 27 年度  |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 農学系(学部系統)（注） | 69,494 | 72,512 | 77,662 | 82,167 | 85,235 |
| 東京農業大学       | 31,881 | 31,834 | 33,076 | 34,153 | 31,231 |

（注）出典：日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」

日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」に基づき、平成 23 年～27 年までの 5 カ年における大学のカテゴリー別志願倍率を示したものである。これによると、本学と農学系の志願倍率は、他に比べいずれも高く、全国的な 18 歳人口の減少にかかわらず、本学は受験生から高い志願を維持している。

カテゴリー別志願倍率（平成 23 年度から平成 27 年度）の推移

| カテゴリー                    | 23 年度 | 24 年度 | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
|--------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全大学（注 1）                 | 7.09  | 7.02  | 7.39  | 7.53  | 7.58  |
| 入学定員(1500-3000 人)（注 1,2） | 8.05  | 8.07  | 8.52  | 9.07  | 9.07  |
| 東京都(所在地)（注 1）            | 9.99  | 9.67  | 9.75  | 9.68  | 9.63  |
| 農学系(学部系統)（注 1）           | 9.93  | 10.42 | 11.16 | 11.81 | 11.34 |
| 東京農業大学（注 1）              | 13.12 | 13.15 | 13.67 | 13.77 | 12.39 |

（注 1）出典：日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」

（注 2）本学の入学定員は 2,800 人（平成 29 年度予定）

志願倍率は次式による。志願者数 ÷ 入学定員

また、本学における直近 5 年間の入学志願動向をみると、志願者数は 30,000 人強、志願倍率（志願者数 ÷ 入学定員）は 12 倍から 13 倍で推移しており、いずれも全国平均を大きく上回っている。資料 3、資料 4

平成 27 年度入試を例に確認すると、志願者数の合計は 31,231 人であり、これは入学定員の 2,520 人の約 12.4 倍であり、過去の入試実績からも学生確保の見通しについて、充分に担保できる状況にある。

以上、一般的な志願動向及び本学のこれまでの入試実績から、本学科の設置にあたり、充分に学生確保の見込みがあると判断した。更に、本学科に対する高校生の入学意向を

把握するために、次の通りアンケート調査を行った。[資料5]

## 2) 新設学科に対する入学意向調査

### ① 調査対象者

アンケート調査は平成27年月～平成28年2月に、以下に示す高校2年生を対象に行った。

(A) 学科を新設する本学世田谷キャンパスの近隣に所在する高等学校、または、本学に進学実績のある高等学校を中心に1都1道16県（北海道、青森県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、三重県、熊本県）に所在する高等学校の在学者で、平成29年度大学進学対象となる高校2年生。

(B) 本学が開催、または参加するキャンパス見学会、進学相談会に参加した平成29年度大学進学対象となる高校2年生。

### ② 調査方法

アンケート調査は、(A) 学科を新設する本学世田谷キャンパスの近隣に所在する高等学校、または本学に進学実績のある高等学校に対して、新設する各学科の概要を示したりーフレット及びアンケート用紙を送付し、アンケート用紙に記入する方法、(B) 本学が開催、または参加するキャンパス見学会、進学相談会に参加した高校生に対して、会場、教室等で直接アンケート用紙に記入する方法、により実施した。

### ③ 調査結果

高校卒業後の進路について調査した結果、高校2年生61,693人のうち、49,007人(79.4%)が「4年制大学進学」を希望しており、「短期大学進学」は1,503人(2.4%)、合わせて50,510人(81.8%)が国内の高等教育機関への進学を希望している。さらに、「専門学校進学」5,308人(8.6%)を合わせると、55,818人(90.4%)が高等学校卒業後、進学を希望している。

進学を希望すると回答した55,818人のうち、本学科について「入学を希望する」と回答した高校2年生は236人となり、入学定員100人に対し、2.36倍の入学意向を示している。また、「入学を希望する」、「入学を検討する」と回答した高校2年生は合計1,297人となり、本学科の入学定員100人に対し、12.97倍の入学意向を示している。

以上の調査結果と、調査対象の高等学校以外からの高校生の進学も考えられることから、本学科の入学定員を満たす学生は十分に確保できるものと考える。

## (3) 学生納付金設定の考え方

国際食農科学科の教育目的を達成するため必要となる学生納付金について、本学の資源を最大限に利用することを前提に、設定した学生数と教員数及び必要となる施設設備等を基礎とし、初年度学生納付金（入学金、授業料、実験実習演習費、施設設備費及び

学生厚生費の合計)を1,485,600円に設定した。

本学科の初年度学生納付金の多寡について検討するために、ホームページ等の公開情報から本学科と類似する他大学の学科を特定し、日本私立大学団体連合会による「学生納付金等調査」をもとに比較調査を行った[資料6]。その結果、他大学(6大学)のうち、本学科の初年度学生納付金を下回ったのは2大学のみであった。また、類似する6大学の平均は1,546,333円であり、本学科より約60,000円高い設定となっている。

これらから、設定した学生納付金により、競合大学に対して学生確保の面における競争力が低下することはないと考える。

## 2. 学生確保に向けた具体的な取組状況

### (1) 学生確保に向けた具体的な取組状況(予定含む)

本学は建学の精神「人物を畠に還す」と教育の理念「実学主義」に基づき、教育研究活動に取り組んでいる。これを踏まえ、本学や農学系分野の特色及び各学科の教育内容等について、高校教員、保護者、受験生、予備校関係者等の理解を得るために様々な媒体を利用して広報活動を実施している。本学科における平成29年度の学生募集活動は既設学部が例年行う内容と同様に実施する予定である。また、農学系及び関連分野にも積極的に参加予定である。

- ① 進学相談会(首都圏私立大学進学相談会15大学[資料7]、農学・獣医学・生物環境系進学ガイダンス、大学フェア等)(動員数約1,631名)
- ② 高校訪問(訪問高校数831校)
- ③ 出張講義(出張高校数37校)
- ④ 大学見学(来学高校数39校、参加者821名)
- ⑤ 大学案内(学科、研究室、キャリア、入試日程等を紹介)
- ⑥ 新聞等(朝日、読売、日経新聞、高校生新聞等)[資料8]
- ⑦ 看板広告(本厚木駅)
- ⑧ 受験雑誌等(萤雪時代、大学発見ナビ、マナビジョンブック(保護者版)等)
- ⑨ WEB広報等(進学ネット、マナビジョン、パスナビ、マイナビ進学U-17等)、大学HP

※( )内数字は平成27年度実績

毎年開催している大学独自の各種イベント

- ① キャンパス見学ツアー(年2回開催)[資料9]・・・(世田谷1,875名、厚木521名、オホーツク135名)
- ② キャンパス見学会(各キャンパスごとに開催)[資料10]・・・(世田谷9,123名、厚木2,686名、オホーツク480名)
- ③ 収穫祭・進学相談会(各キャンパスごとに開催)[資料11]・・・(世田谷979名、厚木243名、オホーツク115名)
- ④ ユメナビ[資料12](219名) ミライガク[資料13](150名)

※( )内数字は平成27年度参加者数

## (2) 学生確保についての具体的な取組状況及びその効果、反応等

各種広報活動の実施により、入学定員を確保している。

充実した学生生活のため、アドミッションポリシーの発信や、学科の教育内容や特徴、ディプロマポリシー等を明確に説明することで、学生が希望に沿った学科を選択できるように取り組み、不本意入学をできるだけ防ぎ、卒業時に高い満足度が得られるように配慮している。

このような取り組みが、以下の入学定員に対する志願者の倍率に示されるとおり、効果がでているものと考える。

表-ア.3 全学部の志願者の推移（入学定員・志願者数（全入試制度）・志願倍率）

|      | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 入学定員 | 2,430 名  | 2,420 名  | 2,420 名  | 2,480 名  | 2,520 名  |
| 志願者数 | 31,881 名 | 31,834 名 | 33,076 名 | 34,153 名 | 31,233 名 |
| 志願倍率 | 13.12 倍  | 13.15 倍  | 13.67 倍  | 13.77 倍  | 12.39 倍  |

## イ 人材需要の動向等社会の要請

### 1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

#### (1) 養成する人材像

本学科は、以下の様な人材を養成する。

- 日本の多様な食農文化を継承し、より付加価値の高い農産物等の食材の生産、加工、流通に携わる食農事業実践者
- 地域社会が伝統的に育んできた食農文化を継承し、地域資源の活用をコーディネートし、多様な産業や活動の支援に携わる食農振興支援者
- 食農教育を通じた文化の継承とともに、新たな食農文化を創造し、地域から世界に向けて展開・発信できる食農教育・文化発信者

#### (2) 教育研究上の目的

本学科は、下記のような教育課程を充実させることにより、知識・技術、さらに調整能力や発信力を備えたアクティブな人材の養成にあたることを目的とする。

- 1) 食と農にかかるあらゆる科学、すなわち生産から消費さらに調理を含め栄養学的知見まで食に関連する一連のプロセスを包括的に学習することができる教育課程
- 2) 食や農に関わる歴史や文化的社会的背景、政策や制度に関して幅広い知識を得ることができる教育課程
- 3) 今後ますます重要なフィールドワーク、実習など実践性の高い教育課程

### (3) 卒業後の進路

本学科の卒業後の進路は、大学院進学の他、上述の「(a) 食農事業実践者」としては、農業経営、農業法人、食農起業、フードスペシャリスト、食品メーカー、商社、貿易などの職業、また、「(b) 食農振興支援者」としては、行政、JA、NPO、六次産業化プロデュースなどの進路、「(c) 食農教育・文化発信者」としては、教員（農業）、学芸員、NGO、マスメディア、出版などの進路を想定している。

## 2. 上記が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

### (1) 養成する人材養成に応じた人材需要

上述の 1. (1) 「養成する人材像」(a)(b)(c)のそれぞれについて、その職業等の人材需要の動向を各種資料により検討する。

#### (a) 「日本の多様な食農文化を継承し、より付加価値の高い農産物等の食材の生産、加工、流通に携わる食農事業実践者」について

##### ① 農業経営・農業法人の人材需要

農業就業者数の減少が長期的な趨勢であることは論を俟たないが、農家の後継者の就農である「新規自営農業就業者」の減少と比較して、「新規雇用就農者」は堅調に推移し、また「新規参入者」は増加しており、非農家出身者等を中心として、農業、また農業経営に携わる比率が高まっていることが明らかである。また、新規雇用就農者、新規参入者ともに 49 歳未満の比率が高く、さらに新規雇用就農者は女性の比率も高い。これらは、農業法人など家族経営外の経営形態の増加と、その従業員という形での就農の増加を示すものである。資料 14

##### ② 食品産業における人材需要

食品産業の就業者数が全産業に占める比率はおよそ 12%で堅調に推移しており、国内生産額が前経済活動に占める比率も 8~9%と安定している。本学科はこの分野に貢献できる人材を送り出すことにより、貢献していきたい。資料 15

また、本学科で取得することのできるフードスペシャリストの資格をもつ人材は、食品産業を支えるものとして期待されており、今後さらに需要が高まるものと考えられる。資料 16

#### (b) 「地域社会が伝統的に育んできた食農文化を継承し、地域資源の活用をコーディネートし、多様な産業や活動の支援に携わる食農振興支援者」について

##### ① 地域創生に貢献する人材需要

農山村を中心とした地域社会における地域貢献を若年者が果たす趣旨の制度は近年充実し始めている。これらの制度により、地域社会に居住し、様々な活動に従事し、地域での定住を目指す若者も多く、多くの地域社会や自治体が彼らの受入

を行ってきてている。本学科で学習した卒業生の進路の一つとして、地域おこし協力隊などの事業に応募し地域社会への貢献から自らの生き方を探っていく道があると思われる。地域おこし協力隊員数は飛躍的に増加しており、社会からの期待を示すものと考えられる。**資料 17**

## ② 六次産業化に貢献する人材需要

六次産業化に貢献する人材は、各地で必要とされており、助言をする六次産業化プランナーなど人材登録が進められている。**資料 18**

本学科で取得につながる食の六次産業化プロデューサーを取得し経験を重ねることにより、このような地域に貢献できる人材となることが期待できる。

### (c) 「食農教育を通じた文化の継承とともに、新たな食農文化を創造し、地域から世界に向けて展開・発信できる食農教育・文化発信者」について

#### ① 食農文化発信、インバウンド需要への対応に貢献する人材需要

和食に関わる世界における関心の増加を背景に、日本の農産物・食品の輸出への期待が高まっている。また、海外からの観光客の増大が指摘されるが、都市圏だけで無く地方を訪れる外国人旅行客も増加しており、日本における食や農業体験の需要（インバウンド需要）を、地域活性化につなげる事に関して、農林水産省も戦略として対応している。このような食農文化発信に関わる人材が各地で求められており、本学科が貢献することが期待できる。**資料 19、資料 20**

以上のように、本学科の卒業生の進路として想定している業界、職業においては今後の新たな人材需要およびその貢献への期待が高まっており、新たな学科の新設により養成された学生の進路は十分確保できると考えられる。

## （2）卒業生に対する採用意向調査

本学科の卒業生に対する人材需要の動向をみるために、本学卒業生の採用実績のある企業、または卒業生の就職が見込まれる企業等 4,000 社の採用担当者に対してアンケート調査を実施した。調査はアンケート用紙及び新設する各学科の概要を示したリーフレットを送付し、回答を依頼したものである。アンケート用紙は第三者機関へ企業等から直接郵送し、集計結果を第三者機関がとりまとめた。調査実施期間は、平成 27 年 9 月～11 月であり、有効回答数 945 件で、有効回収率は約 23.6%である。**資料 21[H1]**

はじめに、本学科の社会的必要性について調査した結果、回答のあった企業等945件のうち、「社会的必要性が高い分野である」が502件（53.1%）と最も多く、次いで「一応、社会的必要性を感じる」283 件（29.9%）、「わからない」103件（10.9%）、「あまり必要性を感じない」37件（3.9%）、「無回答」15件（1.6%）、「必要性はない」4件（0.4%）、「その他」1件（0.1%）の順になっている。なお、本学科について、「社会的必要性が高い分野である」、「一応、社会的必要性を感じる」の肯定的な回答を合算すると、785件（83.0%）となっている。

続いて、本学科の卒業生の採用意向調査の結果、回答のあった企業等945件のう

ち、「採用を検討したい」が470件（49.7%）と最も多い、次いで「採用したい」211件（22.3%）、「採用は考えない」208件（22.0%）、「無回答」56件（5.9%）の順になっている。なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、681件（72.0%）となっている。

最後に、肯定的な採用意向を示した681件に対して、本学科の卒業生の将来的な採用人数について調査したところ、「人数は未確定」が499件（73.3%）と最も多い、次いで「1人」119件（17.5%）、「2人」23件（3.4%）、「無回答」19件（2.8%）、「3人」10件（1.5%）、「5人以上」10件（1.5%）、「4人」1件（0.1%）の順になっている。[H2]

本学科の卒業生の採用に肯定的な回答数に、将来的な採用人数の各選択肢（「1人」、「2人」、「3人」、「4人」、「5人以上（5人として計算）」、「人数は未確定（1人として計算）」）を乗じ、これを合計した結果、採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、278人分となる。入学定員は100名であるため、2.78倍の採用意向を確保できている。また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向人数は748人となり、これは、入学定員100名に対して、7.48倍となる。

以上の調査結果と、今回の調査対象以外の進路も考えられることから、本学科の卒業生の進路は十分に確保できるものと考える。

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

(東京農業大学 国際食料情報学部 国際食農科学科)

### 資料目次

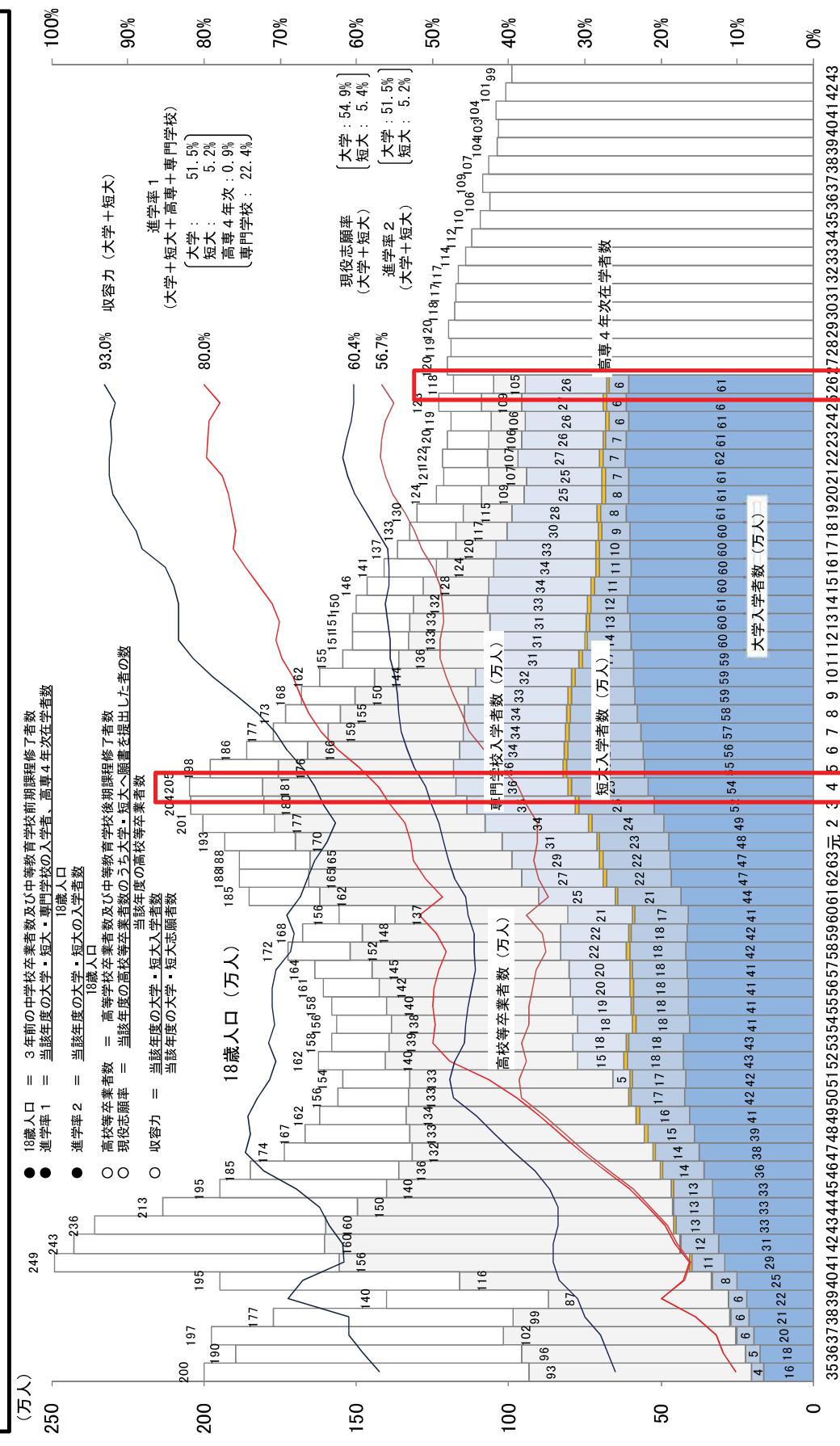
- 資料 1 18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移（内閣府）
- 資料 2 平成21年度～平成27年度農学系大学志願者数の推移
- 資料 3 平成23年度～平成27年度カテゴリー別志願倍率の推移
- 資料 4 平成23年度～平成27年度東京農業大学入試動向
- 資料 5 高校生の入学意向に関するアンケート調査報告  
(一般財団法人日本開発構想研究所)
- 資料 6 新学部・新学科と類似する近隣の大学・学部・学科との初年度学生納付金の比較
- 資料 7 首都圏私立大学進学ガイダンス
- 資料 8 高校生新聞（7・8月号、10月号）
- 資料 9 世田谷キャンパス見学ツアー2015
- 資料 10 OPEN CAMPUS 2015（パンフレット）
- 資料 11 進学説明会（第124回収穫祭同時開催）
- 資料 12 夢ナビライブ2015（国公私立大学 合同進学ガイダンス）
- 資料 13 ミライガク2015（ゼミ・研究室体験型イベント）
- 資料 14 平成26年新規就農者調査（一部抜粋）  
(農林水産省大臣官房統計部「農林水産統計」)
- 資料 15 食品産業に関する統計（農林水産省）
- 資料 16 フードスペシャリストに関する記載記事（日本食糧新聞）
- 資料 17 地域おこし協力隊について（総務省）
- 資料 18 農林漁業の6次産業化の展開（一部抜粋）（農林水産省）
- 資料 19 日本食・食文化の海外普及について（農林水産省）
- 資料 20 平成26年訪日外国人観光客の地方訪問状況（一部抜粋）  
(観光庁観光戦略課調査室「訪日外国人消費動向調査」)
- 資料 21 卒業生に対する企業等の採用意向等に関するアンケート調査報告  
(一般財団法人日本開発構想研究所)

以上

## 18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移

科学技術イノベーション人材の育成・流動化

- 18歳人口は、平成21～32年頃までぼんやりと横ばいで推移するが、平成33年頃から減少することが予測されている。(18歳人口について、平成4年度：205万人→平成26年度：118万人)
- 高等教育機関への進学率は、ここ数年頭打ち。



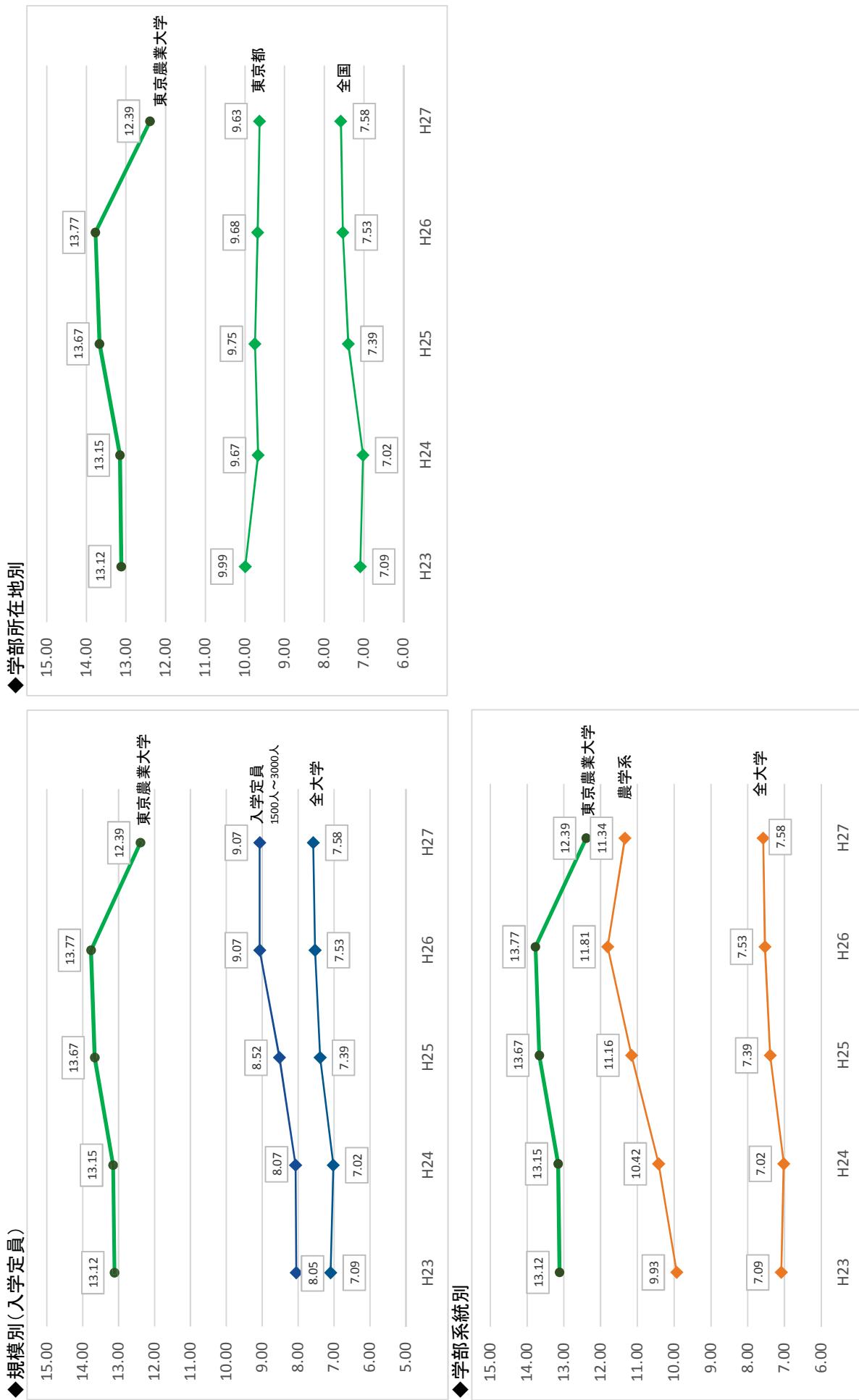
出典：文部科学省作成資料を基に、内閣府作成

## 平成21年度～平成27年度 農学系大学 志願者数の推移



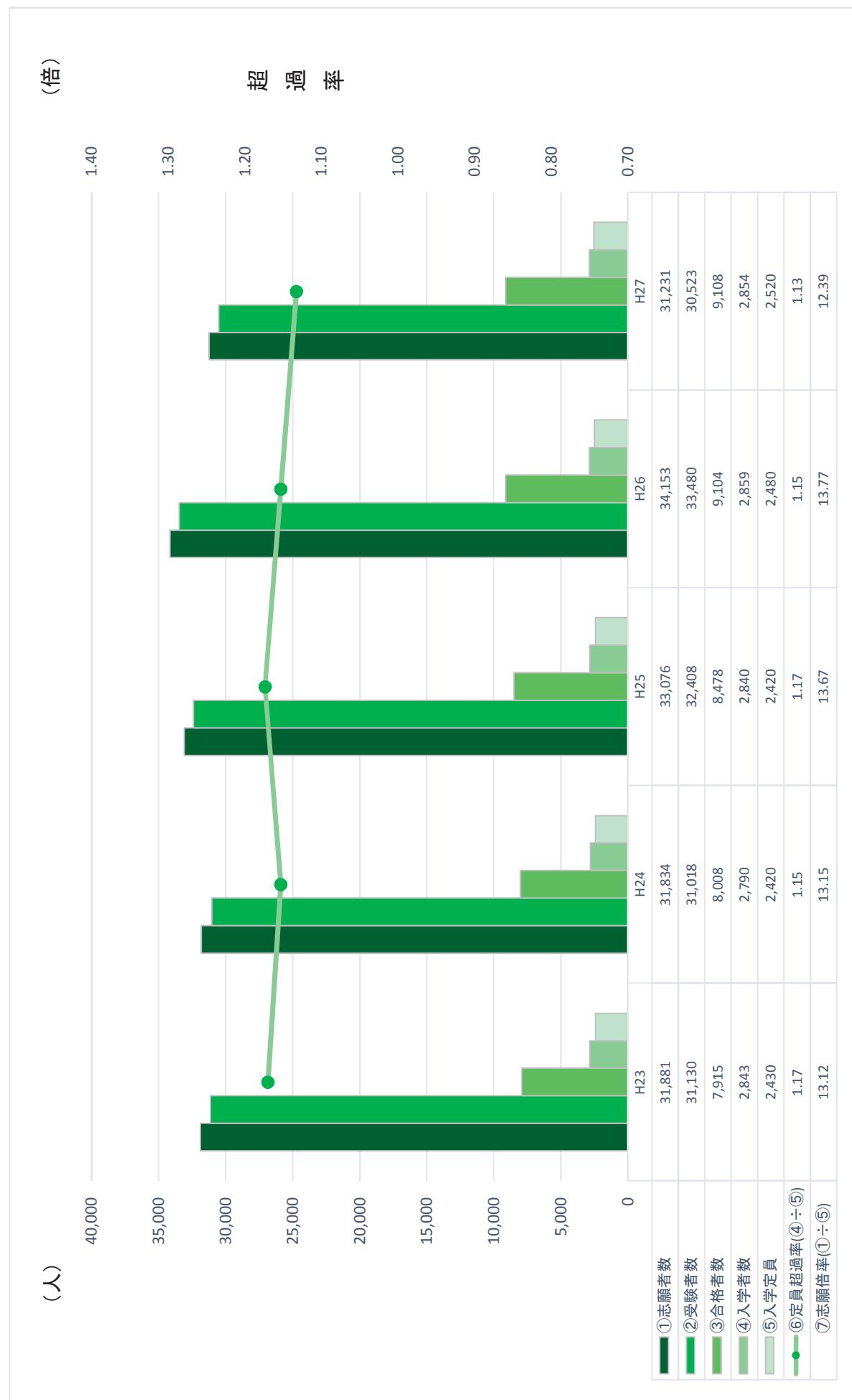
| 年度  | 集計<br>学部数 | 入学定員<br>A | 志願者<br>B | 受験者<br>C | 合格者<br>D | 入学者<br>E | 志願倍率<br>B/A | 合格率<br>D/C | 歩留率<br>E/D | 入学定員<br>充足率<br>E/A |
|-----|-----------|-----------|----------|----------|----------|----------|-------------|------------|------------|--------------------|
| H21 | 16        | 6,755     | 62,133   | 59,421   | 19,996   | 7,441    | 9.2         | 33.65      | 37.21      | 110.16             |
| H22 | 17        | 6,865     | 64,588   | 62,052   | 20,075   | 7,745    | 9.41        | 32.35      | 38.58      | 112.82             |
| H23 | 17        | 7,000     | 69,494   | 66,487   | 20,722   | 8,096    | 9.93        | 31.17      | 39.07      | 115.66             |
| H24 | 17        | 6,960     | 72,512   | 69,536   | 20,988   | 7,921    | 10.42       | 30.18      | 37.74      | 113.81             |
| H25 | 17        | 6,960     | 77,662   | 74,596   | 20,640   | 7,814    | 11.16       | 27.67      | 37.86      | 112.27             |
| H26 | 17        | 6,960     | 82,167   | 78,620   | 21,842   | 7,789    | 11.81       | 27.78      | 35.66      | 111.91             |
| H27 | 18        | 7,515     | 85,235   | 81,261   | 24,459   | 8,491    | 11.34       | 30.1       | 34.72      | 112.99             |

## 平成23年度～平成27年度 カテゴリー別志願倍率の推移



※志願倍率は志願者数を入学定員で除して算出した。  
※本学以外の数値は日本私立学校振興・共済事業団が発行する「私立大学・短期大学等 入学志願動向」から算出している。

## 平成23年度～平成27年度 東京農業大学 入試動向



東京農業大学生命科学部（仮称）、  
地域環境科学部地域創成科学科（仮称）、  
国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）への  
高校生の入学意向に関するアンケート調査報告

平成 28 年 2 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

東京農業大学生命科学部（仮称）、地域環境科学部地域創成科学科（仮称）、  
国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）への高校生の入学意向に関する  
アンケート調査報告

## 1. 調査概要

### （1） 調査目的

平成 29 年 4 月に予定している東京農業大学生命科学部（仮称）、地域環境科学部地域創成科学科（仮称）、国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）の開設に向けて、設置年度の進学対象層に対する東京農業大学生命科学部（仮称）、地域環境科学部地域創成科学科（仮称）、国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）への入学意向を把握することを目的とする。

### （2） 調査対象高校及び対象者

- ①近隣に所在する高等学校、または、東京農業大学に進学実績のある高等学校を中心  
に 1 都 1 道 16 県（北海道、青森県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼  
玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、三  
重県、熊本県）に所在する高等学校の在学者で平成 29 年度大学進学対象となる高校  
2 年生。
- ②東京農業大学が開催、または参加するキャンパス見学会、進学相談会に参加した平  
成 29 年度大学進学対象となる高校 2 年生。

### （3） 調査方法

- ①近隣に所在する高等学校、または、東京農業大学に進学実績のあるものを中心とした  
高等学校 367 校へアンケート用紙及び東京農業大学生命科学部（仮称）、地域環境  
科学部地域創成科学科（仮称）、国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）の概要を  
示したリーフレットを送付し、教室等で直接アンケート用紙に記入する方法により  
実施。回答用紙は一般財団法人日本開発構想研究所へ高校から郵送。
- ②東京農業大学が開催、または参加するキャンパス見学会、進学相談会に参加した平  
成 29 年度大学進学対象となる高校 2 年生に、会場、教室等で直接アンケート用紙に  
記入する方法により実施。回答用紙は一般財団法人日本開発構想研究所へ東京農業  
大学から直接郵送。

この結果、①と②を合わせて、高校 2 年生 61,693 人から有効回答があった。

集計結果より、東京農業大学生命科学部（仮称）、地域環境科学部地域創成科学科（仮称）、  
国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）への入学意向を分析した。

(4) 調査実施期間

平成 27 年 8 月～平成 28 年 2 月

(5) 有効回答者数

高校 2 年生 61,693 人

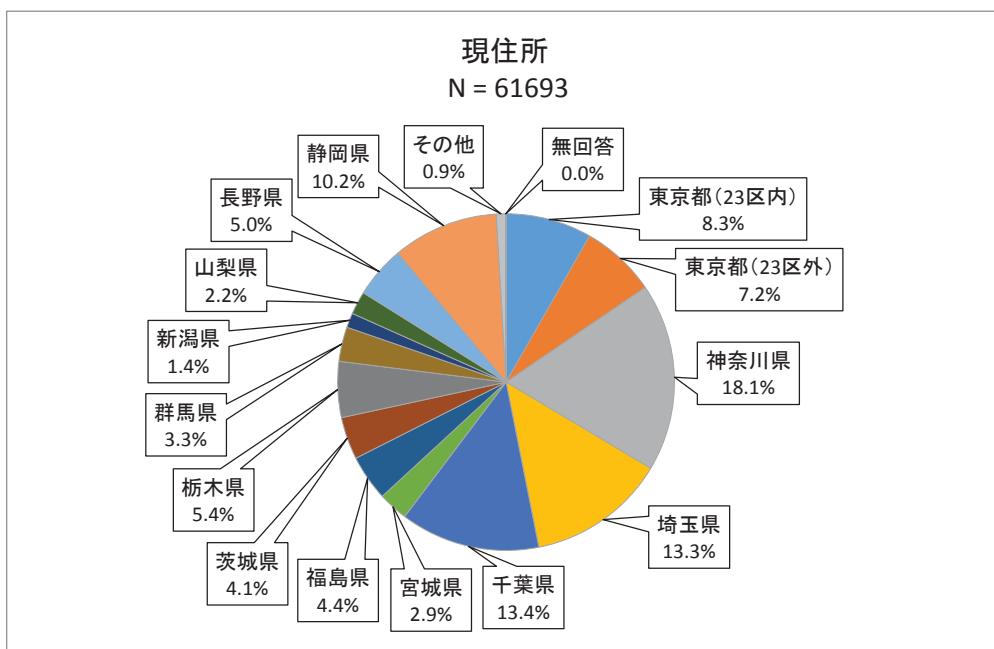
※東京農業大学にて設置を構想している生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科は仮称であるが、本文中ではその旨の表示を省略した。

## 2. 調査結果

### (1) 現住所について

現住所について調査した結果、高校2年生61,693人のうち、「神奈川県」が11,144人(18.1%)と最も多く、次いで「千葉県」8,269人(13.4%)、「埼玉県」8,219人(13.3%)、「静岡県」6,280人(10.2%)、「東京都(23区内)」5,098人(8.3%)、「東京都(23区外)」4,460人(7.2%)、「栃木県」3,311人(5.4%)、「長野県」3,078人(5.0%)、「福島県」2,709人(4.4%)、「茨城県」2,517人(4.1%)、「群馬県」2,042人(3.3%)、「宮城県」1,764人(2.9%)、「山梨県」1,367人(2.2%)、「新潟県」865人(1.4%)、「その他」543人(0.9%)、「無回答」27人(0%)の順になっている。

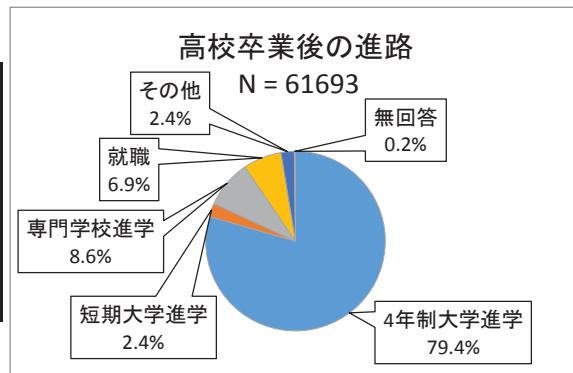
| 現住所 |           |        |       |
|-----|-----------|--------|-------|
| No. | カテゴリ      | 件数     | (全体)% |
| 1   | 東京都(23区内) | 5,098  | 8.3   |
| 2   | 東京都(23区外) | 4,460  | 7.2   |
| 3   | 神奈川県      | 11,144 | 18.1  |
| 4   | 埼玉県       | 8,219  | 13.3  |
| 5   | 千葉県       | 8,269  | 13.4  |
| 6   | 宮城県       | 1,764  | 2.9   |
| 7   | 福島県       | 2,709  | 4.4   |
| 8   | 茨城県       | 2,517  | 4.1   |
| 9   | 栃木県       | 3,311  | 5.4   |
| 10  | 群馬県       | 2,042  | 3.3   |
| 11  | 新潟県       | 865    | 1.4   |
| 12  | 山梨県       | 1,367  | 2.2   |
| 13  | 長野県       | 3,078  | 5.0   |
| 14  | 静岡県       | 6,280  | 10.2  |
| 15  | その他       | 543    | 0.9   |
|     | 無回答       | 27     | 0.0   |
|     | N (%ベース)  | 61,693 | 100   |



## (2) 高校卒業後の進路について

高校卒業後の進路について調査した結果、高校2年生61,693人のうち、49,007人（79.4%）が「4年制大学進学」を希望しており、「短期大学進学」は1,503人（2.4%）、合わせて50,510人（81.8%）が国内の高等教育機関への進学を希望している。さらに、「専門学校進学」5,308人（8.6%）を合わせると、55,818人（90.4%）が高等学校卒業後、進学を希望している。

| 高校卒業後の進路 |          |        |       |
|----------|----------|--------|-------|
| No.      | カテゴリ     | 件数     | (全体)% |
| 1        | 4年制大学進学  | 49,007 | 79.4  |
| 2        | 短期大学進学   | 1,503  | 2.4   |
| 3        | 専門学校進学   | 5,308  | 8.6   |
| 4        | 就職       | 4,278  | 6.9   |
| 5        | その他      | 1,472  | 2.4   |
|          | 無回答      | 125    | 0.2   |
|          | N (%ベース) | 61,693 | 100   |

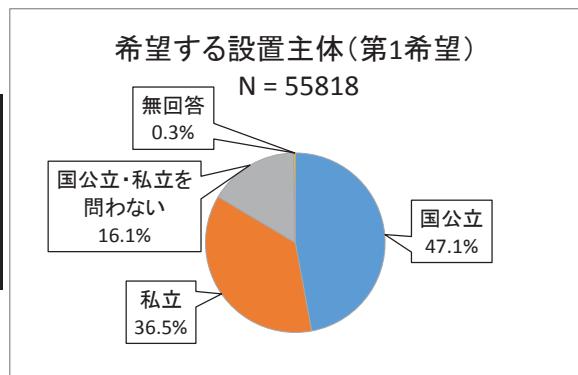


### (3) 希望する設置主体について

#### 3-1 希望する設置主体（第1希望）について

「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する 55,818 人に、希望する設置主体（第1希望）について調査した。その結果は、「国公立」が 26,280 人（47.1%）と最も多く、次いで「私立」20,360 人（36.5%）、「国公立・私立を問わない」8,994 人（16.1%）、「無回答」184 人（0.3%）の順になっている。

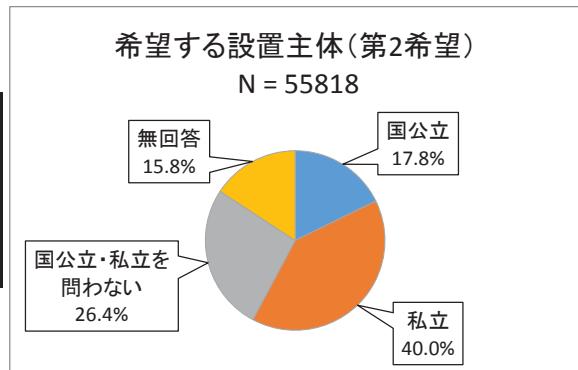
| 希望する設置主体(第1希望) |             |             |
|----------------|-------------|-------------|
| No.            | カテゴリ        | 件数<br>(全体)% |
| 1              | 国公立         | 26,280 47.1 |
| 2              | 私立          | 20,360 36.5 |
| 3              | 国公立・私立を問わない | 8,994 16.1  |
|                | 無回答         | 184 0.3     |
|                | N (%ベース)    | 55,818 100  |



#### 3-2 希望する設置主体（第2希望）について

「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する 55,818 人に、希望する設置主体（第2希望）について調査した。その結果は、「私立」が 22,354 人（40.0%）と最も多く、次いで「国公立・私立を問わない」14,752 人（26.4%）、「国公立」9,910 人（17.8%）、「無回答」8,802 人（15.8%）の順になっている。

| 希望する設置主体(第2希望) |             |             |
|----------------|-------------|-------------|
| No.            | カテゴリ        | 件数<br>(全体)% |
| 1              | 国公立         | 9,910 17.8  |
| 2              | 私立          | 22,354 40.0 |
| 3              | 国公立・私立を問わない | 14,752 26.4 |
|                | 無回答         | 8,802 15.8  |
|                | N (%ベース)    | 55,818 100  |



#### (4) 興味のある分野について

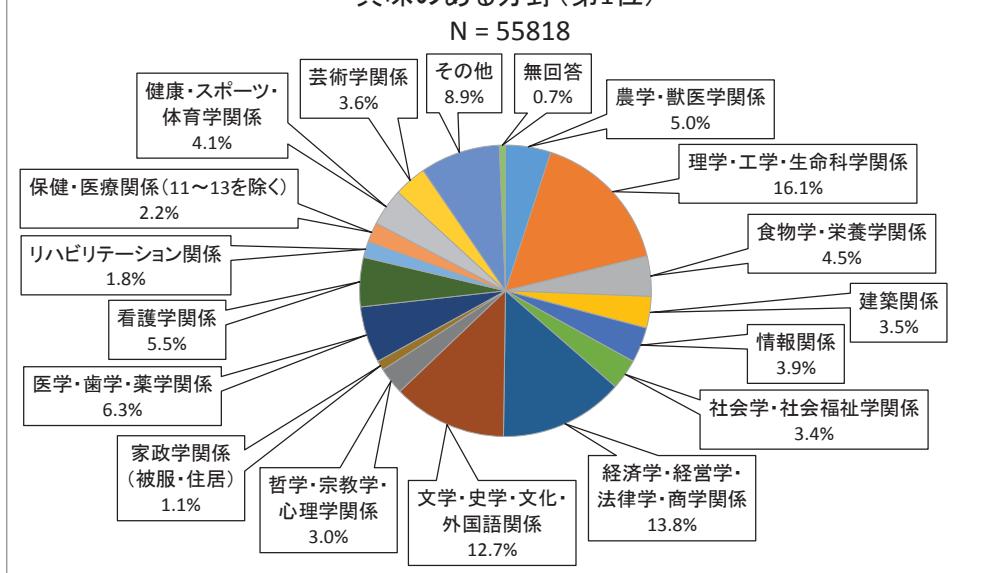
##### 4-1 興味のある分野（第1位）について

「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する 55,818 人に、興味のある分野（第1位）について調査した。その結果は、5.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「理学・工学・生命科学関係」が 8,998 人（16.1%）と最も多く、次いで「経済学・経営学・法律学・商学関係」7,695 人（13.8%）、「文学・史学・文化・外国語関係」7,066 人（12.7%）、「その他」4,944 人（8.9%）、「医学・歯学・薬学関係」3,496 人（6.3%）、「看護学関係」3,054 人（5.5%）、「農学・獣医学関係」2,810 人（5.0%）の順になっている。

興味のある分野（第1位）

| No. | カテゴリ              | 件数     | (全体)% |
|-----|-------------------|--------|-------|
| 1   | 農学・獣医学関係          | 2,810  | 5.0   |
| 2   | 理学・工学・生命科学関係      | 8,998  | 16.1  |
| 3   | 食物学・栄養学関係         | 2,492  | 4.5   |
| 4   | 建築関係              | 1,953  | 3.5   |
| 5   | 情報関係              | 2,192  | 3.9   |
| 6   | 社会学・社会福祉学関係       | 1,892  | 3.4   |
| 7   | 経済学・経営学・法律学・商学関係  | 7,695  | 13.8  |
| 8   | 文学・史学・文化・外国語関係    | 7,066  | 12.7  |
| 9   | 哲学・宗教学・心理学関係      | 1,679  | 3.0   |
| 10  | 家政学関係(被服・住居)      | 604    | 1.1   |
| 11  | 医学・歯学・薬学関係        | 3,496  | 6.3   |
| 12  | 看護学関係             | 3,054  | 5.5   |
| 13  | リハビリテーション関係       | 985    | 1.8   |
| 14  | 保健・医療関係(11～13を除く) | 1,234  | 2.2   |
| 15  | 健康・スポーツ・体育学関係     | 2,316  | 4.1   |
| 16  | 芸術学関係             | 2,030  | 3.6   |
| 17  | その他               | 4,944  | 8.9   |
|     | 無回答               | 378    | 0.7   |
|     | N (%ベース)          | 55,818 | 100   |

興味のある分野（第1位）

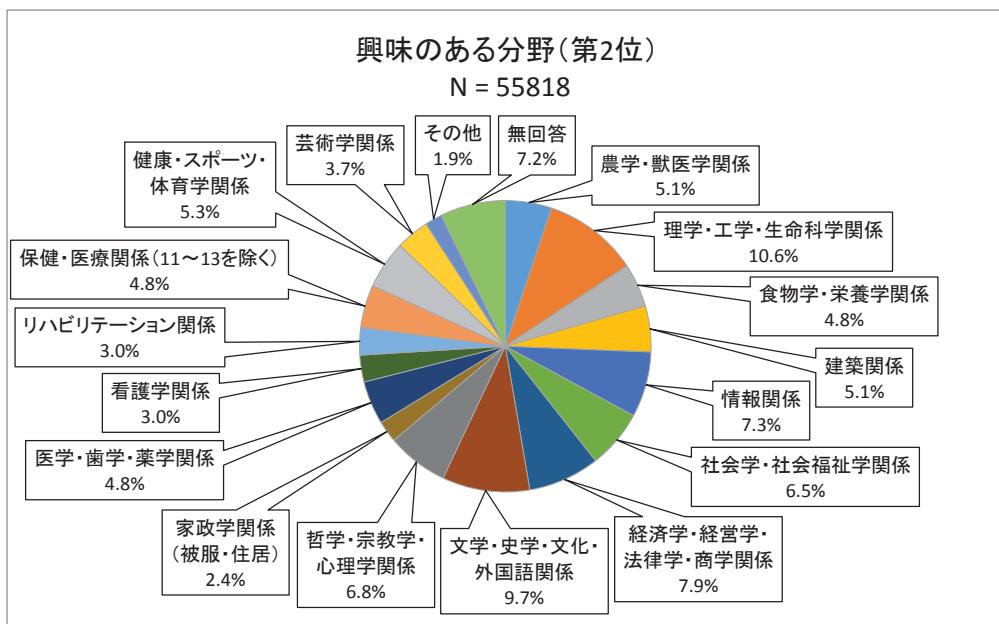


#### 4-2 興味のある分野（第2位）について

「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する 55,818 人に、興味のある分野（第2位）について調査した。その結果は、5.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「理学・工学・生命科学関係」が 5,899 人（10.6%）と最も多く、次いで「文学・史学・文化・外国語関係」5,422 人（9.7%）、「経済学・経営学・法律学・商学関係」4,422 人（7.9%）、「情報関係」4,055 人（7.3%）、「無回答」4,043 人（7.2%）、「哲学・宗教学・心理学関係」3,813 人（6.8%）、「社会学・社会福祉学関係」3,617 人（6.5%）、「健康・スポーツ・体育学関係」2,975 人（5.3%）、「農学・獣医学関係」2,863 人（5.1%）、「建築関係」2,847 人（5.1%）の順になっている。

興味のある分野(第2位)

| No. | カテゴリ              | 件数     | (全体)% |
|-----|-------------------|--------|-------|
| 1   | 農学・獣医学関係          | 2,863  | 5.1   |
| 2   | 理学・工学・生命科学関係      | 5,899  | 10.6  |
| 3   | 食物学・栄養学関係         | 2,701  | 4.8   |
| 4   | 建築関係              | 2,847  | 5.1   |
| 5   | 情報関係              | 4,055  | 7.3   |
| 6   | 社会学・社会福祉学関係       | 3,617  | 6.5   |
| 7   | 経済学・経営学・法律学・商学関係  | 4,422  | 7.9   |
| 8   | 文学・史学・文化・外国語関係    | 5,422  | 9.7   |
| 9   | 哲学・宗教学・心理学関係      | 3,813  | 6.8   |
| 10  | 家政学関係(被服・住居)      | 1,337  | 2.4   |
| 11  | 医学・歯学・薬学関係        | 2,686  | 4.8   |
| 12  | 看護学関係             | 1,659  | 3.0   |
| 13  | リハビリテーション関係       | 1,693  | 3.0   |
| 14  | 保健・医療関係(11～13を除く) | 2,660  | 4.8   |
| 15  | 健康・スポーツ・体育学関係     | 2,975  | 5.3   |
| 16  | 芸術学関係             | 2,061  | 3.7   |
| 17  | その他               | 1,065  | 1.9   |
|     | 無回答               | 4,043  | 7.2   |
|     | N (%ベース)          | 55,818 | 100   |



#### 4・3 興味のある分野（第3位）について

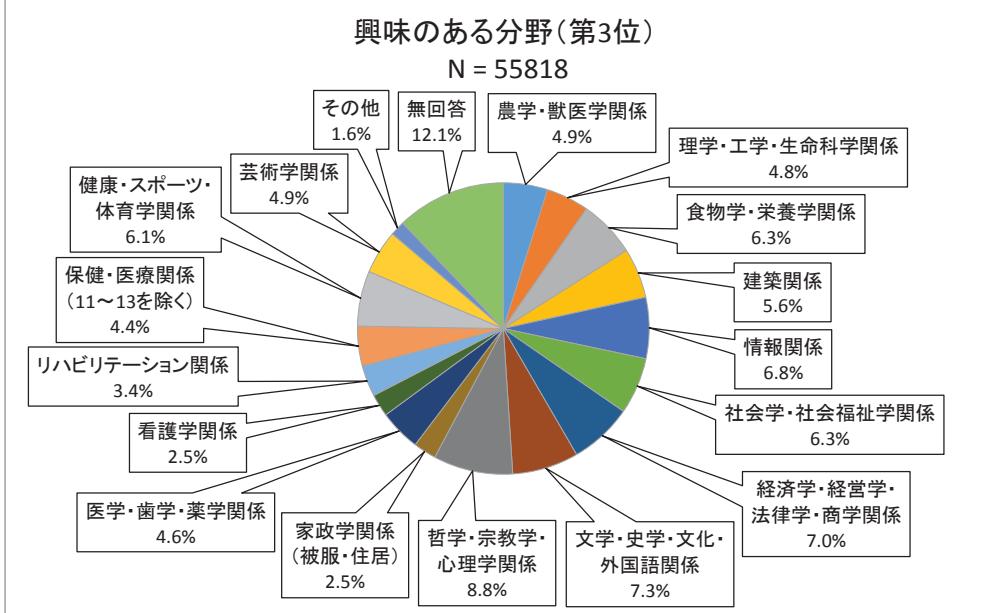
「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する 55,818 人に、興味のある分野（第3位）について調査した。その結果は、5.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「無回答」が 6,763 人（12.1%）と最も多く、次いで「哲学・宗教学・心理学関係」4,924 人（8.8%）、「文学・史学・文化・外国語関係」4,099 人（7.3%）、「経済学・経営学・法律学・商学関係」3,911 人（7.0%）、「情報関係」3,781 人（6.8%）、「食物学・栄養学関係」3,539 人（6.3%）、「社会学・社会福祉学関係」3,513 人（6.3%）、「健康・スポーツ・体育学関係」3,421 人（6.1%）、「建築関係」3,099 人（5.6%）の順になっている。

興味のある分野(第3位)

| No. | カテゴリ              | 件数     | (全体)% |
|-----|-------------------|--------|-------|
| 1   | 農学・獣医学関係          | 2,738  | 4.9   |
| 2   | 理学・工学・生命科学関係      | 2,652  | 4.8   |
| 3   | 食物学・栄養学関係         | 3,539  | 6.3   |
| 4   | 建築関係              | 3,099  | 5.6   |
| 5   | 情報関係              | 3,781  | 6.8   |
| 6   | 社会学・社会福祉学関係       | 3,513  | 6.3   |
| 7   | 経済学・経営学・法律学・商学関係  | 3,911  | 7.0   |
| 8   | 文学・史学・文化・外国語関係    | 4,099  | 7.3   |
| 9   | 哲学・宗教学・心理学関係      | 4,924  | 8.8   |
| 10  | 家政学関係(被服・住居)      | 1,417  | 2.5   |
| 11  | 医学・歯学・薬学関係        | 2,564  | 4.6   |
| 12  | 看護学関係             | 1,389  | 2.5   |
| 13  | リハビリテーション関係       | 1,920  | 3.4   |
| 14  | 保健・医療関係(11～13を除く) | 2,466  | 4.4   |
| 15  | 健康・スポーツ・体育学関係     | 3,421  | 6.1   |
| 16  | 芸術学関係             | 2,712  | 4.9   |
| 17  | その他               | 910    | 1.6   |
|     | 無回答               | 6,763  | 12.1  |
|     | N (%ペース)          | 55,818 | 100   |

興味のある分野(第3位)

N = 55818

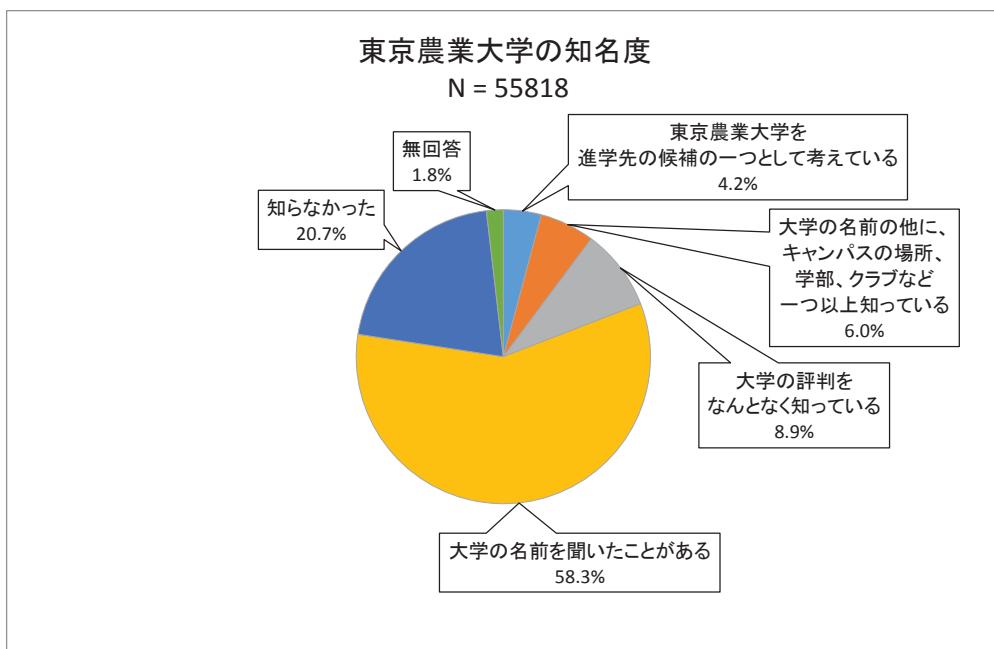


## (5) 東京農業大学の知名度について

「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する 55,818 人に、東京農業大学の知名度について調査した。その結果は、「大学の名前を聞いたことがある」が 32,552 人（58.3%）と最も多く、次いで「知らなかった」 11,564 人（20.7%）、「大学の評判をなんとなく知っている」 4,986 人（8.9%）、「大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている」 3,368 人（6.0%）、「東京農業大学を進学先の候補の一つとして考えている」 2,321 人（4.2%）、「無回答」 1,027 人（1.8%）の順になっている。

東京農業大学の知名度

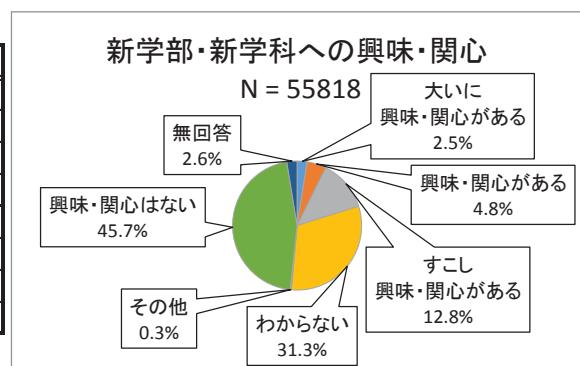
| No. | カテゴリ                                | 件数     | (全体)% |
|-----|-------------------------------------|--------|-------|
| 1   | 東京農業大学を進学先の候補の一つとして考えている            | 2,321  | 4.2   |
| 2   | 大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている | 3,368  | 6.0   |
| 3   | 大学の評判をなんとなく知っている                    | 4,986  | 8.9   |
| 4   | 大学の名前を聞いたことがある                      | 32,552 | 58.3  |
| 5   | 知らなかった                              | 11,564 | 20.7  |
|     | 無回答                                 | 1,027  | 1.8   |
|     | N (%ベース)                            | 55,818 | 100   |



## (6) 新学部・新学科への興味・関心について

「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する 55,818 人のうち、東京農業大学生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科について「大いに興味・関心がある」と回答したのは 1,398 人（2.5%）である。また、「興味・関心がある」2,706 人（4.8%）、「すこし興味・関心がある」7,143 人（12.8%）との回答があり、「大いに興味・関心がある」、「興味・関心がある」、「すこし興味・関心がある」の合計 11,247 人（20.1%）が東京農業大学生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科に興味を示している。

| 新学部・新学科への興味・関心 |             | 件数     | (全体)% |
|----------------|-------------|--------|-------|
| No.            | カテゴリ        |        |       |
| 1              | 大いに興味・関心がある | 1,398  | 2.5   |
| 2              | 興味・関心がある    | 2,706  | 4.8   |
| 3              | すこし興味・関心がある | 7,143  | 12.8  |
| 4              | わからない       | 17,461 | 31.3  |
| 5              | その他         | 160    | 0.3   |
| 6              | 興味・関心はない    | 25,522 | 45.7  |
|                | 無回答         | 1,428  | 2.6   |
|                | N (%ベース)    | 55,818 | 100   |



## (7) 興味・関心の理由について（複数回答）

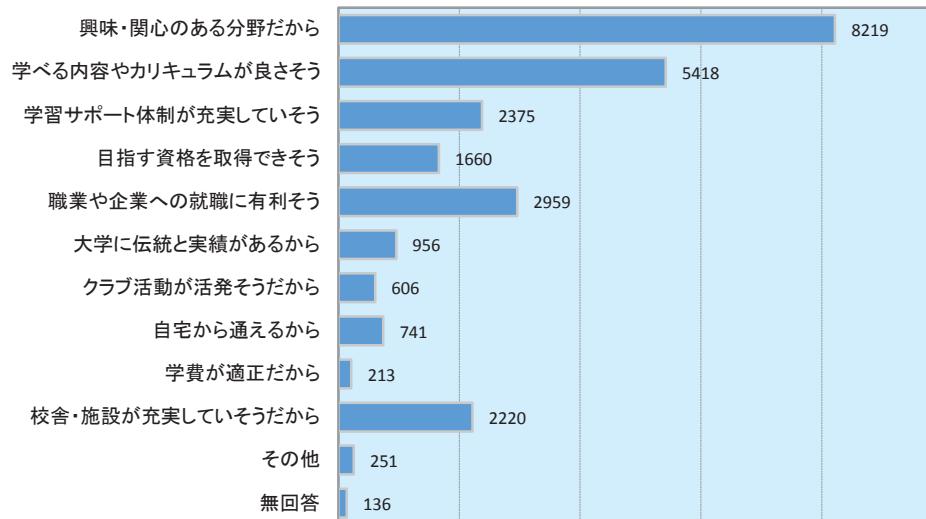
興味・関心の理由については、「(6) 新学部・新学科への興味・関心について」にて東京農業大学生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科に興味・関心を示した 11,247 人のうち、「興味・関心のある分野だから」が 8,219 人（73.1%）と最も多く、次いで「学べる内容やカリキュラムが良さそう」5,418 人（48.2%）、「職業や企業への就職に有利そう」2,959 人（26.3%）、「学習サポート体制が充実していそう」2,375 人（21.1%）、「校舎・施設が充実していそうだから」2,220 人（19.7%）、「目指す資格を取得できそう」1,660 人（14.8%）、「大学に伝統と実績があるから」956 人（8.5%）、「自宅から通えるから」741 人（6.6%）、「クラブ活動が活発そうだから」606 人（5.4%）、「その他」251 人（2.2%）、「学費が適正だから」213 人（1.9%）、「無回答」136 人（1.2%）の順になっている。

興味・関心の理由（複数回答）

| No. | カテゴリ              | 件数     | (全体)% |
|-----|-------------------|--------|-------|
| 1   | 興味・関心のある分野だから     | 8,219  | 73.1  |
| 2   | 学べる内容やカリキュラムが良さそう | 5,418  | 48.2  |
| 3   | 学習サポート体制が充実していそう  | 2,375  | 21.1  |
| 4   | 目指す資格を取得できそう      | 1,660  | 14.8  |
| 5   | 職業や企業への就職に有利そう    | 2,959  | 26.3  |
| 6   | 大学に伝統と実績があるから     | 956    | 8.5   |
| 7   | クラブ活動が活発そうだから     | 606    | 5.4   |
| 8   | 自宅から通えるから         | 741    | 6.6   |
| 9   | 学費が適正だから          | 213    | 1.9   |
| 10  | 校舎・施設が充実していそうだから  | 2,220  | 19.7  |
| 11  | その他               | 251    | 2.2   |
|     | 無回答               | 136    | 1.2   |
|     | N (%ベース)          | 11,247 | 100   |

興味・関心の理由（複数回答）

N = 11247

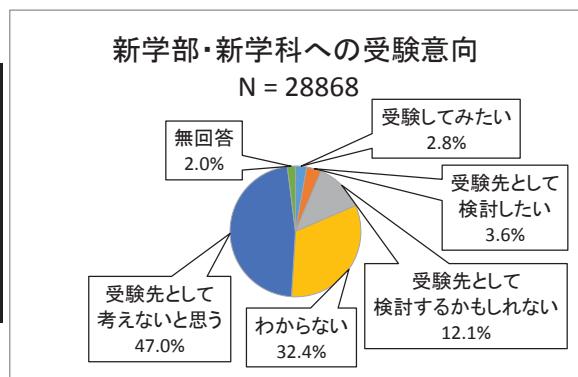


#### (8) 新学部・新学科への受験意向について

「4年制大学進学」、「短期大学進学」、「専門学校進学」を希望する 55,818 人のうち、「(6) 新学部・新学科への興味・関心について」にて「大いに興味・関心がある」、「興味・関心がある」、「すこし興味・関心がある」、「わからない」、「その他」と回答した 28,868 人に、東京農業大学生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科への受験意向について調査した。

その結果は、「受験してみたい」 798 人 (2.8%)、「受験先として検討したい」 1,048 人 (3.6%)、「受験先として検討するかもしれない」 3,504 人 (12.1%) の合計 5,350 人 (18.5%) が東京農業大学生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科への受験意向を示している。

| 新学部・新学科への受験意向 |                  |             |
|---------------|------------------|-------------|
| No.           | カテゴリ             | 件数 (全体)%    |
| 1             | 受験してみたい          | 798 2.8     |
| 2             | 受験先として検討したい      | 1,048 3.6   |
| 3             | 受験先として検討するかもしれない | 3,504 12.1  |
| 4             | わからない            | 9,365 32.4  |
| 5             | 受験先として考えないと思う    | 13,579 47.0 |
|               | 無回答              | 574 2.0     |
|               | N (%ベース)         | 28,868 100  |

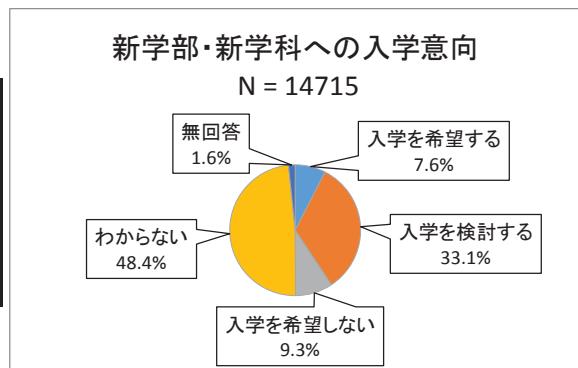


#### (9) 新学部・新学科への入学意向について

「(8) 新学部・新学科への受験意向について」にて、東京農業大学生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科への受験意向を示した 5,350 人と、「わからない」と回答した 9,365 人、合計 14,715 人に、東京農業大学生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科を受験し、合格した場合の入学意向について調査した。

その結果は、「入学を希望する」が 1,113 人 (7.6%)、「入学を検討する」が 4,870 人 (33.1%) となり、合計 5,983 人 (40.7%) が東京農業大学生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科への入学意向を示している。

| 新学部・新学科への入学意向 |          |            |
|---------------|----------|------------|
| No.           | カテゴリ     | 件数 (全体)%   |
| 1             | 入学を希望する  | 1,113 7.6  |
| 2             | 入学を検討する  | 4,870 33.1 |
| 3             | 入学を希望しない | 1,362 9.3  |
| 4             | わからない    | 7,128 48.4 |
|               | 無回答      | 242 1.6    |
|               | N (%ベース) | 14,715 100 |



(10) 入学を希望する新学部・新学科について

10-1 入学を希望する新学部・新学科（第1希望）について

「(9) 新学部・新学科への入学意向について」にて、東京農業大学生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科への入学意向を示した 5,983 人に、入学を希望する新学部・新学科（第1希望）について調査した。

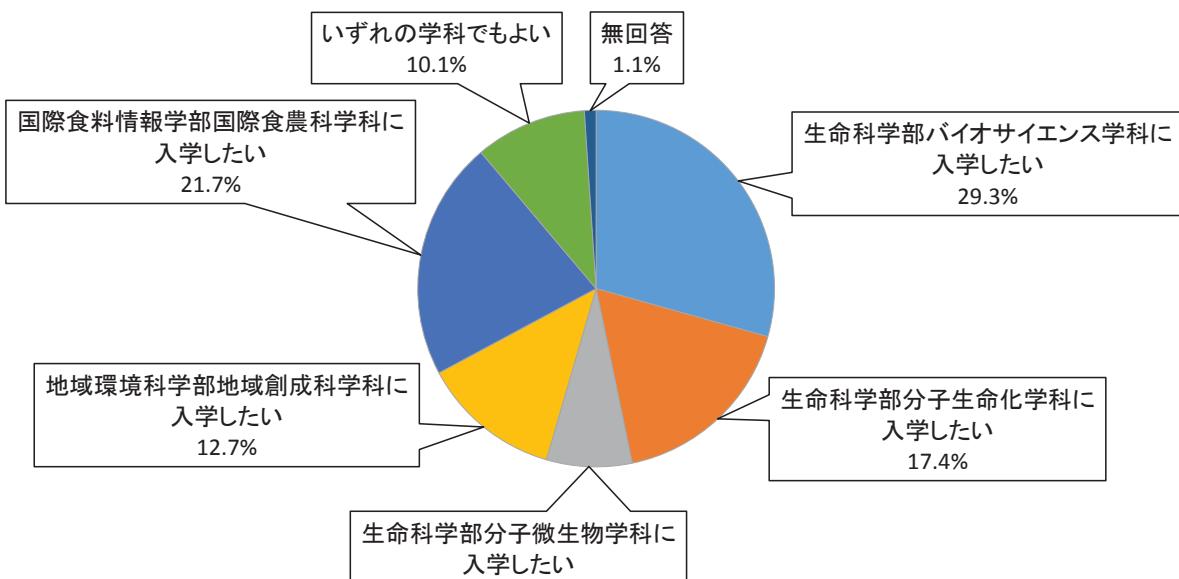
その結果は、「生命科学部バイオサイエンス学科に入学したい」が 1,756 人（29.3%）と最も多く、次いで「国際食料情報学部国際食農科学科に入学したい」 1,297 人（21.7%）、「生命科学部分子生命化学科に入学したい」 1,041 人（17.4%）、「地域環境科学部地域創成科学科に入学したい」 757 人（12.7%）、「いずれの学科でもよい」 605 人（10.1%）、「生命科学部分子微生物学科に入学したい」 464 人（7.8%）、「無回答」 63 人（1.1%）の順になっている。

入学を希望する新学部・新学科（第1希望）

| No. | カテゴリ                  | 件数    | (全体)% |
|-----|-----------------------|-------|-------|
| 1   | 生命科学部バイオサイエンス学科に入学したい | 1,756 | 29.3  |
| 2   | 生命科学部分子生命化学科に入学したい    | 1,041 | 17.4  |
| 3   | 生命科学部分子微生物学科に入学したい    | 464   | 7.8   |
| 4   | 地域環境科学部地域創成科学科に入学したい  | 757   | 12.7  |
| 5   | 国際食料情報学部国際食農科学科に入学したい | 1,297 | 21.7  |
| 6   | いずれの学科でもよい            | 605   | 10.1  |
|     | 無回答                   | 63    | 1.1   |
|     | N (%ベース)              | 5,983 | 100   |

入学を希望する新学部・新学科（第1希望）

N = 5983



## 10-2 入学を希望する新学部・新学科（第2希望）について

「(9) 新学部・新学科への入学意向について」にて、東京農業大学生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科への入学意向を示した 5,983 人に、入学を希望する新学部・新学科（第2希望）について調査した。

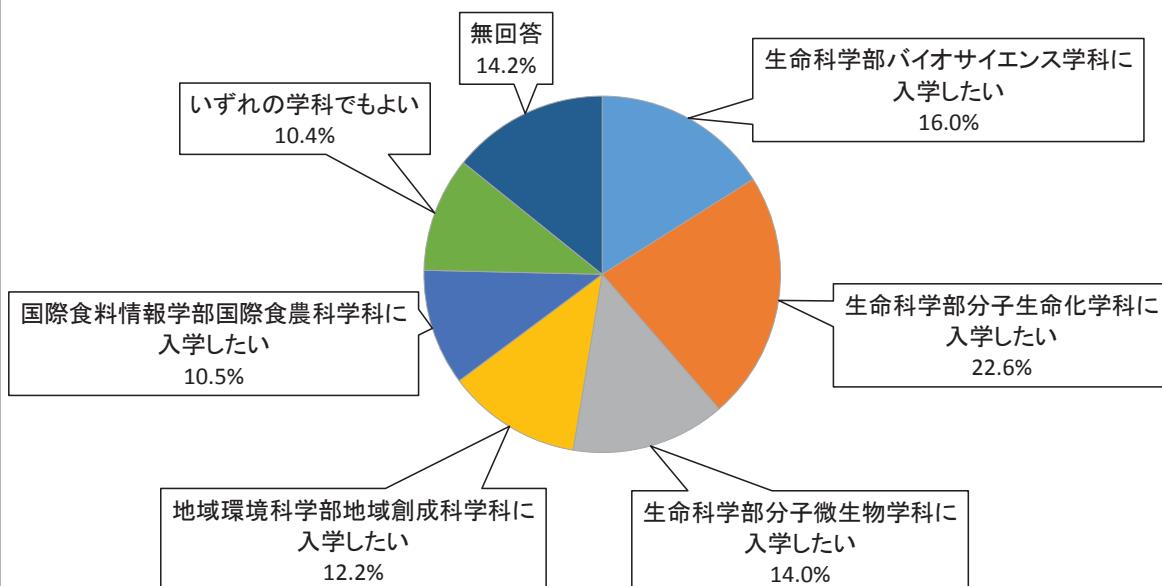
その結果は、「生命科学部分子生命化学科に入学したい」が 1,351 人（22.6%）と最も多く、次いで「生命科学部バイオサイエンス学科に入学したい」960 人（16.0%）、「無回答」850 人（14.2%）、「生命科学部分子微生物学科に入学したい」837 人（14.0%）、「地域環境科学部地域創成科学科に入学したい」730 人（12.2%）、「国際食料情報学部国際食農科学科に入学したい」631 人（10.5%）、「いずれの学科でもよい」624 人（10.4%）の順になっている。

入学を希望する新学部・新学科（第2希望）

| No. | カテゴリ                  | 件数    | (全体)% |
|-----|-----------------------|-------|-------|
| 1   | 生命科学部バイオサイエンス学科に入学したい | 960   | 16.0  |
| 2   | 生命科学部分子生命化学科に入学したい    | 1,351 | 22.6  |
| 3   | 生命科学部分子微生物学科に入学したい    | 837   | 14.0  |
| 4   | 地域環境科学部地域創成科学科に入学したい  | 730   | 12.2  |
| 5   | 国際食料情報学部国際食農科学科に入学したい | 631   | 10.5  |
| 6   | いずれの学科でもよい            | 624   | 10.4  |
|     | 無回答                   | 850   | 14.2  |
|     | N (%ベース)              | 5,983 | 100   |

入学を希望する新学部・新学科（第2希望）

N = 5983



### 3. 調査結果のまとめ

「(9) 新学部・新学科への入学意向について」と、「(10) 10-1 入学を希望する新学部・新学科（第1希望）について」の調査結果をクロス集計した結果は下表である。

入学意向 × 希望学科(第1志望)

| 希望学科<br>(第1志望) | 上段:度数<br>下段:%         | 入学意向           |               |               |
|----------------|-----------------------|----------------|---------------|---------------|
|                |                       | 合計             | 入学を希望する       | 入学を検討する       |
| 希望学科<br>(第1志望) | 全体                    | 5,983<br>100.0 | 1,113<br>18.6 | 4,870<br>81.4 |
|                | 生命科学部バイオサイエンス学科に入学したい | 1,756<br>100.0 | 414<br>23.6   | 1,342<br>76.4 |
|                | 生命科学部分子生命化学科に入学したい    | 1,041<br>100.0 | 155<br>14.9   | 886<br>85.1   |
|                | 生命科学部分子微生物学科に入学したい    | 464<br>100.0   | 120<br>25.9   | 344<br>74.1   |
|                | 地域環境科学部地域創成科学科に入学したい  | 757<br>100.0   | 114<br>15.1   | 643<br>84.9   |
|                | 国際食料情報学部国際食農科学科に入学したい | 1,297<br>100.0 | 236<br>18.2   | 1,061<br>81.8 |
|                | いずれの学科でもよい            | 605<br>100.0   | 67<br>11.1    | 538<br>88.9   |
|                | 無回答                   | 63<br>100.0    | 7<br>11.1     | 56<br>88.9    |

#### ① 生命科学部バイオサイエンス学科について

「入学を希望する」と回答した高校2年生は414人となり、東京農業大学生命科学部バイオサイエンス学科の入学定員140人に対し、約2.95倍の入学意向を示している。

また、「入学を希望する」、「入学を検討する」と回答した高校2年生は合計1,756人となり、東京農業大学生命科学部バイオサイエンス学科の入学定員140人に対し、約12.54倍の入学意向を示している。

#### ② 生命科学部分子生命化学科について

「入学を希望する」と回答した高校2年生は155人となり、東京農業大学生命科学部分子生命化学科の入学定員115人に対し、約1.34倍の入学意向を示している。

また、「入学を希望する」、「入学を検討する」と回答した高校2年生は合計1,041人となり、東京農業大学生命科学部分子生命化学科の入学定員115人に対し、約9.05倍の入学意向を示している。

### ③ 生命科学部分子微生物学科について

「入学を希望する」と回答した高校2年生は120人となり、東京農業大学生命科学部分子微生物学科の入学定員115人に対し、約1.04倍の入学意向を示している。

また、「入学を希望する」、「入学を検討する」と回答した高校2年生は合計464人となり、東京農業大学生命科学部分子微生物学科の入学定員115人に対し、約4.03倍の入学意向を示している。

### ④ 地域環境科学部地域創成科学科について

「入学を希望する」と回答した高校2年生は114人となり、東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科の入学定員80人に対し、約1.42倍の入学意向を示している。

また、「入学を希望する」、「入学を検討する」と回答した高校2年生は合計757人となり、東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科の入学定員80人に対し、約9.46倍の入学意向を示している。

### ⑤ 国際食料情報学部国際食農科学科について

「入学を希望する」と回答した高校2年生は236人となり、東京農業大学国際食料情報学部国際食農科学科の入学定員100人に対し、2.36倍の入学意向を示している。

また、「入学を希望する」、「入学を検討する」と回答した高校2年生は合計1,297人となり、東京農業大学国際食料情報学部国際食農科学科の入学定員100人に対し、12.97倍の入学意向を示している。

以上の調査結果と、調査対象の高等学校以外からの高校生の進学も考えられることから、東京農業大学生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科の各学科の入学定員を満たす学生は十分に確保できるものと考える。

# 調査票

東京農業大学 生命科学部(仮称)、地域環境科学部地域創成科学科(仮称)、  
国際食料情報学部国際食農科学科(仮称)設置に係るアンケート調査

- ・このアンケート調査は2017年4月に設置を予定している新学部・学科の設置構想の基礎資料とするため、高校2年生のみなさんの卒業後の進路等についてお聞きするものです。ご協力ををお願いいたします。
- ・このアンケート結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。

回答は、該当する番号を回答欄へ直接記入してください。

[ あなたに関することについてお答えください ]

【回答欄】

問1 あなたの学年をおたずねします。

- 1 高校1年生      2 高校2年生      3 高校3年生

問2 あなたの性別についておたずねします。

- 1 男子      2 女子

問3 あなたのお住まい(現住所)についておたずねします。

- |             |       |        |           |
|-------------|-------|--------|-----------|
| 1 東京都(23区内) | 5 千葉県 | 9 栃木県  | 13 長野県    |
| 2 東京都(23区外) | 6 宮城県 | 10 群馬県 | 14 静岡県    |
| 3 神奈川県      | 7 福島県 | 11 新潟県 | 15 その他( ) |
| 4 埼玉県       | 8 茨城県 | 12 山梨県 |           |

[ 卒業後の進路についてお答えください ]

問4 あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 4年制大学進学  
2 短期大学進学  
3 専門学校進学  
4 就職  
5 その他( )

}

1、2、3を選ばれた方は問5へお進みください。  
4、5を選ばれた方は本アンケート終了です。

問5 あなたはどのような設置主体の学校に進学したいですか。次の中からあてはまるものを第2希望まで選んでください。

- 1 国公立  
2 私立  
3 国公立・私立を問わない

第1希望

第2希望

問6 あなたは進学先(4年制大学、短期大学、専門学校)で学ぶ分野として、どの分野に興味を持っていらっしゃいますか。次の中であてはまるものを第3位まで選んでください。

- |                    |                      |     |
|--------------------|----------------------|-----|
| 1 農学・獣医学関係         | 10 家政学関係(被服・住居)      | 第1位 |
| 2 理学・工学・生命科学関係     | 11 医学・歯学・薬学関係        |     |
| 3 食物学・栄養学関係        | 12 看護学関係             |     |
| 4 建築関係             | 13 リハビリテーション関係       |     |
| 5 情報関係             | 14 保健・医療関係(11~13を除く) | 第2位 |
| 6 社会学・社会福祉学関係      | 15 健康・スポーツ・体育学関係     |     |
| 7 経済学・経営学・法律学・商学関係 | 16 芸術学関係             |     |
| 8 文学・史学・文化・外国語関係   | 17 その他(具体的に )        | 第3位 |
| 9 哲学・宗教学・心理学関係     |                      |     |

第2位

第3位

一次の頁へお進みくださいー

ここからは生命科学部(仮称)、地域環境科学部地域創成科学科(仮称)、  
国際食料情報学部国際食農科学科(仮称)の概要(リーフレット)と、  
類似する近隣の大学・学部・学科一覧をご覧いただいた上でお答えください。

問 7 あなたは東京農業大学を知っていますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

【回答欄】

- 1 東京農業大学を進学先の候補の一つとして考えている
- 2 大学の名前その他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている
- 3 大学の評判をなんとなく知っている
- 4 大学の名前を聞いたことがある
- 5 知らなかった

問 8 あなたは東京農業大学の生命科学部(仮称)、地域環境科学部地域創成科学科(仮称)、国際食料情報学部国際食農科学科(仮称)について、どのように考えますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

- 1 大いに興味・関心がある
- 2 興味・関心がある
- 3 すこし興味・関心がある
- 4 わからない
- 5 その他(具体的に)
- 6 興味・関心はない

} 1、2、3 を選ばれた方は問 9 へお進み下さい。  
4、5 を選ばれた方は問 10 へお進み下さい。  
6 を選ばれた方は本アンケート終了です。

問 9 問 8 で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「すこし興味・関心がある」と回答された方におたずねします。それは、どのような理由からですか。次の中から 3 つまで選んでください。回答後は問 10 へお進みください。

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1 興味・関心のある分野だから     | 7 クラブ活動が活発だから     |
| 2 学べる内容やカリキュラムが良さそう | 8 自宅から通えるから       |
| 3 学習サポート体制が充実している   | 9 学費が適正だから        |
| 4 目指す資格を取得できそう      | 10 校舎・施設が充実しているから |
| 5 職業や企業への就職に有利そう    | 11 その他<br>(具体的に)  |
| 6 大学に伝統と実績があるから     |                   |

問 10 あなたは東京農業大学の生命科学部(仮称)、地域環境科学部地域創成科学科(仮称)、国際食料情報学部国際食農科学科(仮称)を受験したいと思いますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

- 1 受験してみたい
- 2 受験先として検討したい
- 3 受験先として検討するかもしれない
- 4 わからない
- 5 受験先として考えないと思う

} 1、2、3、4 を選ばれた方は問 11 へお進み下さい。  
5 を選ばれた方は本アンケート終了です。

問 11 東京農業大学の生命科学部(仮称)、地域環境科学部地域創成科学科(仮称)、国際食料情報学部国際食農科学科(仮称)を受験し、合格した場合の入学意向について次の中から 1 つだけ選んでください。

- 1 入学を希望する
- 2 入学を検討する
- 3 入学を希望しない
- 4 わからない

} 1、2 を選ばれた方は問 12 へお進みください。  
3、4 を選ばれた方は本アンケート終了です。

問 12 問 11 で「入学を希望する」、「入学を検討する」と回答された方におたずねします。生命科学部(仮称)、地域環境科学部地域創成科学科(仮称)、国際食料情報学部国際食農科学科(仮称)のうち、どちらの学科に入学したいですか。第 2 希望まで選んでください。

- 1 生命科学部バイオサイエンス学科(仮称)に入学したい
- 2 生命科学部分子生命化学科(仮称)に入学したい
- 3 生命科学部分子微生物学科(仮称)に入学したい
- 4 地域環境科学部地域創成科学科(仮称)に入学したい
- 5 国際食料情報学部国際食農科学科(仮称)に入学したい
- 6 いずれの学科でもよい

第 1 希望

第 2 希望

◆ご協力ありがとうございました

## 新学部・新学科と類似する近隣の大学・学部・学科一覧

東京農業大学 新学部・新学科：  
生命科学部（仮称）：バイオサイエンス学科（仮称）、分子生命化学科（仮称）、分子微生物学科（仮称）  
地域環境科学部：地域創成科学科（仮称） 国際食料情報学部：国際食農科学科（仮称）

| 所在地                         | 区分 | 大学名         | 学部名       | 学科名            | 専攻（コース）名             | 入学定員 | 入学金     | 授業料       | 施設設備費   | 実験・実習・体育費 | 教育充実費特別納付金 | 維持費他   | 合計        |
|-----------------------------|----|-------------|-----------|----------------|----------------------|------|---------|-----------|---------|-----------|------------|--------|-----------|
| <b>生命科学部 バイオサイエンス学科（仮称）</b> |    |             |           |                |                      |      |         |           |         |           |            |        |           |
| 東京都                         | 私立 | 玉川大学        | 農学部       | 生命化学科          |                      | 100  | 250,000 | 1,029,000 | 250,000 | 275,200   | 0          | 0      | 1,804,200 |
| 東京都                         | 私立 | 帝京科学大学      | 生命環境学部    | 生命科学科          |                      | 80   | 200,000 | 860,000   | 200,000 | 180,000   | 0          | 40,000 | 1,480,000 |
| 東京都                         | 私立 | 東洋大学        | 生命科学部     | 生命科学科          |                      | 100  | 250,000 | 970,000   | 260,000 | 70,000    | 0          | 0      | 1,550,000 |
| 東京都                         | 私立 | 日本大学        | 工学部       | 生命応用化学科        |                      | 160  | 260,000 | 900,000   | 220,000 | 80,000    | 0          | 0      | 1,460,000 |
| 東京都                         | 私立 | 日本獣医学生命科学大学 | 応用生命科学部   | 食品科学科          |                      | 80   | 250,000 | 750,000   | 300,000 | 100,000   | 200,000    | 20,000 | 1,620,000 |
| 東京都                         | 私立 | 明治大学        | 農学部       | 農芸化学科          |                      | 130  | 200,000 | 1,129,000 | 0       | 80,000    | 312,000    | 0      | 1,721,000 |
| 東京都                         | 私立 | 東京農業大学      | 生命科学部（仮称） | バイオサイエンス学科（仮称） |                      | 140  | 270,000 | 760,000   | 230,000 | 250,000   | 0          | 25,600 | 1,535,600 |
| <b>生命科学部 分子生命化学科（仮称）</b>    |    |             |           |                |                      |      |         |           |         |           |            |        |           |
| 東京都                         | 私立 | 青山学院大学      | 理工学部      | 化学・生命科学科       |                      | 110  | 200,000 | 1,191,000 | 257,000 | 90,000    | 0          | 0      | 1,738,000 |
| 東京都                         | 私立 | 工学院大学       | 先進工学部     | 生命化学科          |                      | 70   | 200,000 | 998,000   | 300,000 | 100,000   | 0          | 0      | 1,598,000 |
| 東京都                         | 私立 | 東京薬科大学      | 生命科学部     | 分子生命科学科        |                      | 60   | 260,000 | 1,110,000 | 480,000 | 0         | 0          | 0      | 1,850,000 |
| 東京都                         | 私立 | 日本大学        | 生産工学部     | 応用分子化学科        |                      | 160  | 260,000 | 1,000,000 | 220,000 | 80,000    | 0          | 0      | 1,560,000 |
| 東京都                         | 私立 | 明星大学        | 理工学部      | 総合理工学科         | 生命科学・化学系             | 400  | 250,000 | 940,000   | 300,000 | 100,000   | 0          | 0      | 1,590,000 |
| 神奈川県                        | 私立 | 神奈川大学       | 工学部       | 物質生命科学科        |                      | 165  | 300,000 | 760,000   | 310,000 | 150,000   | 0          | 0      | 1,520,000 |
| 東京都                         | 私立 | 東京農業大学      | 生命科学部（仮称） | 分子生命科学科（仮称）    |                      | 115  | 270,000 | 760,000   | 230,000 | 250,000   | 0          | 25,600 | 1,535,600 |
| <b>生命科学部 分子微生物学科（仮称）</b>    |    |             |           |                |                      |      |         |           |         |           |            |        |           |
| 東京都                         | 私立 | 中央大学        | 理工学部      | 生命科学科          |                      | 70   | 240,000 | 1,108,000 | 252,400 | 103,400   | 0          | 0      | 1,703,800 |
| 東京都                         | 私立 | 東洋大学        | 生命科学部     | 応用生物科学科        | 微生物利用コース             | 100  | 250,000 | 970,000   | 260,000 | 70,000    | 0          | 0      | 1,550,000 |
| 東京都                         | 私立 | 日本大学        | 生物資源科学部   | 生命化学科          |                      | 130  | 260,000 | 1,050,000 | 200,000 | 150,000   | 0          | 0      | 1,660,000 |
| 東京都                         | 私立 | 法政大学        | 生命科学部     | 応用植物科学科        | グリーンテクノロジーコース        | 78   | 180,000 | 1,111,000 | 312,000 | 147,000   | 0          | 0      | 1,750,000 |
| 神奈川県                        | 私立 | 神奈川工科大学     | 応用バイオ科学部  | 応用バイオ科学科       |                      | 120  | 170,000 | 1,370,000 | 0       | 0         | 0          | 0      | 1,540,000 |
| 静岡県                         | 私立 | 静岡理工科大学     | 理工学部      | 物質生命科学科        |                      | 60   | 300,000 | 1,240,000 | 0       | 0         | 0          | 0      | 1,540,000 |
| 東京都                         | 私立 | 東京農業大学      | 生命科学部（仮称） | 分子微生物学科（仮称）    |                      | 115  | 270,000 | 760,000   | 230,000 | 250,000   | 0          | 25,600 | 1,535,600 |
| <b>地域環境科学部 地域創成科学科（仮称）</b>  |    |             |           |                |                      |      |         |           |         |           |            |        |           |
| 東京都                         | 私立 | 芝浦工業大学      | システム理工学部  | 環境システム学科       |                      | 80   | 280,000 | 1,099,000 | 283,000 | 0         | 0          | 0      | 1,662,000 |
| 東京都                         | 私立 | 中央大学        | 理工学部      | 都市環境学科         | 環境クリエーターコース          | 80   | 240,000 | 1,108,000 | 252,400 | 103,400   | 0          | 0      | 1,703,800 |
| 東京都                         | 私立 | 東京都市大学      | 環境学部      | 環境創生学科         |                      | 90   | 270,000 | 1,220,000 | 0       | 0         | 0          | 0      | 1,490,000 |
| 東京都                         | 私立 | 東邦大学        | 理学部       | 生命圈環境科学科       |                      | 60   | 300,000 | 992,000   | 0       | 0         | 300,000    | 0      | 1,592,000 |
| 東京都                         | 私立 | 日本大学        | 生物資源科学部   | 生物環境工学科        |                      | 130  | 260,000 | 1,050,000 | 200,000 | 150,000   | 0          | 0      | 1,660,000 |
| 東京都                         | 私立 | 明治大学        | 農学部       | 農学科            | 食糧生産・環境コース           | 130  | 200,000 | 1,129,000 | 0       | 80,000    | 312,000    | 0      | 1,721,000 |
| 東京都                         | 私立 | 東京農業大学      | 地域環境科学部   | 地域創成科学科（仮称）    |                      | 80   | 270,000 | 760,000   | 230,000 | 150,000   | 0          | 25,600 | 1,435,600 |
| <b>国際食料情報学部 国際食農科学科（仮称）</b> |    |             |           |                |                      |      |         |           |         |           |            |        |           |
| 千葉県                         | 私立 | 城西国際大学      | 環境社会学部    | 環境社会学科         |                      | 80   | 300,000 | 770,000   | 240,000 | 0         | 0          | 0      | 1,310,000 |
| 東京都                         | 私立 | 東洋大学        | 食環境科学部    | 食環境科学科         | フードサイエンス専攻<br>(学科合計) | 120  | 250,000 | 970,000   | 260,000 | 70,000    | 0          | 0      | 1,550,000 |
| 東京都                         | 私立 | 日本大学        | 生物資源科学部   | 国際地域開発学科       | 農業・農村開発コース           | 130  | 260,000 | 850,000   | 170,000 | 100,000   | 0          | 0      | 1,380,000 |
| 東京都                         | 私立 | 法政大学        | 生命科学部     | 応用植物科学科        | グリーンマネジメントコース        | 78   | 180,000 | 1,111,000 | 312,000 | 147,000   | 0          | 0      | 1,750,000 |
| 東京都                         | 私立 | 明治大学        | 農学部       | 食料環境政策学科       |                      | 130  | 200,000 | 1,020,000 | 0       | 40,000    | 307,000    | 0      | 1,567,000 |
| 東京都                         | 私立 | 明治大学        | 農学部       | 農学科            | 総合農学コース              | 130  | 200,000 | 1,129,000 | 0       | 80,000    | 312,000    | 0      | 1,721,000 |
| 東京都                         | 私立 | 東京農業大学      | 国際食料情報学部  | 国際食農科学科（仮称）    |                      | 100  | 270,000 | 760,000   | 230,000 | 200,000   | 0          | 25,600 | 1,485,600 |

注1) 各大学情報については、学生納付金等調査（平成27年度入学生（日本私立大学団体連合））および平成26年度全国大学一覧（公益財團法人人文教協会）より転載。

注2) 各大学の学費については、諸会費などを含んでいない場合があるため、概算として参考にして下さい。

注3) 東京農業大学の学費は予定であり、変更する場合があります。

お問い合わせ先

東京農業大学 大学改革推進室  
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1  
電話：03-5477-2650 FAX：03-5477-2804

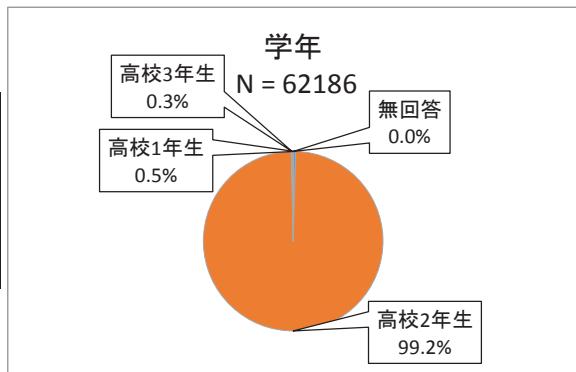




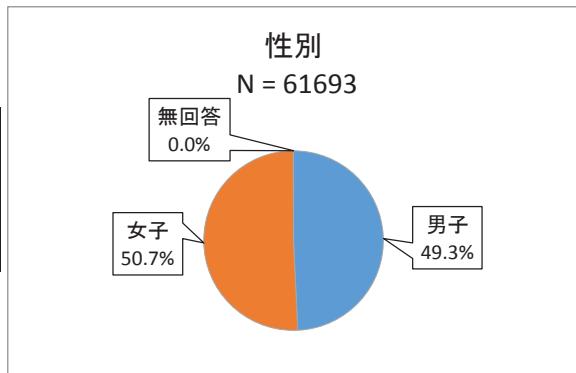


# 单纯集計表

| 学年  |          |        |       |
|-----|----------|--------|-------|
| No. | カテゴリ     | 件数     | (全体)% |
| 1   | 高校1年生    | 285    | 0.5   |
| 2   | 高校2年生    | 61,693 | 99.2  |
| 3   | 高校3年生    | 183    | 0.3   |
|     | 無回答      | 25     | 0.0   |
|     | N (%ベース) | 62,186 | 100   |



| 性別  |          |        |       |
|-----|----------|--------|-------|
| No. | カテゴリ     | 件数     | (全体)% |
| 1   | 男子       | 30,388 | 49.3  |
| 2   | 女子       | 31,279 | 50.7  |
|     | 無回答      | 26     | 0.0   |
|     | N (%ベース) | 61,693 | 100   |

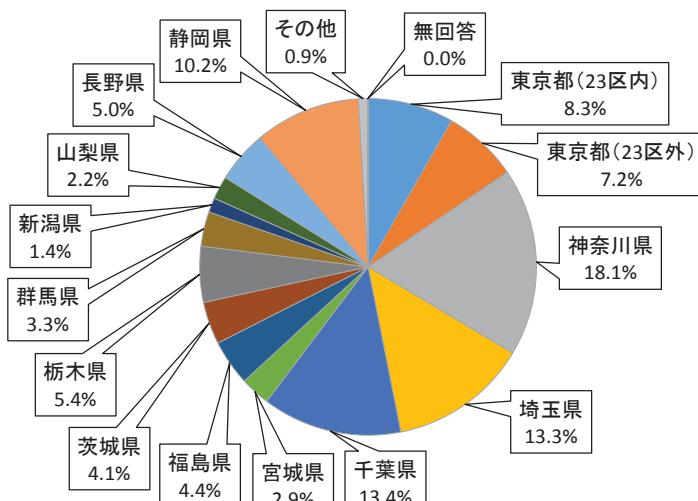


### 現住所

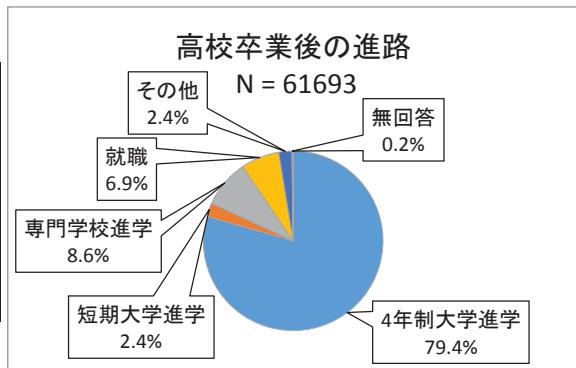
| No. | カテゴリ      | 件数     | (全体)% |
|-----|-----------|--------|-------|
| 1   | 東京都(23区内) | 5,098  | 8.3   |
| 2   | 東京都(23区外) | 4,460  | 7.2   |
| 3   | 神奈川県      | 11,144 | 18.1  |
| 4   | 埼玉県       | 8,219  | 13.3  |
| 5   | 千葉県       | 8,269  | 13.4  |
| 6   | 宮城県       | 1,764  | 2.9   |
| 7   | 福島県       | 2,709  | 4.4   |
| 8   | 茨城県       | 2,517  | 4.1   |
| 9   | 栃木県       | 3,311  | 5.4   |
| 10  | 群馬県       | 2,042  | 3.3   |
| 11  | 新潟県       | 865    | 1.4   |
| 12  | 山梨県       | 1,367  | 2.2   |
| 13  | 長野県       | 3,078  | 5.0   |
| 14  | 静岡県       | 6,280  | 10.2  |
| 15  | その他       | 543    | 0.9   |
|     | 無回答       | 27     | 0.0   |
|     | N (%ベース)  | 61,693 | 100   |

### 現住所

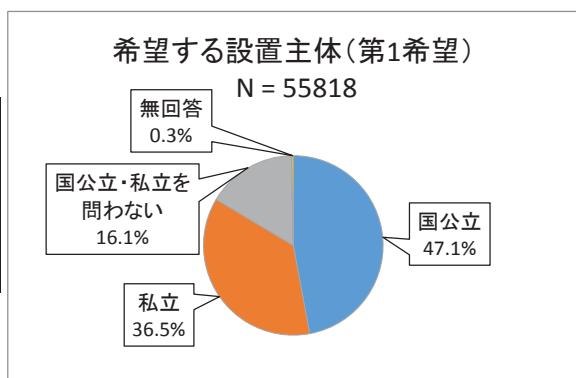
N = 61693



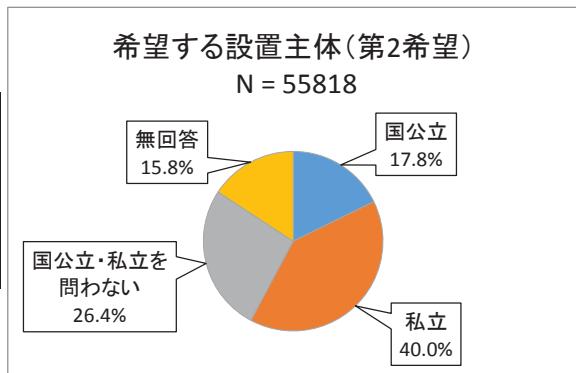
| 高校卒業後の進路 |         |        |       |
|----------|---------|--------|-------|
| No.      | カテゴリ    | 件数     | (全体)% |
| 1        | 4年制大学進学 | 49,007 | 79.4  |
| 2        | 短期大学進学  | 1,503  | 2.4   |
| 3        | 専門学校進学  | 5,308  | 8.6   |
| 4        | 就職      | 4,278  | 6.9   |
| 5        | その他     | 1,472  | 2.4   |
|          | 無回答     | 125    | 0.2   |
| N (%ベース) |         | 61,693 | 100   |



| 希望する設置主体(第1希望) |             |        |       |
|----------------|-------------|--------|-------|
| No.            | カテゴリ        | 件数     | (全体)% |
| 1              | 国公立         | 26,280 | 47.1  |
| 2              | 私立          | 20,360 | 36.5  |
| 3              | 国公立・私立を問わない | 8,994  | 16.1  |
|                | 無回答         | 184    | 0.3   |
| N (%ベース)       |             | 55,818 | 100   |



| 希望する設置主体(第2希望) |             |        |       |
|----------------|-------------|--------|-------|
| No.            | カテゴリ        | 件数     | (全体)% |
| 1              | 国公立         | 9,910  | 17.8  |
| 2              | 私立          | 22,354 | 40.0  |
| 3              | 国公立・私立を問わない | 14,752 | 26.4  |
|                | 無回答         | 8,802  | 15.8  |
| N (%ベース)       |             | 55,818 | 100   |

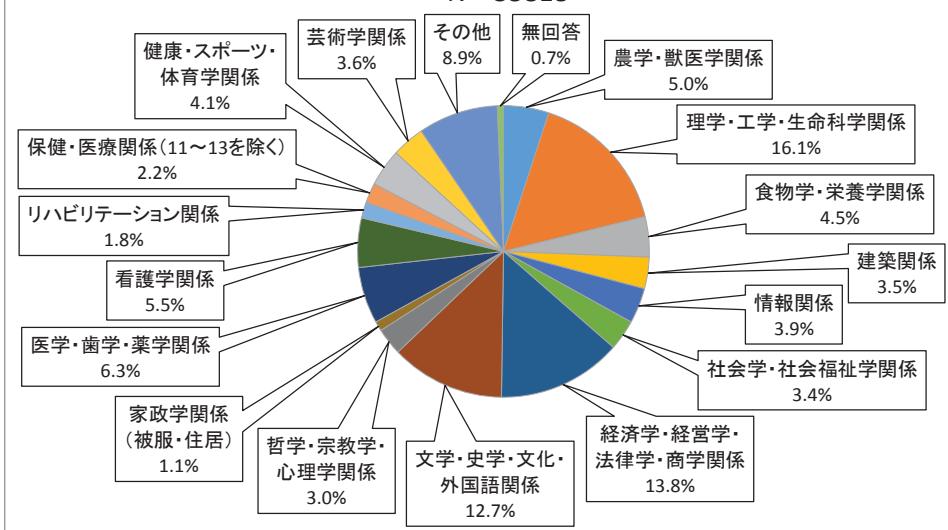


興味のある分野(第1位)

| No. | カテゴリ              | 件数     | (全体)% |
|-----|-------------------|--------|-------|
| 1   | 農学・獣医学関係          | 2,810  | 5.0   |
| 2   | 理学・工学・生命科学関係      | 8,998  | 16.1  |
| 3   | 食物学・栄養学関係         | 2,492  | 4.5   |
| 4   | 建築関係              | 1,953  | 3.5   |
| 5   | 情報関係              | 2,192  | 3.9   |
| 6   | 社会学・社会福祉学関係       | 1,892  | 3.4   |
| 7   | 経済学・経営学・法律学・商学関係  | 7,695  | 13.8  |
| 8   | 文学・史学・文化・外国語関係    | 7,066  | 12.7  |
| 9   | 哲学・宗教学・心理学関係      | 1,679  | 3.0   |
| 10  | 家政学関係(被服・住居)      | 604    | 1.1   |
| 11  | 医学・歯学・薬学関係        | 3,496  | 6.3   |
| 12  | 看護学関係             | 3,054  | 5.5   |
| 13  | リハビリテーション関係       | 985    | 1.8   |
| 14  | 保健・医療関係(11~13を除く) | 1,234  | 2.2   |
| 15  | 健康・スポーツ・体育学関係     | 2,316  | 4.1   |
| 16  | 芸術学関係             | 2,030  | 3.6   |
| 17  | その他               | 4,944  | 8.9   |
|     | 無回答               | 378    | 0.7   |
|     | N (%ベース)          | 55,818 | 100   |

興味のある分野(第1位)

N = 55818

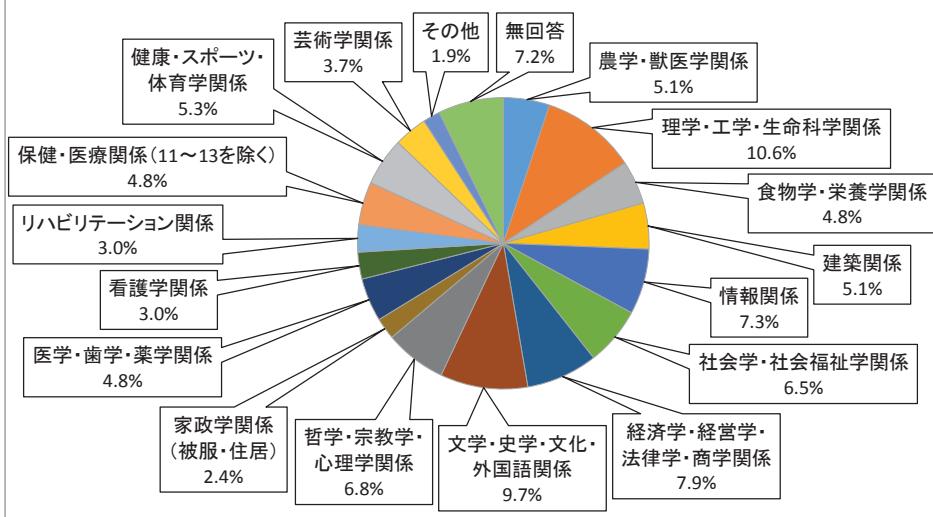


興味のある分野(第2位)

| No. | カテゴリ              | 件数     | (全体)% |
|-----|-------------------|--------|-------|
| 1   | 農学・獣医学関係          | 2,863  | 5.1   |
| 2   | 理学・工学・生命科学関係      | 5,899  | 10.6  |
| 3   | 食物学・栄養学関係         | 2,701  | 4.8   |
| 4   | 建築関係              | 2,847  | 5.1   |
| 5   | 情報関係              | 4,055  | 7.3   |
| 6   | 社会学・社会福祉学関係       | 3,617  | 6.5   |
| 7   | 経済学・経営学・法律学・商学関係  | 4,422  | 7.9   |
| 8   | 文学・史学・文化・外国語関係    | 5,422  | 9.7   |
| 9   | 哲学・宗教学・心理学関係      | 3,813  | 6.8   |
| 10  | 家政学関係(被服・住居)      | 1,337  | 2.4   |
| 11  | 医学・歯学・薬学関係        | 2,686  | 4.8   |
| 12  | 看護学関係             | 1,659  | 3.0   |
| 13  | リハビリテーション関係       | 1,693  | 3.0   |
| 14  | 保健・医療関係(11~13を除く) | 2,660  | 4.8   |
| 15  | 健康・スポーツ・体育学関係     | 2,975  | 5.3   |
| 16  | 芸術学関係             | 2,061  | 3.7   |
| 17  | その他               | 1,065  | 1.9   |
|     | 無回答               | 4,043  | 7.2   |
|     | N (%ベース)          | 55,818 | 100   |

興味のある分野(第2位)

N = 55818

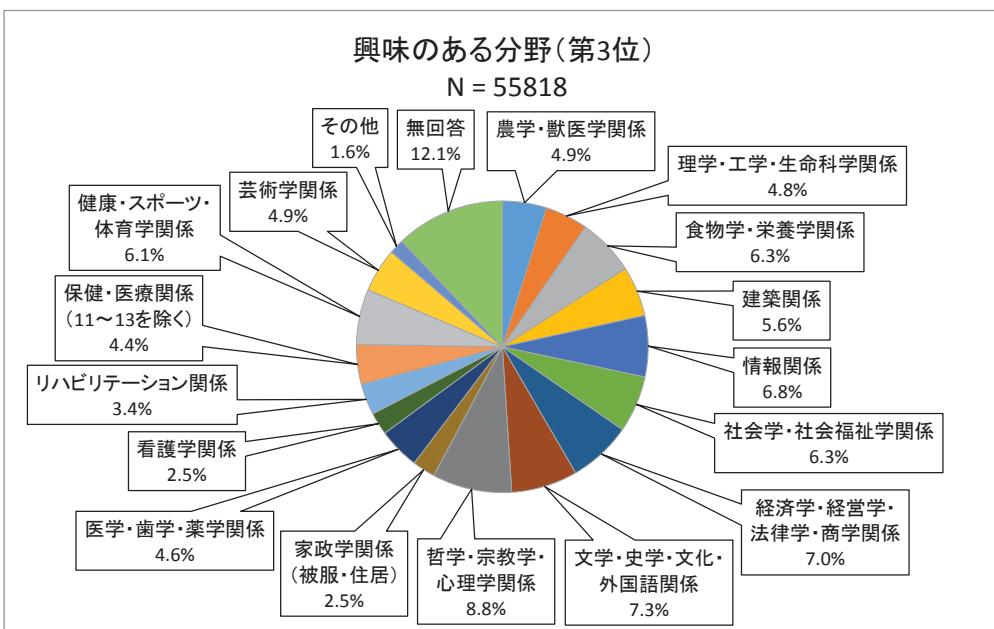


興味のある分野(第3位)

| No. | カテゴリ              | 件数     | (全体)% |
|-----|-------------------|--------|-------|
| 1   | 農学・獣医学関係          | 2,738  | 4.9   |
| 2   | 理学・工学・生命科学関係      | 2,652  | 4.8   |
| 3   | 食物学・栄養学関係         | 3,539  | 6.3   |
| 4   | 建築関係              | 3,099  | 5.6   |
| 5   | 情報関係              | 3,781  | 6.8   |
| 6   | 社会学・社会福祉学関係       | 3,513  | 6.3   |
| 7   | 経済学・経営学・法律学・商学関係  | 3,911  | 7.0   |
| 8   | 文学・史学・文化・外国語関係    | 4,099  | 7.3   |
| 9   | 哲学・宗教学・心理学関係      | 4,924  | 8.8   |
| 10  | 家政学関係(被服・住居)      | 1,417  | 2.5   |
| 11  | 医学・歯学・薬学関係        | 2,564  | 4.6   |
| 12  | 看護学関係             | 1,389  | 2.5   |
| 13  | リハビリテーション関係       | 1,920  | 3.4   |
| 14  | 保健・医療関係(11~13を除く) | 2,466  | 4.4   |
| 15  | 健康・スポーツ・体育学関係     | 3,421  | 6.1   |
| 16  | 芸術学関係             | 2,712  | 4.9   |
| 17  | その他               | 910    | 1.6   |
|     | 無回答               | 6,763  | 12.1  |
|     | N (%ベース)          | 55,818 | 100   |

興味のある分野(第3位)

N = 55818

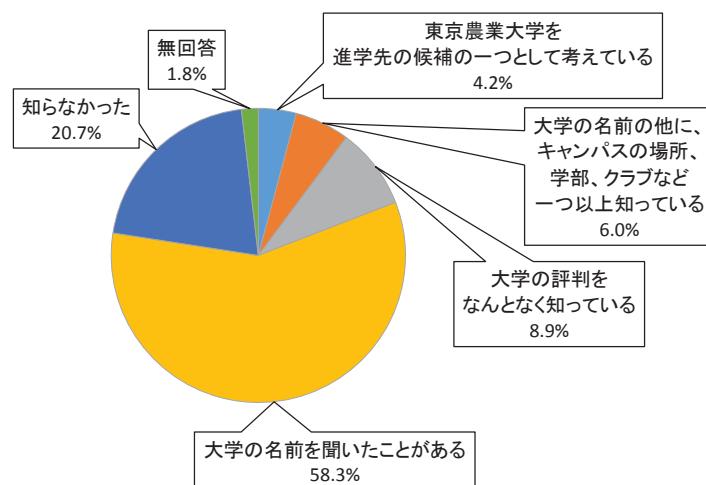


### 東京農業大学の知名度

| No. | カテゴリ                                | 件数     | (全体)% |
|-----|-------------------------------------|--------|-------|
| 1   | 東京農業大学を進学先の候補の一つとして考えている            | 2,321  | 4.2   |
| 2   | 大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている | 3,368  | 6.0   |
| 3   | 大学の評判をなんとなく知っている                    | 4,986  | 8.9   |
| 4   | 大学の名前を聞いたことがある                      | 32,552 | 58.3  |
| 5   | 知らなかった                              | 11,564 | 20.7  |
|     | 無回答                                 | 1,027  | 1.8   |
|     | N (%ベース)                            | 55,818 | 100   |

### 東京農業大学の知名度

N = 55818

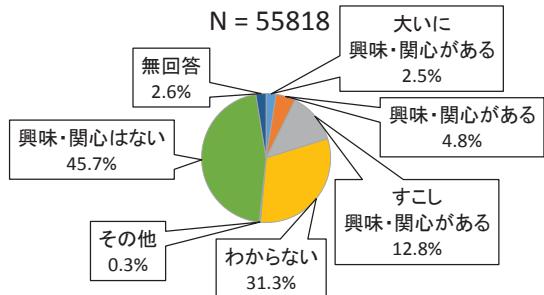


### 新学部・新学科への興味・関心

| No. | カテゴリ        | 件数     | (全体)% |
|-----|-------------|--------|-------|
| 1   | 大いに興味・関心がある | 1,398  | 2.5   |
| 2   | 興味・関心がある    | 2,706  | 4.8   |
| 3   | すこし興味・関心がある | 7,143  | 12.8  |
| 4   | わからない       | 17,461 | 31.3  |
| 5   | その他         | 160    | 0.3   |
| 6   | 興味・関心はない    | 25,522 | 45.7  |
|     | 無回答         | 1,428  | 2.6   |
|     | N (%ベース)    | 55,818 | 100   |

### 新学部・新学科への興味・関心

N = 55818

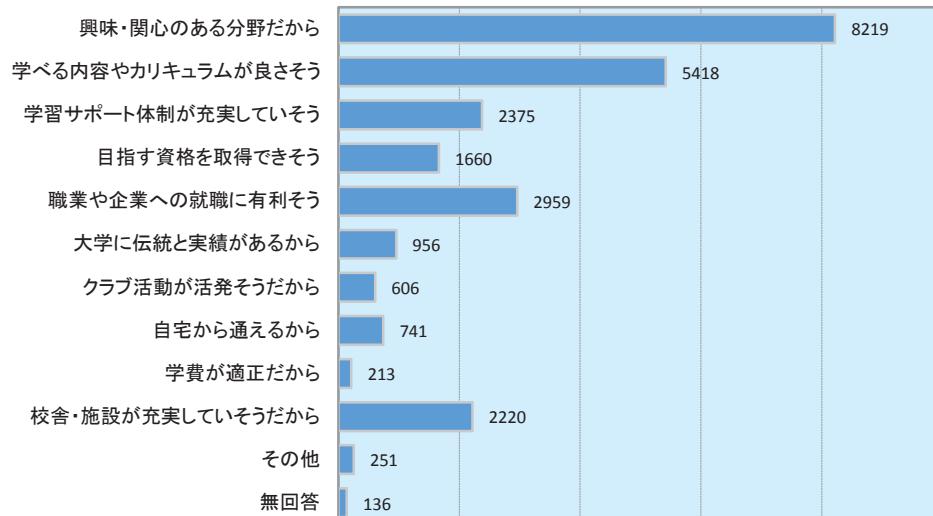


興味・関心の理由(複数回答)

| No. | カテゴリ              | 件数     | (全体)% |
|-----|-------------------|--------|-------|
| 1   | 興味・関心のある分野だから     | 8,219  | 73.1  |
| 2   | 学べる内容やカリキュラムが良さそう | 5,418  | 48.2  |
| 3   | 学習サポート体制が充実していそう  | 2,375  | 21.1  |
| 4   | 目指す資格を取得できそう      | 1,660  | 14.8  |
| 5   | 職業や企業への就職に有利そう    | 2,959  | 26.3  |
| 6   | 大学に伝統と実績があるから     | 956    | 8.5   |
| 7   | クラブ活動が活発そうだから     | 606    | 5.4   |
| 8   | 自宅から通えるから         | 741    | 6.6   |
| 9   | 学費が適正だから          | 213    | 1.9   |
| 10  | 校舎・施設が充実していそうだから  | 2,220  | 19.7  |
| 11  | その他               | 251    | 2.2   |
|     | 無回答               | 136    | 1.2   |
|     | N (%ペース)          | 11,247 | 100   |

興味・関心の理由(複数回答)

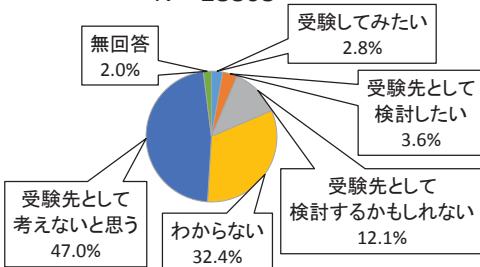
N = 11247



| 新学部・新学科への受験意向 |                  |        |       |
|---------------|------------------|--------|-------|
| No.           | カテゴリ             | 件数     | (全体)% |
| 1             | 受験してみたい          | 798    | 2.8   |
| 2             | 受験先として検討したい      | 1,048  | 3.6   |
| 3             | 受験先として検討するかもしれない | 3,504  | 12.1  |
| 4             | わからない            | 9,365  | 32.4  |
| 5             | 受験先として考えないと思う    | 13,579 | 47.0  |
|               | 無回答              | 574    | 2.0   |
|               | N (%ベース)         | 28,868 | 100   |

新学部・新学科への受験意向

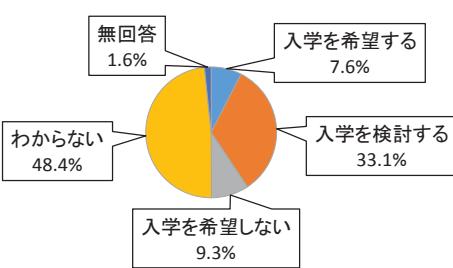
N = 28868



| 新学部・新学科への入学意向 |          |        |       |
|---------------|----------|--------|-------|
| No.           | カテゴリ     | 件数     | (全体)% |
| 1             | 入学を希望する  | 1,113  | 7.6   |
| 2             | 入学を検討する  | 4,870  | 33.1  |
| 3             | 入学を希望しない | 1,362  | 9.3   |
| 4             | わからない    | 7,128  | 48.4  |
|               | 無回答      | 242    | 1.6   |
|               | N (%ベース) | 14,715 | 100   |

新学部・新学科への入学意向

N = 14715

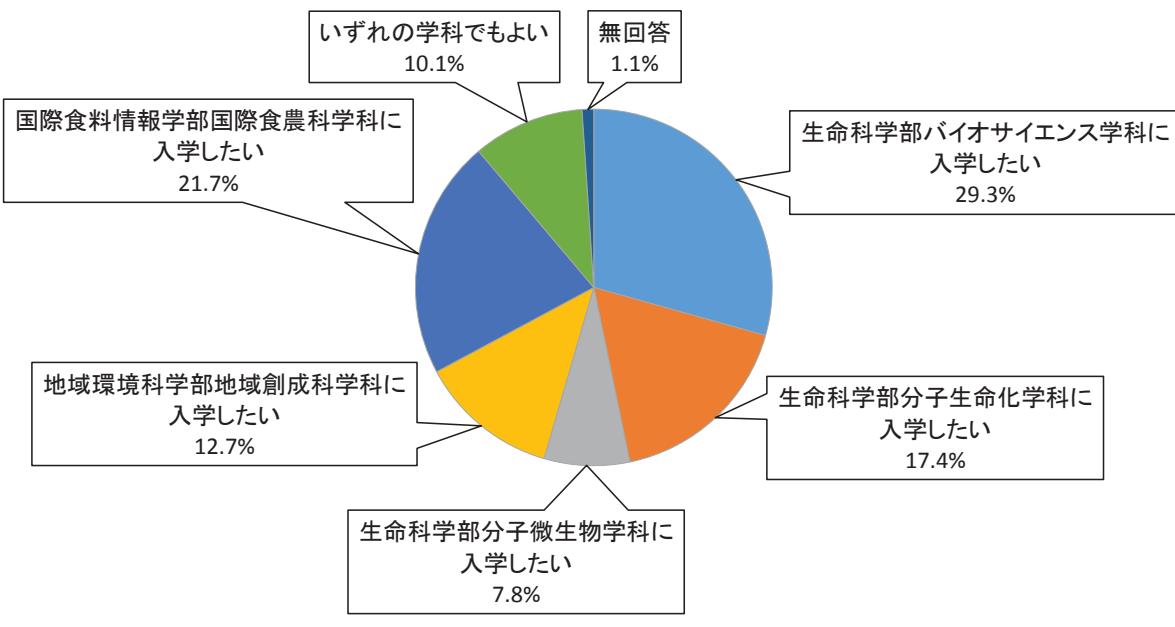


### 入学を希望する新学部・新学科(第1希望)

| No. | カテゴリ                  | 件数    | (全体)% |
|-----|-----------------------|-------|-------|
| 1   | 生命科学部バイオサイエンス学科に入学したい | 1,756 | 29.3  |
| 2   | 生命科学部分子生命化学科に入学したい    | 1,041 | 17.4  |
| 3   | 生命科学部分子微生物学科に入学したい    | 464   | 7.8   |
| 4   | 地域環境科学部地域創成科学科に入学したい  | 757   | 12.7  |
| 5   | 国際食料情報学部国際食農科学科に入学したい | 1,297 | 21.7  |
| 6   | いずれの学科でもよい            | 605   | 10.1  |
|     | 無回答                   | 63    | 1.1   |
|     | N (%ベース)              | 5,983 | 100   |

### 入学を希望する新学部・新学科(第1希望)

N = 5983

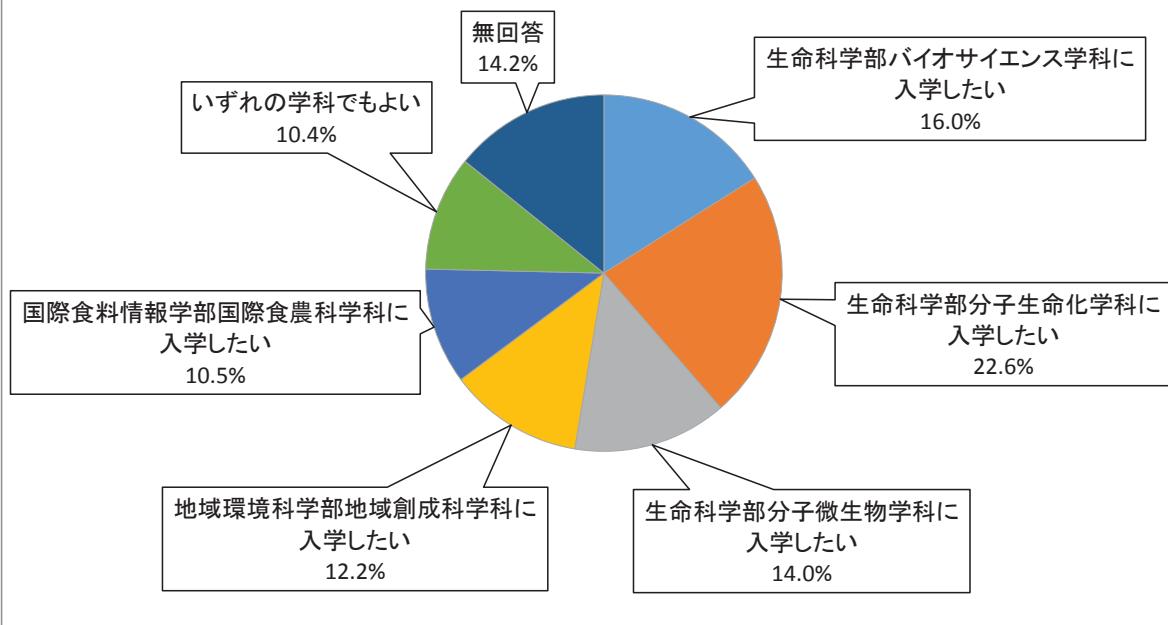


入学を希望する新学部・新学科(第2希望)

| No. | カテゴリ                  | 件数    | (全体)% |
|-----|-----------------------|-------|-------|
| 1   | 生命科学部バイオサイエンス学科に入学したい | 960   | 16.0  |
| 2   | 生命科学部分子生命化学科に入学したい    | 1,351 | 22.6  |
| 3   | 生命科学部分子微生物学科に入学したい    | 837   | 14.0  |
| 4   | 地域環境科学部地域創成科学科に入学したい  | 730   | 12.2  |
| 5   | 国際食料情報学部国際食農科学科に入学したい | 631   | 10.5  |
| 6   | いずれの学科でもよい            | 624   | 10.4  |
|     | 無回答                   | 850   | 14.2  |
|     | N (%ベース)              | 5,983 | 100   |

入学を希望する新学部・新学科(第2希望)

N = 5983



# 資料6

## 新学部・新学科と類似する近隣の大学・学部・学科との初年度学生納付金の比較

| 所在地                         | 区分 | 大学名        | 学部名       | 学科名            | 入学金     | 授業料       | 施設設備費   | 実験・実習・体育費 | 教育充実費特別納付金 | 維持費他   | 合計        |
|-----------------------------|----|------------|-----------|----------------|---------|-----------|---------|-----------|------------|--------|-----------|
| <b>生命科学部 バイオサイエンス学科（仮称）</b> |    |            |           |                |         |           |         |           |            |        |           |
| 東京都                         | 私立 | 玉川大学       | 農学部       | 生命化学科          | 250,000 | 1,029,000 | 250,000 | 275,200   | 0          | 0      | 1,804,200 |
| 東京都                         | 私立 | 帝京科学大学     | 生命環境学部    | 生命科学科          | 200,000 | 860,000   | 200,000 | 180,000   | 0          | 40,000 | 1,480,000 |
| 東京都                         | 私立 | 東洋大学       | 生命科学部     | 生命科学科          | 250,000 | 970,000   | 260,000 | 70,000    | 0          | 0      | 1,550,000 |
| 東京都                         | 私立 | 日本大学       | 工学部       | 生命応用化学科        | 260,000 | 900,000   | 220,000 | 80,000    | 0          | 0      | 1,460,000 |
| 東京都                         | 私立 | 日本獣医生命科学大学 | 応用生命科学部   | 食品科学科          | 250,000 | 750,000   | 300,000 | 100,000   | 200,000    | 20,000 | 1,620,000 |
| 東京都                         | 私立 | 明治大学       | 農学部       | 農芸化学科          | 200,000 | 1,129,000 | 0       | 80,000    | 312,000    | 0      | 1,721,000 |
| 上記6大学の平均                    |    |            |           |                | 235,000 | 939,667   | 205,000 | 130,867   | 85,333     | 10,000 | 1,605,867 |
| 東京都                         | 私立 | 東京農業大学     | 生命科学部（仮称） | バイオサイエンス学科（仮称） | 270,000 | 760,000   | 230,000 | 250,000   | 0          | 25,600 | 1,535,600 |
| <b>生命科学部 分子生命化学科（仮称）</b>    |    |            |           |                |         |           |         |           |            |        |           |
| 東京都                         | 私立 | 青山学院大学     | 理工学部      | 化学・生命科学科       | 200,000 | 1,191,000 | 257,000 | 90,000    | 0          | 0      | 1,738,000 |
| 東京都                         | 私立 | 工学院大学      | 先進工学部     | 生命化学科          | 200,000 | 998,000   | 300,000 | 100,000   | 0          | 0      | 1,598,000 |
| 東京都                         | 私立 | 東京理科大学     | 生命科学部     | 分子生命科学科        | 260,000 | 1,110,000 | 480,000 | 0         | 0          | 0      | 1,850,000 |
| 東京都                         | 私立 | 日本大学       | 生産工学部     | 応用分子化学科        | 260,000 | 1,000,000 | 220,000 | 80,000    | 0          | 0      | 1,560,000 |
| 東京都                         | 私立 | 明星大学       | 理工学部      | 総合理工学科         | 250,000 | 940,000   | 300,000 | 100,000   | 0          | 0      | 1,590,000 |
| 神奈川県                        | 私立 | 神奈川大学      | 工学部       | 物質生命化学科        | 300,000 | 760,000   | 310,000 | 150,000   | 0          | 0      | 1,520,000 |
| 上記6大学の平均                    |    |            |           |                | 245,000 | 999,833   | 311,167 | 86,667    | 0          | 0      | 1,642,667 |
| 東京都                         | 私立 | 東京農業大学     | 生命科学部（仮称） | 分子生命化学科（仮称）    | 270,000 | 760,000   | 230,000 | 250,000   | 0          | 25,600 | 1,535,600 |
| <b>生命科学部 分子微生物学科（仮称）</b>    |    |            |           |                |         |           |         |           |            |        |           |
| 東京都                         | 私立 | 中央大学       | 理工学部      | 生命科学科          | 240,000 | 1,108,000 | 252,400 | 103,400   | 0          | 0      | 1,703,800 |
| 東京都                         | 私立 | 東洋大学       | 生命科学部     | 応用生物科学科        | 250,000 | 970,000   | 260,000 | 70,000    | 0          | 0      | 1,550,000 |
| 東京都                         | 私立 | 日本大学       | 生物資源科学部   | 生命化学科          | 260,000 | 1,050,000 | 200,000 | 150,000   | 0          | 0      | 1,660,000 |
| 東京都                         | 私立 | 法政大学       | 生命科学部     | 応用植物科学科        | 180,000 | 1,111,000 | 312,000 | 147,000   | 0          | 0      | 1,750,000 |
| 神奈川県                        | 私立 | 神奈川工科大学    | 応用バイオ科学部  | 応用バイオ科学科       | 170,000 | 1,370,000 | 0       | 0         | 0          | 0      | 1,540,000 |
| 静岡県                         | 私立 | 静岡理工科大学    | 理工学部      | 物質生命科学科        | 300,000 | 1,240,000 | 0       | 0         | 0          | 0      | 1,540,000 |
| 上記6大学の平均                    |    |            |           |                | 233,333 | 1,141,500 | 170,733 | 78,400    | 0          | 0      | 1,623,967 |
| 東京都                         | 私立 | 東京農業大学     | 生命科学部（仮称） | 分子微生物学科（仮称）    | 270,000 | 760,000   | 230,000 | 250,000   | 0          | 25,600 | 1,535,600 |
| <b>地域環境科学部 地域創成科学科（仮称）</b>  |    |            |           |                |         |           |         |           |            |        |           |
| 東京都                         | 私立 | 芝浦工業大学     | システム理工学部  | 環境システム学科       | 280,000 | 1,099,000 | 283,000 | 0         | 0          | 0      | 1,662,000 |
| 東京都                         | 私立 | 中央大学       | 理工学部      | 都市環境学科         | 240,000 | 1,108,000 | 252,400 | 103,400   | 0          | 0      | 1,703,800 |
| 東京都                         | 私立 | 東京都市大学     | 環境学部      | 環境創生学科         | 270,000 | 1,220,000 | 0       | 0         | 0          | 0      | 1,490,000 |
| 東京都                         | 私立 | 東邦大学       | 理学部       | 生命圏環境科学科       | 300,000 | 992,000   | 0       | 0         | 300,000    | 0      | 1,592,000 |
| 東京都                         | 私立 | 日本大学       | 生物資源科学部   | 生物環境工学科        | 260,000 | 1,050,000 | 200,000 | 150,000   | 0          | 0      | 1,660,000 |
| 東京都                         | 私立 | 明治大学       | 農学部       | 農学科            | 200,000 | 1,129,000 | 0       | 80,000    | 312,000    | 0      | 1,721,000 |
| 上記6大学の平均                    |    |            |           |                | 258,333 | 1,099,667 | 122,567 | 55,567    | 102,000    | 0      | 1,638,133 |
| 東京都                         | 私立 | 東京農業大学     | 地域環境科学部   | 地域創成科学科（仮称）    | 270,000 | 760,000   | 230,000 | 150,000   | 0          | 25,600 | 1,435,600 |
| <b>国際食料情報学部 国際食農科学科（仮称）</b> |    |            |           |                |         |           |         |           |            |        |           |
| 千葉県                         | 私立 | 城西国際大学     | 環境社会学部    | 環境社会学科         | 300,000 | 770,000   | 240,000 | 0         | 0          | 0      | 1,310,000 |
| 東京都                         | 私立 | 東洋大学       | 食環境科学部    | 食環境科学科         | 250,000 | 970,000   | 260,000 | 70,000    | 0          | 0      | 1,550,000 |
| 東京都                         | 私立 | 日本大学       | 生物資源科学部   | 国際地域開発学科       | 260,000 | 850,000   | 170,000 | 100,000   | 0          | 0      | 1,380,000 |
| 東京都                         | 私立 | 法政大学       | 生命科学部     | 応用植物科学科        | 180,000 | 1,111,000 | 312,000 | 147,000   | 0          | 0      | 1,750,000 |
| 東京都                         | 私立 | 明治大学       | 農学部       | 食料環境政策学科       | 200,000 | 1,020,000 | 0       | 40,000    | 307,000    | 0      | 1,567,000 |
| 東京都                         | 私立 | 明治大学       | 農学部       | 農学科            | 200,000 | 1,129,000 | 0       | 80,000    | 312,000    | 0      | 1,721,000 |
| 上記6大学の平均                    |    |            |           |                | 231,667 | 975,000   | 163,667 | 72,833    | 103,167    | 0      | 1,546,333 |
| 東京都                         | 私立 | 東京農業大学     | 国際食料情報学部  | 国際食農科学科（仮称）    | 270,000 | 760,000   | 230,000 | 200,000   | 0          | 25,600 | 1,485,600 |

注1) 各大学情報については、学生納付金等調査（平成27年度入生（日本私立大学団体連合会））より転載しました。

注2) 各大学の学費については、諸会費などを含んでいない場合があります。

注3) 東京農業大学の学費は予定であり、変更する場合があります。

**大学受験のための進学相談会**

**進学首選 神奈川学園私立大**

文系・理系91学部240学科

**5/31日 11:00▶17:00**

場所 無料開放  
秋葉原ダイビル  
2Fコンベンションホール

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-18-13

日時 場所

参加大学

|        |      |        |        |        |
|--------|------|--------|--------|--------|
| 東京電機大学 | 拓殖大学 | 玉川大学   | 東洋大学   | 立正大学   |
| 東京都市大学 | 大谷大学 | 千葉工業大学 | 千葉商科大学 | 東京経済大学 |
| 東京農業大学 | 駒澤大学 | 成城大学   | 大東文化大学 |        |
| 東洋大学   | 駒澤大学 | 成城大学   | 大東文化大学 |        |

大学個別相談コーナー／分野選択系統別進学コーナー／学費・奨学金相談コーナー<sup>一</sup>  
AO・推薦入試対策相談コーナー／大学グッズフレゼントコーナー<sup>一</sup>

<http://www.17univ.com>

# 屋上を森に? 壁を花畠に?? 都市空間を 緑で彩る

緑は私たちの心を和ませ、季節の移ろいや生命の躍動感を教えてくれます。近年は都市化が進み、緑に触れる機会も少なくなっていますが、実は地面がない場所でも緑を楽しむことはできるのです。都市空間に緑地を創り、守り、育していく技術を研究している東京農業大学造園科学科の水庭千鶴子准教授にお話を伺いました。

## 都市の緑を どう創り、守るか

「ここは造園科学科の教員、卒業生、在学生と一緒に作ってたんですよ。」そう言って水庭准教授が案内してくれたのは、東京農業大学世田谷キャンパスの中庭だ。木々に囲まれた緑の芝生の上に立つと、心地よい風が吹き抜け、ここが東京の真ん中だとはとても思えない。昨年4月に約3,000平方㍍の更地に2日間かけて芝を張り、その後の維持管理も水庭准教授の研究室の学生も含めてボランティアで行っている。

また、キャンパス隣接する東京農業大学第一高等学校の屋上庭園も、研究室の卒業生と在学生による力作だ。樹齢100年を超えるヨウマツなどを配した野点のできる和風庭園で、こちらも都心のビルの屋上とは思えないしっとりとした雰囲気が漂う。「たとえコンクリートに囲まれた都会に暮らしていても、やはり緑がほしいですよね。私たちの研究室では、屋上緑化や建物を植物で覆う壁面緑化などの技術について研究し、都市空間にどのように緑地を作り、守っていくかを考えています。」



東京農大の中庭「ユリノキ広場」の作業風景

## 緑は「生きた 空気清浄機」

緑は私たちの目を楽しませるだけでなく、暮らしに役立つさまざまな効果ももっている。その一つが空気を浄化する作用だ。「室内の空气中に有害な化学物質『ホルムアルデヒド』を含ませ、観葉

※ホルムアルデヒド…建材の接着剤や塗料などに含まれることの多い化学物質で、頭痛や皮膚の炎症といった「シックハウス症候群」を引き起こす。現在は使用制限が設けられている。

植物を置いて実験したところ、植物がこの物質を吸収し、わずか2~3時間で空気が浄化されました。まさに植物は「生きた空気清浄機」なのです。また、土壤や水質を浄化する効果もあるという。

水庭准教授が緑による環境改善効果を研究しているには理由がある。「実家が造園業を営んでいて、子どものころから公園が作られるのを見たくて見てきました。でも、宅地化などでもとからあった緑がすべて伐採され整地されていく様子に、いつか緑が消えてしまうのでは、と危機感を抱いたんです。」緑を守りたい。そのためには、「緑がなくなったら大変だ」ということをみんなに認識してもらわなければ。そんな思いが、こうした研究の原点になったそうだ。

緑がもたらす効果はほかにもある。例えば、屋上緑化をすれば都市の保水力が向上する。近年の「ゲリラ豪雨」のような大量に降った雨水も、屋上緑地にいったん貯めて少しづつ排水することで下水道や河川の氾濫を抑えられる。また、壁面緑化を施せば、真夏でも建物全体の熱上昇を抑制できる。「緑が私たちの生活にいかに役立っているかを伝えことで、「緑は大切なのだ」という思いがみんなの中に根付いてくれれば」と水庭准教授は期待する。

## 人々のニーズに 合った緑を創る

植物にとって都市空間は快適な生育場所とは言い難い。ビル風や日照不足、乾燥といった厳しい環境にさらされる上、土壤の質も違う。日本の土壤はもともと弱酸性なのだが、都市部にはコンクリートが多いため、そこに含まれているアルカリ性水溶液が溶け出し、土壤が弱アルカリ性に変わりつつあるのだ。このため適応できる植物も以前とは異なり、ツツジやサツキのような酸性土壤を

好み日本古来の植物よりも、オリーブのようなヨーロッパ型の植物のほうが元気に育つそうだ。水庭准教授の研究室では、どんな植物がどのくらい乾燥や寒さ、ビル風などに耐えられるかといった植物の耐環境性を長年研究し、データを蓄積してきた。研究室には緑地開発に関する相談が寄せられることも多く、こうしたデータに基づいて個々の環境条件に最適な植物を提案している。

また、環境条件だけでなく、人々のニーズに合った緑を選ぶことも重要なポイントだ。「この先も緑を守り、残していくためには、みんなから愛される緑を作ることが大切です。最近はクリスマスローズが人気ですが、例えば、日陰を好む植物を日向に植えたいという要望があれば、植物の南側に少し背の高い落葉樹を植えて、夏に日陰を作るといったアドバイスを行い、ニーズに応えます。」

時には、「芝生を屋内で育てたい」(でも、芝生は日光が大好き)、「西日が照りつける場所でモミジを植えたい」(でも、モミジは高温乾燥が苦手)、「狭い空間に大きな木を植えたい」(…),といった難題が寄せられ頭を抱えることもあるが、みんなが楽しめる緑の空間を作っていくために、これからもさまざまな場面で協力していくといふ。「緑を守っていかないといふ。そう思っている人に、ぜひこの研究室と一緒に活動してほしいですね。」



水庭千鶴子准教授

東京農業大学  
地域環境科学部 造園科学科  
ランドスケープ資源・植物分野 都市緑化技術研究室

## 緑の効果



## 東京農業大学「2015年度オープンキャンパス」

### オホーツクキャンパス

7/25(土) 26(日)

10:00~16:00 (予約不要)

【プログラム】学科別マニピ体験、入試相談、学外リスツアーや、在学生トークライブ、保護者向け説明会など  
連絡先: 0152-46-3814 入試課

### 厚木キャンパス

8/1(土) 2(日)

10:00~17:00 (予約不要)

【プログラム】学科別マニピ体験、見学ツアー、模擬講義、キャンパスライフ紹介、入試相談、学生生活相談など

### 世田谷キャンパス

8/2(日) 3(月)

10:00~17:00 (予約不要)

【プログラム】学科別マニピ体験、模擬講義、入試対策講義、キャンパスライフ紹介、学生の取り組みの紹介など  
詳細はHPをご覧ください。

みんな  
来てね!



# 樹木の年輪が 教えてくれること

木は、地球上で最も長生きをする生き物だといえるかもしれません。日本にも樹齢1000年を超す古木が現存しています。そして、木が生きてきた歴史が刻まれているのが、幹の内部にある「年輪」です。年輪と気候の関係などを研究している東京農業大学森林総合科学科の桃井尊央助教にお話を伺いました。

## すべての木に 年輪があるの？

年輪は、樹木の断面に形成される同心円状の模様だ。樹皮の下にある形成層という部分が、木部を内側に押し込みながら外側に向かって成長していく過程ができる。1年に一つずつ増えるので、年輪を数えれば樹齢がわかる。

「ただし、年輪ができるのは日本のようく季節の違いがはっきりしている地域の樹木。例えば、合板（ベニヤ板）に使われる『ラワン』のように、熱帯などで育つものにはできないんです」と桃井助教が教えてくれた。

年輪の幅は一定ではない。狭いところもあれば広いところもあり、広いほど成長がよかったことを表している。そういうえば、樹木は日の当たる南側がよく成長するから、年輪もそちらに向かって格円になる。だから、山で迷った時は切り株の年輪を見れば方角がわかる、と言わっているけれど、本当だろうか。

「年輪の幅が広いほうが南だ、という説ですね。あれは間違いなんです（笑）。例えば斜面に生えている場合、幹が傾かないように、針葉樹は谷側が、広葉樹は山側がより成長するので年輪が格円になるんです。なので、残念ながら年輪から方角を知ることはできません。でも、年輪を読解すると、もっと面白いことがわかるんですよ」

## 年輪は過去を測る 「モナシ」

年輪を解析することで得られる情報の一つが、過去の気候変動だ。

桃井助教は東京農業大学奥多摩演習林で、樹木の年輪と、この地域の気候との関係を研究している。調査を進める中で、最近興味深いことがわかつてきたそうだ。2~3月の気温が高いとアカマツなどの針葉樹の年輪の輪が広くなり、低

いとくなるのだ。「樹木が実際に成長するのは4月から10月頃までなのですが、成長の良し悪しは春先の気温の高低によってかなり制限されています」

さらに、過去50年間の年輪幅の年変動と、気温の年変動を照らし合わせたところ、両者の変動パターンはほぼ同じだった。「つまり、樹木には生育地域の気候変動が忠実に反映されているということです。だから、年輪幅の変動を『モナシ』として使えば、たとえ気象データのないはるか昔の気候でも『復元』できるんです」

過去の気候変動を知ることは、今後の環境変化を予測していく上で非常に重要だ。実際に、気象庁などから発表されている気候予測には、年輪幅の変動を元にしたデータも使われている。また、年輪幅の変動を用いれば、遺跡から発掘された古い木製品などがいつ頃作られたかも正確につきとめられるというから驚く。

年輪は気温や降水量といった気候だけでなく、動物や虫による害などからも影響を受ける。「年輪は、私たちが知ることのできない遠い昔のことを記憶し、今に伝えてくれるのです」

## アフリカで 樹木の成長を調査

桃井助教は、奥多摩のみならず、アフリカのジブチ共和国でも樹木の調査を行っている。東京農業大学が推進している沙漠緑化プロジェクトのメンバーの一人として、現地の緑化樹木の選定に取り組んでいるのだ。

「現地の人々の暮らしに役立つように、成長が早く、木材として活用できる樹木を探したい。その前段階として、まずは現地の樹木がどのように成長して

## 体感! 東京農大/ 収穫祭

受験生必見!  
進学説明会も開催

東京農大の学園祭「収穫祭」は世田谷・厚木・オホーツクの3キャンパス合計で15万人以上が訪れるビッグイベント。野菜無料配布をはじめ、個性的な模擬店など、お腹も好奇心も大満足のイベントが目白押しです。受験生に対しては進学説明会で個別相談などを実施。各学科の先生が丁寧にお話しします。ぜひ、東京農大を体感してみてください。

オホーツクキャンパス …… 10/11日・12日

キャンパスツアー・進学相談会 (10:00~15:00)

世田谷キャンパス …… 10/30金～11/1日

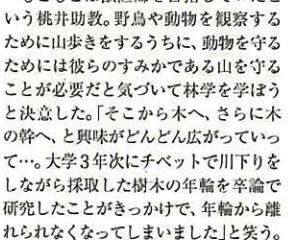
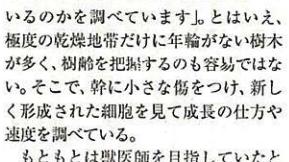
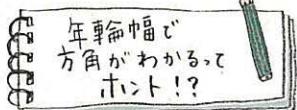
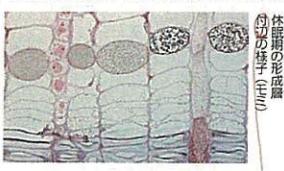
進学説明会 (10:00~16:00)

厚木キャンパス …… 10/31土・11/1日

進学説明会 (10:00~16:00)

予約不要

→ こちらの受験生向けイベントは予約が必要です。なお、オホーツクキャンパスのイベントは旅費一括助成制度もあります。お問い合わせ先0152-48-3814 (オホーツクキャンパス入試課)



# 世田谷キャンパスツアーアー2015

## Event1 キャンパスツアー

学生がキャンパスをご案内！

普段見ることのできない施設や実験室を見学し、東京農業大学のマナビやキャンパスライフを体感しよう！ 詳細[は]裏面をご覧ください！



## Event2 在学生トークブース

農大在学生と話しませんか？！

学科別にブースをご用意！

受験勉強や研究室のこと、学生生活など実際に経験をした先輩だからこそお話しできる情報が沢山あります。

詳細[は]裏面をご覧ください！



## Event4 特別講義

### Rice 農 Future ~農学から見るお米~

日本人にとって一番身近な食材である「お米」。この「コメ」をテーマに、様々な学科が講義をおこないます。農学が変われば見方が変わる。農学の面白さ、マナビの違いをぜひ味わってください！

## 5月24日(日)スケジュール

| 時間     | 内容                                      | 開催場所                 | 開催時間   |
|--------|---|----------------------|--|
| 10:45～ | 食品化学(ー) ～ご飯を化学できるよ～<br>コメの生産だけではない水田の役割 | 生物応用化学科<br>食料環境経済学科  | 10:45～<br>「米麹」麹力ビを利用して日本の醸造の原点   |
| 12:00～ | タブレットを活用した新しい官農指導メソッド<br>導入             | 国際バイオビジネス学科<br>栄養科学科 | 12:00～<br>タブレットを活用した新しい官農指導メソッド<br>米を解析するとご飯が解る？                                     |
| 13:15～ | コメから生まれた栄養学・コメから生まれた食品学<br>酒米とこうじ(麹)    | 生物応用化学科<br>醸造科学科     | 13:15～<br>食品化学(ー) ～ご飯も化学できるよ～<br>ご飯と清酒の味はコメの削り方でも決まる？<br>コメから生まれた栄養学・コメから生まれた<br>食品学 |
| 14:30～ | ご飯と清酒の味はコメの削り方でも決まる？                    | 生産環境工学科<br>栄養科学科     | 14:30～<br>中国の米消費事情 日本の炊飯器が売れる理由  |

## Event3 入試ガイダンス

推薦入試、センター試験利用入試、一般入試について入試センター職員が詳しく説明します。  
最新の入試情報や併願制度などを知りたい方はぜひご参加ください。



[場所] 1号館1階 131教室  
[開催時間] 10:00～16:00

11:00～11:45  
13:00～13:45  
15:00～15:45

12:00～12:45  
14:00～14:45  
16:00～16:45

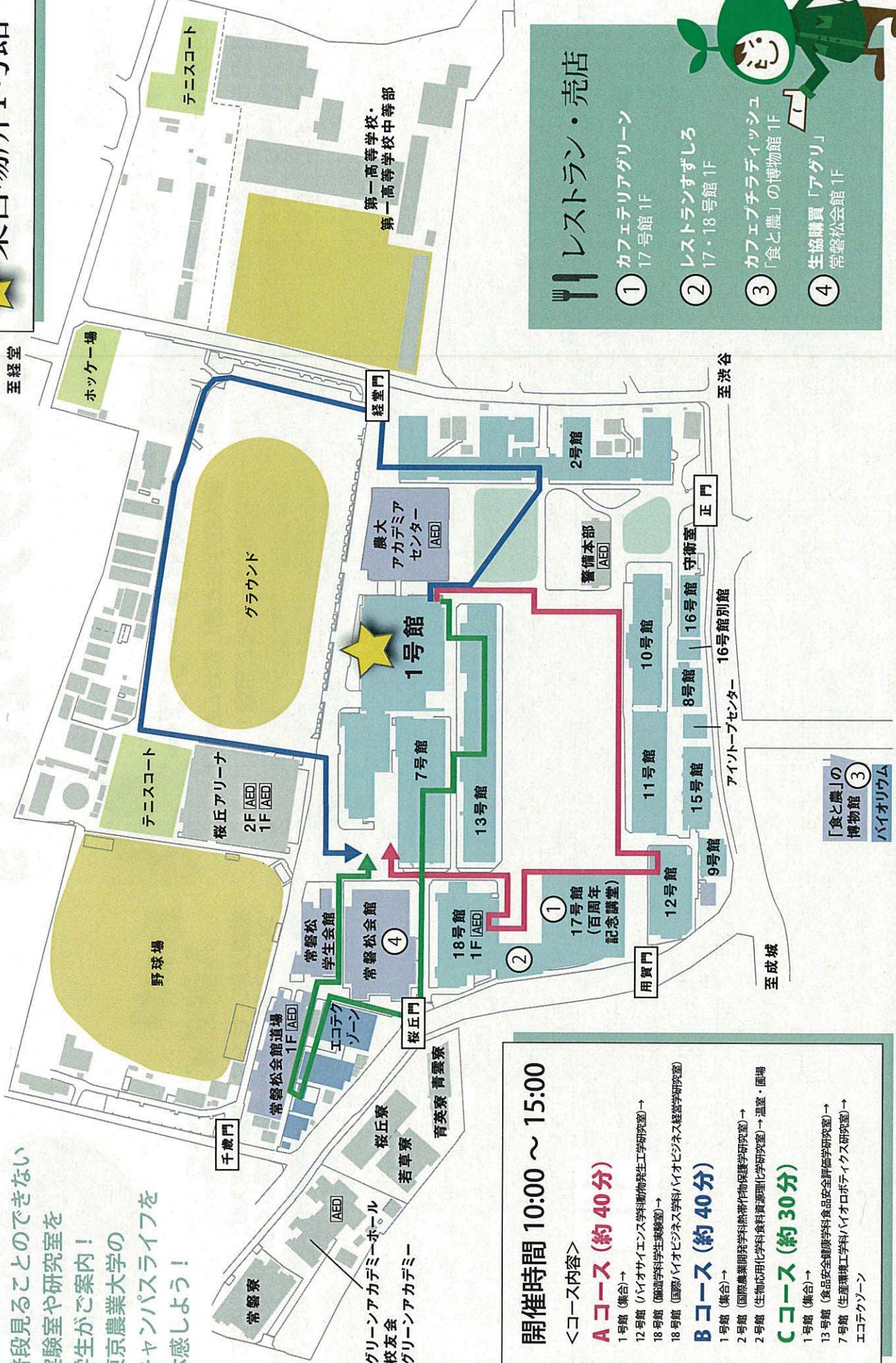


学生食堂も  
楽しめます！

2つの学生食堂「レス  
トランすずしろ」「カ  
フェテリアグリーン」  
が本日15時までオ  
ープンしています。  
ぜひ食べに来てくださいね！(詳細は裏面で)

# ナショナルパスツアーマップ

普段見ることのできない  
実験室や研究室を  
学生がご案内！  
東京農業大学の  
キャンパスライフを  
体感しよう！



## 集合場所 1号館



開催時間 10:00 ~ 15:00

<コース内容>

### Aコース (約40分)

1号館 (集合) →  
12号館 (バイオサイエンス学部動物衛生工学科研究室) →  
18号館 (畜産学部学生実験室) →  
18号館 (国際バイオビジネス学科「バイオビジネス経営学研究室」)

### Bコース (約40分)

1号館 (集合) →  
2号館 (国際農業開発学部熱帯作物保育学研究室) →  
2号館 (生物応用化学科食料資源処理学研究室) → 溫室・圃場

### Cコース (約30分)

1号館 (集合) →  
13号館 (食品安全健康学科食品安全評価学研究室) →  
7号館 (生産環境工学科/バイオロボティクス研究室) →  
エコテックゾーン

## レストラン・売店

- ① カフェテリアグリーン  
17号館 1F

- ② レストランすずしろ  
17・18号館 1F

- ③ カフェチラディッシュ  
「食と農」の博物館 1F

- ④ 生協購買「アグリ」  
常磐松会館 1F



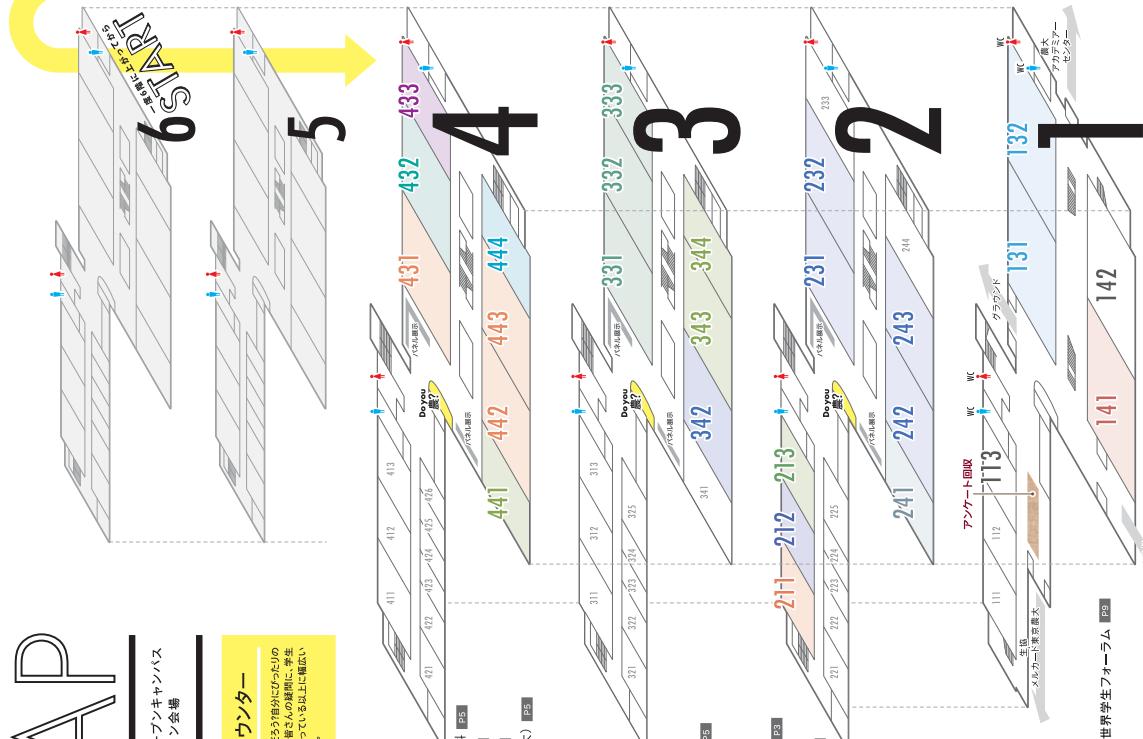
「食と農」の  
博物館  
**(3)**  
バイオリウム



A vertical column of three decorative geometric patterns. The top pattern is a stylized 'D' shape. The middle pattern is a downward-pointing triangle with internal lines forming a grid-like structure. The bottom pattern is a downward-pointing chevron or zigzag shape.

オープンキャンパス  
メイン会場

東京農大で向かって「あんたが自分にぴったりの学科はどこ?」とそよそよさんの説明前に、学生スタッフが「丁寧」に語っているのは幅広い農大の学力を示します。



PRESENT

東京農業大學短期大學部

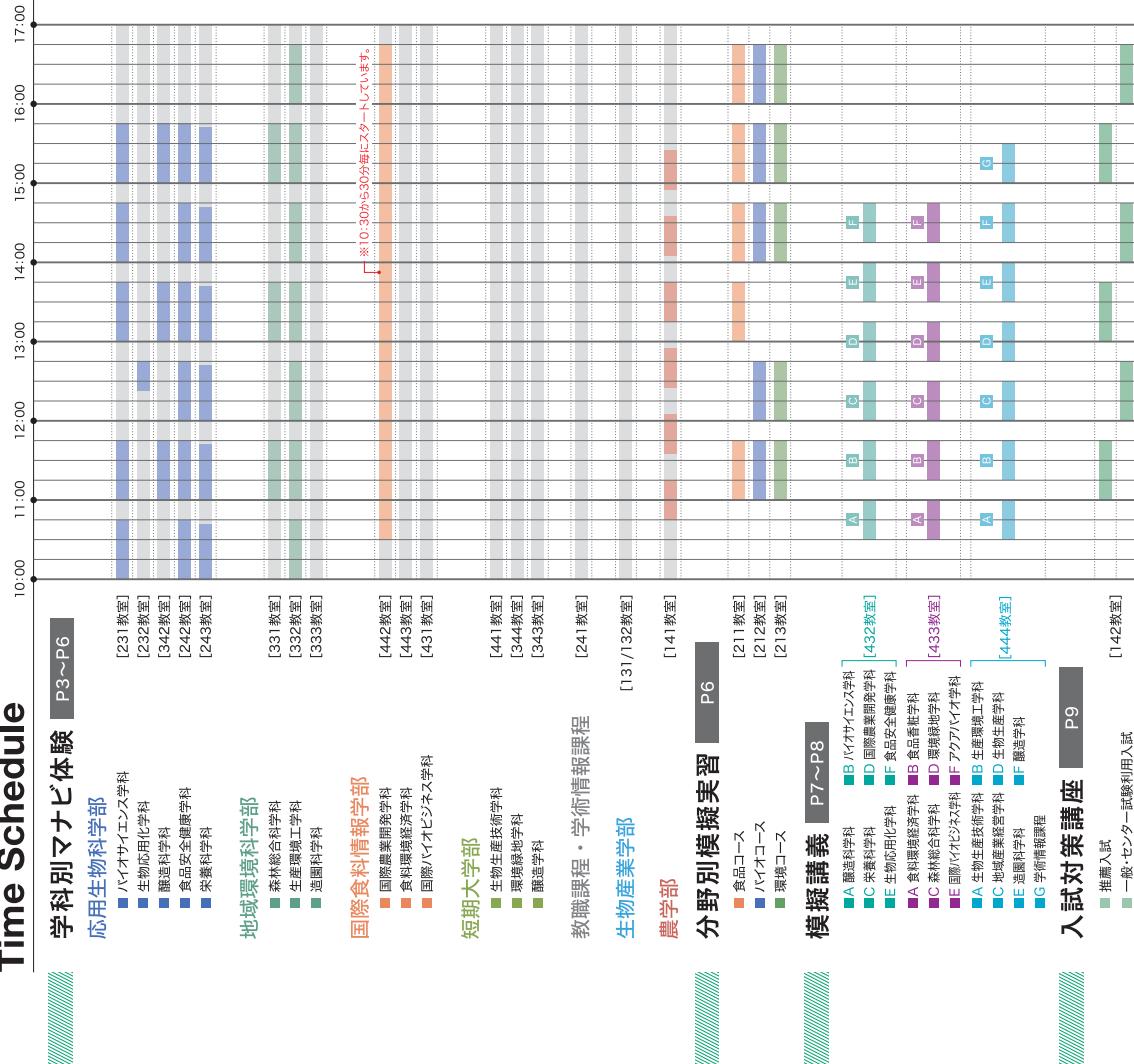
[www.nodai.ac.jp](http://www.nodai.ac.jp)

農学ノダカウ FESTIVAL

本気で  
向かい合う。  
だから  
決しい。

「生命、食料、環境、健康、工  
キーワードに地球上に生き  
それらの未知なる可能性、  
人間との新たな関係を追求

キーワードに地球上に生きるすべての生物を対象に、  
それらの未知なる可能性、  
人間との新たな関係を探求していきます。



## Contents

- | contents  | 学科別マナビ体験 | P3～P6  | 分野別模擬実習  | P6       | P9～P10   |
|---|----------|--------|--|----------|--|
| 東京農業大学に設置されている全学科の個性あふれる展示をご覧いただけます。研究室ツアーや学科別進路相談を実施しています。入退場自由ですでの、お気軽にお越しください！ | 模擬講義     | P7～P8  | 「食品」「バイオ」「環境」の3分野に分かれた、普段見ることのできない実験室・実習室触れることができない実験器具などを見て、ご希望のコースが決まつたら2階集合教室へ！ | 入試対策講座・他 | 推薦入試および一般・センター試験利用入試の説明会を実施。推薦入試で合格した1年次生の体験談を聞くことができます！ |
| 東京農大の授業を実際に受講してみませんか？30分の講義を体験することで、学科の学びがもっとわかるかも！                               | 模擬講義     | P9～P10 | 「  | 「        | 「  |



# 学科がよくわかるプログラム

## 応用生物科学部

東京農業大学に設置されている全学科の個性あふれる展示をご覧いただけます。体験型企画が豊富です。

研究室ツアーや学科別進路相談を実施しています。

入退場自由ですので、お気軽にお越しください！

## 森林総合科学科

### 人と森の共生を摸索する

森林植物・森林動物・林業・林産業・山村生活等に関する教養と研究を統合的に実施している学科です。

人と森の多面的な関わりを紹介しますので、ぜひお越し下さい。

■ 森林を知る様々な手法を体験していただきます。

11:00 / 13:00 / 15:00(各45分)

## 地 域 環 境 科 学 部

人と自然が共に生きる快適で美しい環境を創造・保全

### 微生物を科学で解明し未来をクリエイト

酒・味噌・醤油・酵素などの伝統的食品、医療・化粧品や微生物が創り出す貴重な化合物など、農圃学分野の魅力を発信しています。

21世紀食料・環境・エネルギー・健康問題に挑む微生物のワーキングディレクターを目指す!

### 研究室ツアーアー

11:00/13:00/15:00(各45分間)

## 遺 伝 學 部

エコ・テクノロジーの技術者へ！

生物工学の研究室で、生物学の技術が通用する環境問題への取り組みを実施しています。

生物工学では、土木や機械の技術が通用する環境問題を扱っています。もちろん、みんなの手で貢献が大歓迎です。

### 研究室ツアーアー

11:00/13:00/15:00(各45分間)

## 遺 伝 學 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象をコントロールするメカニズムを探求する

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験を行ってもらいます。会場では、実際に遺伝子の操作や動物の育成に取り組んでいます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 生 物 科 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

遺伝子を取扱い、細胞を観察し、細胞からDNAを取り出すなどをして体験

実験機器の操作

### 特別講義

各日:4:00~(45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

研究室で、遺伝子を操作して、植物や動物の性状を変える実験に加え、研究室で行なわれる研究品や機器に触れることが出来ます。

### 研究室ツアーアー

10:00/11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(各45分間)

## 応 用 化 学 部

「遺伝子」をキーワードに、微生物・動物・植物の生命現象を解き明かす

</





大学の授業をひととおり早く体験!

# 模擬講義時間割

## 東京農大の授業を実際に受講してみませんか?

30分の講義を体験することで、学科の学びがもっとよくわかるかも！

… 432教室 … 433教室 … 444教室

1 時限目

### 発酵と醸造

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 醸造       | 微生物      | 微生物      |
| 酵素       | 酵素       | 酵素       |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 遺伝子      | 記憶力      | 香りの働き    |
| 脳        | マスク      | 美味しい食感   |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 遺伝子      | 記憶力      | 香りの働き    |
| 脳        | マスク      | 美味しい食感   |

2 時限目

### 遺伝子の働きを高めて記憶力をアップ～遺伝子操作によって誕生したスマートマウス～

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 遺伝子      | 記憶力      | 香りの働き    |
| 脳        | マスク      | 美味しい食感   |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 遺伝子      | 記憶力      | 香りの働き    |
| 脳        | マスク      | 美味しい食感   |

3 時限目

### 食べ物とヒトの健康をつなぐ管理栄養士

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 管理栄養士    | ヒトのかからだ  | 森林資源     |
| 食と健康     | 水        | 木 材      |

4 時限目

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 管理栄養士    | ヒトのかからだ  | 森林資源     |
| 食と健康     | 水        | 木 材      |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 管理栄養士    | ヒトのかからだ  | 森林資源     |
| 食と健康     | 水        | 木 材      |

12:45 ▶ 13:15

13:30 ▶ 14:00

14:15 ▶ 14:45

14:15 ▶ 15:30

1 時限目

### 96億人を養えるのか？

～熱帯農業の役割～

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 食料問題     | 熱帶の農業    | 熱帶農業     |
| 開拓途上国    |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 食料問題     | 熱帶の農業    | 熱帶農業     |
| 開拓途上国    |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 食料問題     | 熱帶の農業    | 熱帶農業     |
| 開拓途上国    |          |          |

2 時限目

### 里山林の再生

～昆虫類の生態環境から～

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 生物多様性    | 自然再生     | 野生生物管理   |
| 里山生態系    |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 生物多様性    | 自然再生     | 野生生物管理   |
| 里山生態系    |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 生物多様性    | 自然再生     | 野生生物管理   |
| 里山生態系    |          |          |

3 時限目

### 坂本 光惟教授

～塩害対策のプロンティア～

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 生物多様性    | 自然再生     | 野生生物保護   |
| 里山生態系    |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 生物多様性    | 自然再生     | 野生生物保護   |
| 里山生態系    |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 生物多様性    | 自然再生     | 野生生物保護   |
| 里山生態系    |          |          |

4 時限目

### 竹内 邦俊教授

～昆虫類の生態環境から～

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 生物多様性    | 自然再生     | 野生生物管理   |
| 里山生態系    |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 生物多様性    | 自然再生     | 野生生物管理   |
| 里山生態系    |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 生物多様性    | 自然再生     | 野生生物管理   |
| 里山生態系    |          |          |

5 時限目

### 阿部 勲教授

～公園や緑の豊かな都市をつくり、自然環境を保全する造園科学

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 都市と農の共生  | 多面的機能    | 都市緑地システム |
| 都市緑地     |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 都市と農の共生  | 多面的機能    | 都市緑地システム |
| 都市緑地     |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 都市と農の共生  | 多面的機能    | 都市緑地システム |
| 都市緑地     |          |          |

6 時限目

### 田山 美裕教授

～バイオビジネス学の視点から理解する都市と農の共生～

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 都市農業     | 多面的機能    | 都市農業     |
| バイオビジネス  |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 都市農業     | 多面的機能    | 都市農業     |
| バイオビジネス  |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 都市農業     | 多面的機能    | 都市農業     |
| バイオビジネス  |          |          |

7 時限目

### 黒瀬 素久教授

～森林の醸し出す資源～～人工造林～

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 森林資源     | 人工造林     | 森林資源     |
| 水        |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 森林資源     | 人工造林     | 森林資源     |
| 水        |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 森林資源     | 人工造林     | 森林資源     |
| 水        |          |          |

8 時限目

### 高田 誠郎教授

～健康的な食生活～～食生活と健康～

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 管理栄養士    | 健康的食生活   | 管理栄養士    |
| 食と健康     |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 管理栄養士    | 健康的食生活   | 管理栄養士    |
| 食と健康     |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 管理栄養士    | 健康的食生活   | 管理栄養士    |
| 食と健康     |          |          |

9 時限目

### 坂本 光惟教授

～塩害対策のプロンティア～

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 生物多様性    | 自然再生     | 野生生物保護   |
| 里山生態系    |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
|----------|----------|----------|
| 生物多様性    | 自然再生     | 野生生物保護   |
| 里山生態系    |          |          |

| KEY WORD | KEY WORD | KEY WORD |
| --- | --- | --- |
</



皆様へ

タイムプログラム

模擬店

文化学術展

進学説明会

ステージ企画

体育祭

協賛企業

ECO



※地図は裏表紙に載っています。

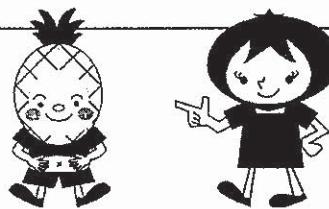
## 1号館3階 333・344教室

### 学科別個人相談会

「あの学科とこの学科の違いは?」「こういう勉強がしたいんだけど、この学科でいいの?」「この学科の研究の楽しさを教えてほしい」そんな質問に各学科の先生たちが答えます。

### 資料展示

推薦入試用作文用紙  
入試の過去問題・解答用紙の展示など



## 農大アカデミアセンター地下1階 横井講堂

### 入試説明

入学試験を突破するためのポイントは?  
「一般入試」「センター試験利用入試」と、目前に迫った「推薦入試」について、入試センターのスタッフが解説します。

### オホーツクキャンパス紹介コーナー

横井講堂前にオホーツクキャンパス(北海道)紹介コーナーを開設し、現地の教職員・在学生が展示・紹介をします。

【お問合せ先】入試センター(農大アカデミアセンター1階)

TEL:03-5477-2226  
FAX:03-5477-2615



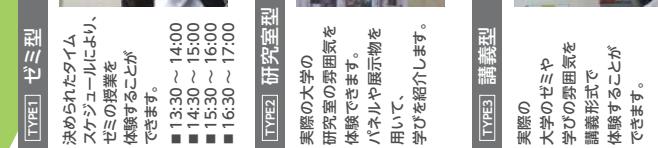
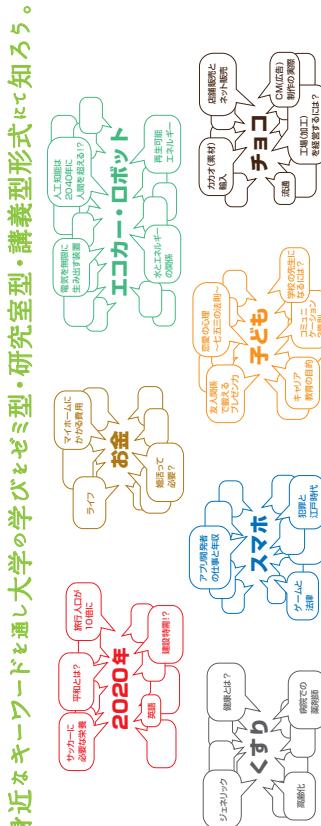
# ミライガク2015歩き方ガイド

数学マイナビ

ミライガク2015\_表

2020年・お金・エコカーボルト

くすり・スマホ・子ども・チョコレート」と  
身近なキーワードから、  
まじしく「社会・学問」の  
興味が芽生えます。また、  
これまでの選択肢を増やす  
ための新規イベントです。



出展大学・短期大学学問系統一覧

興味のある学問のカテゴリーから、話を聞きたい学校を探してみましょう！同じ分野を持つ学校同士でも本身は全然違うので、できる限りたくさんのお話をまわりましょう！

平成27年9月4日公表

## 平成26年新規就農者調査

新規就農者については、次の2つの標本調査と全数調査により把握している。

①新規自営農業就農者（農家世帯員が就農した場合）は、家族経営体164万5,077のうち5.5%に当たる9万820標本を対象とした就業状態調査（平成26年調査、集計対象5万8,126）により把握、  
②新規雇用就農者は、組織経営体及び一戸一法人3万7,668の14.9%に当たる5,610標本を対象とした新規雇用者調査（平成26年調査、集計対象3,807）により把握、  
③新規参入者（農家世帯員以外が就農した場合等）は、新規参入者調査（福島県の一部地域を除いた1,735の農業委員会等の全数調査）により把握。

標本調査の誤差の程度を示す実績精度（標準誤差率）は、①新規自営農業就農者数2.4%、②新規雇用就農者数2.7%。

### 【調査結果の概要】

#### — 49歳以下の新規就農者は2万1,860人 —

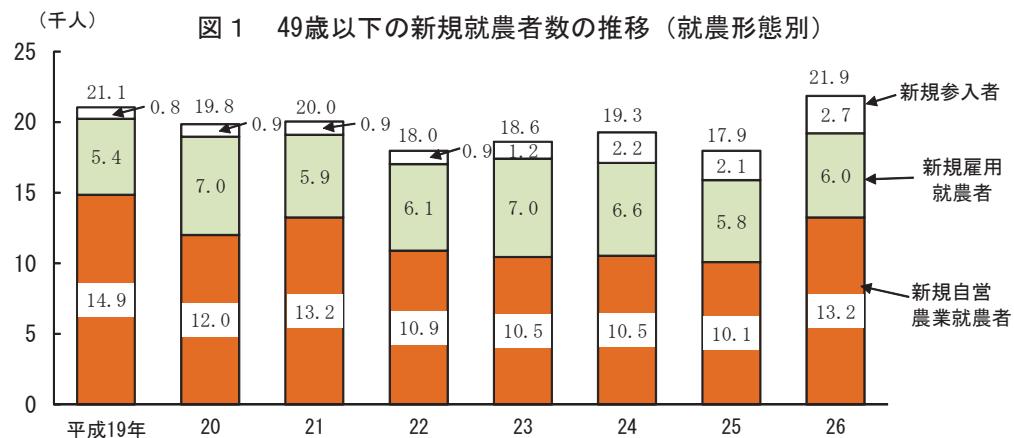
平成26年の新規就農者は5万7,650人で、22年以降5万人台で推移している。このうち49歳以下は2万1,860人で、19年以降最も多くなっている。

また、就農形態別にみると、新規自営農業就農者は4万6,340人、新規雇用就農者は7,650人、新規参入者は3,660人であった。

表1 新規就農者数

| 区分    | 計      | 就農形態別  |        |           | 単位：人    |       |  |
|-------|--------|--------|--------|-----------|---------|-------|--|
|       |        | 49歳以下  |        | 新規自営農業就農者 | 新規雇用就農者 | 新規参入者 |  |
|       |        | 49歳以下  | 44歳以下  |           |         |       |  |
| 平成19年 | 73,460 | 21,050 | …      | 64,420    | 7,290   | 1,750 |  |
| 20    | 60,000 | 19,840 | …      | 49,640    | 8,400   | 1,960 |  |
| 21    | 66,820 | 20,040 | …      | 57,400    | 7,570   | 1,850 |  |
| 22    | 54,570 | 17,970 | …      | 44,800    | 8,040   | 1,730 |  |
| 23    | 58,120 | 18,600 | …      | 47,100    | 8,920   | 2,100 |  |
| 24    | 56,480 | 19,280 | 17,260 | 44,980    | 8,490   | 3,010 |  |
| 25    | 50,810 | 17,940 | 16,020 | 40,370    | 7,540   | 2,900 |  |
| 26    | 57,650 | 21,860 | 18,500 | 46,340    | 7,650   | 3,660 |  |

注：新規自営農業就農者、新規雇用就農者及び新規参入者については、【調査の概要】14ページ「9 用語の解説」を参照。



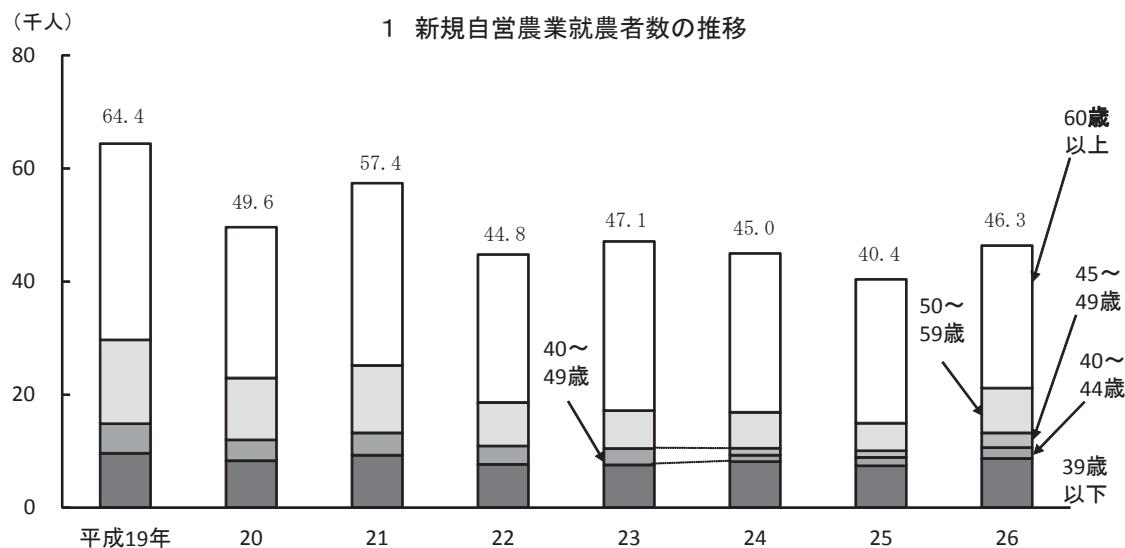
- ◎ 平成26年調査より、新規参入者については、従来の「経営の責任者」に加え、新たに「共同経営者」を含めたため、利用に当たっては留意されたい。
- ◎ 平成23年以降の調査結果は、東日本大震災の影響で調査不能となった福島県の一部地域を除いて集計した数値である（【調査の概要】15ページ「10 東日本大震災の影響による対応」参照。）。

この統計調査結果の統計表は、政府統計の総合窓口（e-Stat）の「統計データ新着情報」で御覧いただけます。【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

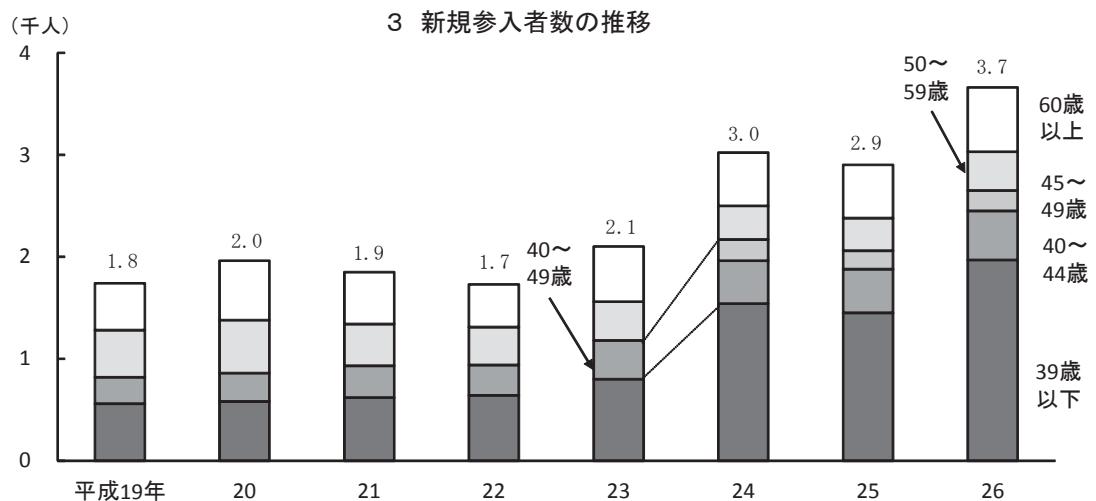
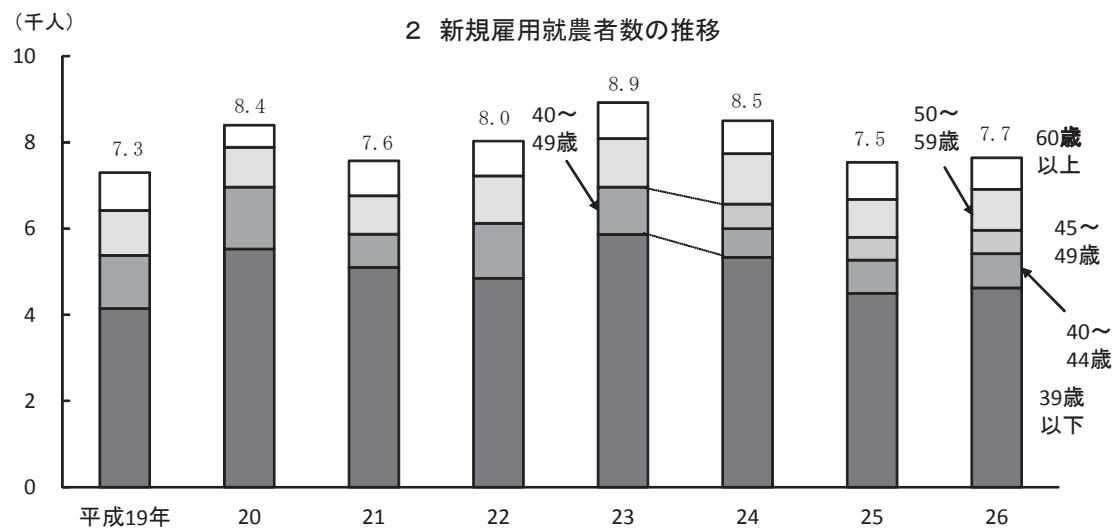
◎ 調査結果の利活用

- ・新規就農者の育成・確保に係る各種施策の企画・立案、推進のための資料として活用

◎ 累年データ



注:平成24年から「40~49歳」の年齢区分を「40~44歳」と「45~49歳」に変更した(以下3まで同じ。)。



## 【調査結果】

### 1 新規自営農業就農者数（統計表6、8ページ参照）

新規自営農業就農者は4万6,340人で、前年に比べ14.8%増加した。

このうち、49歳以下は1万3,240人で、31.2%増加した。

図2 年齢別新規自営農業就農者数

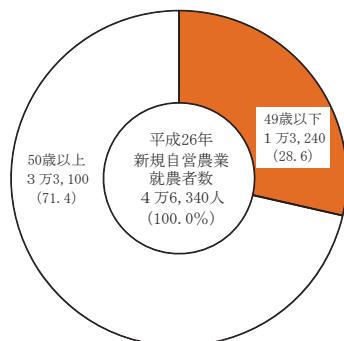


表2 年齢別・男女別新規自営農業就農者数

単位：人

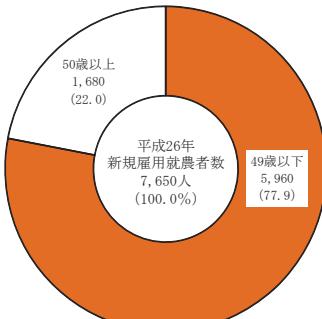
| 区分     | 計      | 新規学卒就農者 |        |        | 男女別    |        |
|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|
|        |        |         | 49歳以下  | 44歳以下  | 男      | 女      |
| 平成25年  | 40,370 | 1,640   | 10,090 | 8,880  | 31,700 | 8,670  |
| 26     | 46,340 | 1,830   | 13,240 | 10,630 | 34,880 | 11,470 |
| 増減率(%) |        | 14.8    | 11.6   | 31.2   | 19.7   | 32.3   |
| 構成比(%) |        |         |        |        |        |        |
| 平成25年  |        | 100.0   | 4.1    | 25.0   | 22.0   | 21.5   |
| 26     |        | 100.0   | 3.9    | 28.6   | 22.9   | 24.8   |

### 2 新規雇用就農者数（統計表7、9～11ページ参照）

図3 年齢別新規雇用就農者数

新規雇用就農者は7,650人で、前年に比べ1.5%増加した。

このうち、49歳以下は5,960人で、2.8%増加した。



注：四捨五入により計と内訳の合計は一致しない。

表3 年齢別・男女別新規雇用就農者数

単位：人

| 区分     | 計     | 新規学卒就農者 |       |       | 男女別   |       |
|--------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|
|        |       |         | 49歳以下 | 44歳以下 | 男     | 女     |
| 平成25年  | 7,540 | 1,370   | 5,800 | 5,270 | 4,970 | 2,580 |
| 26     | 7,650 | 1,460   | 5,960 | 5,430 | 5,020 | 2,630 |
| 増減率(%) |       | 1.5     | 6.6   | 2.8   | 3.0   | 1.9   |
| 構成比(%) |       |         |       |       |       |       |
| 平成25年  |       | 100.0   | 18.2  | 76.9  | 69.9  | 34.2  |
| 26     |       | 100.0   | 19.1  | 77.9  | 71.0  | 34.4  |

### 3 新規参入者数（統計表7ページ参照）

新規参入者は3,660人であった。  
このうち、49歳以下は2,650人で、  
全体の72.4%を占めている。

図4 年齢別新規参入者数

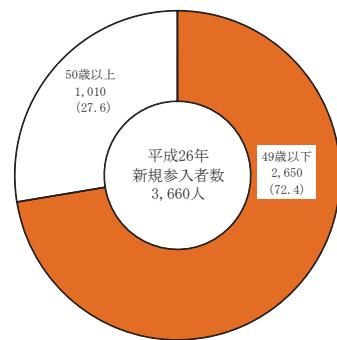


表4 年齢別・男女別新規参入者数

| 区分                    | 計              | 男女別            |                |                | 単位：人         |  |
|-----------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|--------------|--|
|                       |                |                |                | 男              |              |  |
|                       |                | 49歳以下          | 44歳以下          |                |              |  |
| 平成25年<br>26           | 2,900<br>3,660 | 2,050<br>2,650 | 1,880<br>2,450 | 2,560<br>3,030 | 330<br>630   |  |
| 構成比(%)<br>平成25年<br>26 | 100.0<br>100.0 | 70.7<br>72.4   | 64.8<br>66.9   | 88.3<br>82.8   | 11.4<br>17.2 |  |

注：平成26年調査より、新規参入者については、従来の「経営の責任者」に加え、新たに「共同経営者」を含めた。

# 農林水産省

ホーム > 組織・政策 > 統計情報 > 農林水産基本データ集 > 食品産業に関する統計

## 食品産業に関する統計

### 食品産業の就業者数

|                 | 平成17年度  | 18年度    | 19年度    | 20年度    | 21年度    | 22年度    | 23年度    | 24年度    |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 国内生産額           | 830,188 | 817,651 | 816,094 | 820,659 | 791,717 | 785,580 | 782,592 | 783,824 |
| 全経済活動に占める割合 (%) | 8.7     | 8.4     | 8.2     | 8.2     | 9.0     | 8.7     | 8.7     | 8.7     |

資料:農業・食料関連産業の経済計算(農林水産省 統計部)

### 食品産業の就業者数

|                 | 平成18年 | 19年  | 20年  | 21年  | 22年  | 24年  | 25年  |
|-----------------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 就業者数合計          | 809   | 820  | 800  | 807  | 817  | 804  | 790  |
| 就業者総数に占める割合 (%) | 12.7  | 12.8 | 12.5 | 12.8 | 13.1 | 12.8 | 13.0 |

資料:労働力調査を基に農林水産省作成

注:平成23年の労働力調査は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県分を算出していないため、掲載していない。

### お問い合わせ先

食料産業局企画課  
担当者:企画第1班  
代表:03-3502-8111(内線4139)  
ダイヤルイン:03-6744-2065

ページツツヅヘ

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries  
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

農林水産省

# 日本食糧新聞電子版

トップニュース 電子新聞 新聞 書籍 イベント セミナー・研修

卸・商社 | 小売 | 莠子 | 調味 | 冷凍・チルド | 酒類 | 飲料 | 外食 | 味噌・醤油 | 乳肉・油脂 | びん・缶詰 | 農産加工 | 小麦加工 | 水産加工 | 惣菜・中食 | 機械・資材・IT | その他  
ニュース | 人事 | 決算 | 新製品ニュース | セミナース | キャンペーン | 展示会 | キャンペーン | 統計・分析 | 特集 | 新刊紹介 | インタビュー | 総会 | 新設・移転 | 運載 | 計報 | コラム

トップ > その他 > 総会 > 記事

## 日本フードスペシャリスト協会、総会開催 岩元睦夫会長が続投 新専務理事に岩本隼人氏

その他 総会 2015.06.15 111196号 03面



ツイート



フード・アワード2015  
ニッポンアワード2015

電子新聞で見る

電子版の  
お申込みは  
こちら

新聞の  
お申込みは  
こちら

メルマガ RSS 情報提供 広告掲載

日本フードスペシャリスト協会は4日、東京・アルカディア市ヶ谷で「平成27年度通常総会」を開催、すべての議案が承認された。役員改選で岩元睦夫会長の続投が決まった。新専務理事には前東北農政局次長の岩本隼人氏が選任された。岩元会長はあいさつで「食の安全性の確保、食品表示の適正化、超高齢化社会への対応など多くの課題がある。食に関する幅広い知識と技術を身に付けたフードスペシャリストが活躍する場が広がっている。資質の高いフードスペシャリストを養成する」と述べた。14年度からより専門性を付加した専門フードスペシャリスト資格を設けた。12月には食品開発部門と食品流通・サービス部門の資格認定試験を初めて実施し、食品開発255人、食品流通・サービス312人が誕生した。96年に任意団体として設立され、公益社団法人として3年目を迎えた。大学、短期大学の会員校は156校、フードスペシャリスト資格認定を受けた人は7万5000人に迫る。

岩元会長は今年度の活動として(1)専門フードスペシャリストの設置でカリキュラム内容を充実させ制度

の定着を図る(2)資格認知度向上のための広報活動の強化(3)食品関係業界との連携強化による実学教育実施--の三つに重点を置くと述べた。

**農林水産省食料産業局食品小売業サービス課大臣課長は、ミラノ万博で日本館の人気が高いことを報告し、海外の日本レストランは5万5000店以上でジエトロの主要8カ国での調査では食べてみたい外國料理のナンバーワンが日本食だと紹介した。「食品産業を支える人材がフードスペシャリストだと期待している。専門フードスペシャリスト資格を創設され農水省としても人材を輩出していくことに期待している」と述べた。**

記念講演では日本パン技術研究所常務理事の井上好文所長が「パンを化粧するパンの多様性とパン選びのポイント」のテーマで、各国のパンの特徴と気泡構造による食感の違いについて披露した。米粉の活用については膨らまそうとせずフライパン、ラップにすれば価値が見いだせると提案した。

(小島麻由美)

[その他一覧]

更新 2015.1.

速報

更新 2015.1.

> その他 / 総会 最新記事

ケルヒヤージャパン、宇都宮営業所を拡張移(2015.11.27)

> 日本食糧新聞 最新ニュース

西友、半年の価格固定 食品など199品目(2015.11.27)

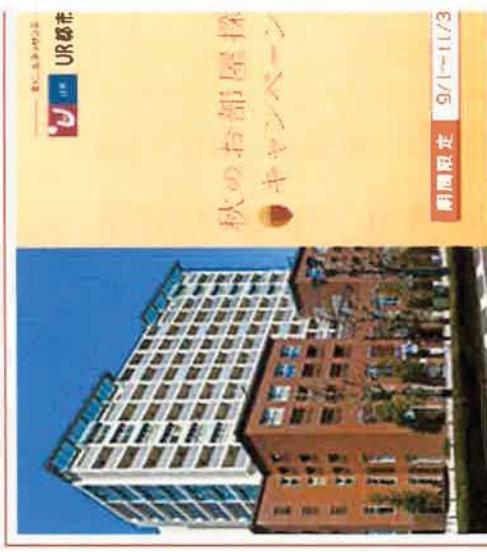
低所得者には給付や控除を 小売、中食、タフ団体が決議 軽減税率導入反対の緊急集で(2015.11.27)

コカ・コーラウエスト、子会社の合併と会社分割(2015.11.27)  
トーホー、海外で初のM&Aへ シンガポール業務用卸と交渉(2015.11.27)  
ヒジキ、品薄で3年連続高騰 韓国産3割減 数量確保が課題(2015.11.27)  
新輸出大国を目指す 総合的に中小支援 TPP関連政策大綱(2015.11.27)  
ネオティク、50期は增收増益 新たな一步踏み出す(2015.11.27)

おすすめ商品

ADEKA、上期食品事業は大幅增收増益 中事業の好調などで(2015.11.27)

もつと



地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊とは

- 制度概要：都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移動した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。



- 実施主体：地方公共団体
  - 活動期間：概ね1年以上3年以下
  - 総務省の支援：概ね次に掲げる経費について、特別交付税により財政支援※
    - ①地域おこし協力隊員の活動に要する経費：隊員1人あたり400万円上限（報償費等200万円〔※〕、その他の経費（活動旅費、作業道具等の消耗品費、関係者間の調整など）に要する事）
    - ②地域おこし協力隊員等の起業に要する経費：最終年次又は任期終了翌年の起業（報償費等200万円〔※〕、その他の経費（活動旅費、作業道具等の消耗品費、関係者間の調整など）に要する事）
    - ③地域おこし協力隊員の募集等に要する経費：1団体あたり200万円上限

～地域本位に協力隊・地域・地方公共団体の「三方よし」の取組～

## 隊員数、取組団体数の推移

⇒ 隊員数を28年度までに3,000人に！

|     | 21年度 | 22年度 | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度               |
|-----|------|------|-------|-------|-------|--------------------|
| 隊員数 | 89名  | 257名 | 413名  | 617名  | 978名  | 1,511名<br>(1,629名) |
| 団体数 | 31団体 | 90団体 | 147団体 | 207団体 | 318団体 | 444団体              |

※各年度の特別交付税ベース  
※26年度の隊員数のカッコ内は、名称を統一する「田舎で働き隊」の隊員数（118名）とあわせた隊員数である。

**任期終了後、  
約6割が  
同じ地域に定  
められる**

※H27.3末調査時

**女性割約4割は隊員の**

- 行政ではできなかつた柔軟な地域おこし策
- 住民が増えることによる地域の活性化

- 斬新な視点  
(ヨソモノ・ワカモノ)
- 協力隊員の熱意と行動力が地域に大きな刺激を与える

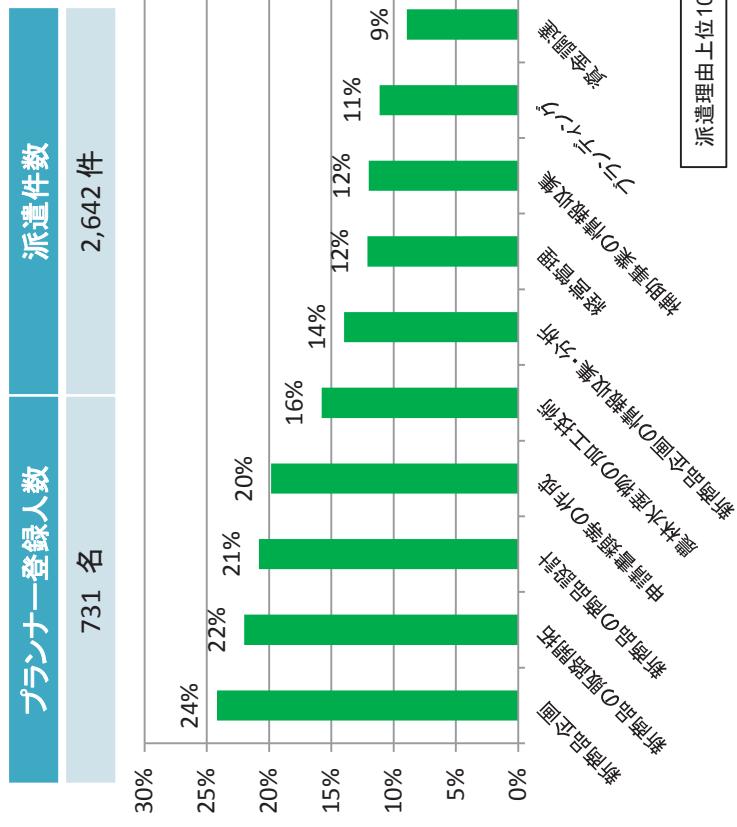
# 農林漁業の6次産業化の展開

平成27年11月  
農林水産省

## 5 6次产业化プランナーの活動状況

- 6次产业化プランナーの登録者数(平成27年9月30日時点)は、都道府県サポートセンター 731名、中央サポートセンター 212名(複数の6次产业化サポートセンターに重複して登録している者を含む)。
- 6次产业化プランナーの派遣状況(平成27年度第2四半期の実績)は次のとおり。
  - 都道府県サポートセンター 2,642 件  
(主な派遣理由:新商品企画、新商品の販路開拓、新商品企画、ブランディング、資金調達、新商品の商品設計等のアドバイス)
  - 中央サポートセンター 280 件  
(主な派遣理由:新商品企画、新商品の販路開拓、新商品企画、ブランディング、資金調達、新商品の商品設計等のアドバイス)

＜都道府県サポートセンター＞



派遣理由上位10項目

＜中央サポートセンター＞



派遣理由上位10項目

# 日本食・食文化の海外普及について

平成26年9月

農林水産省

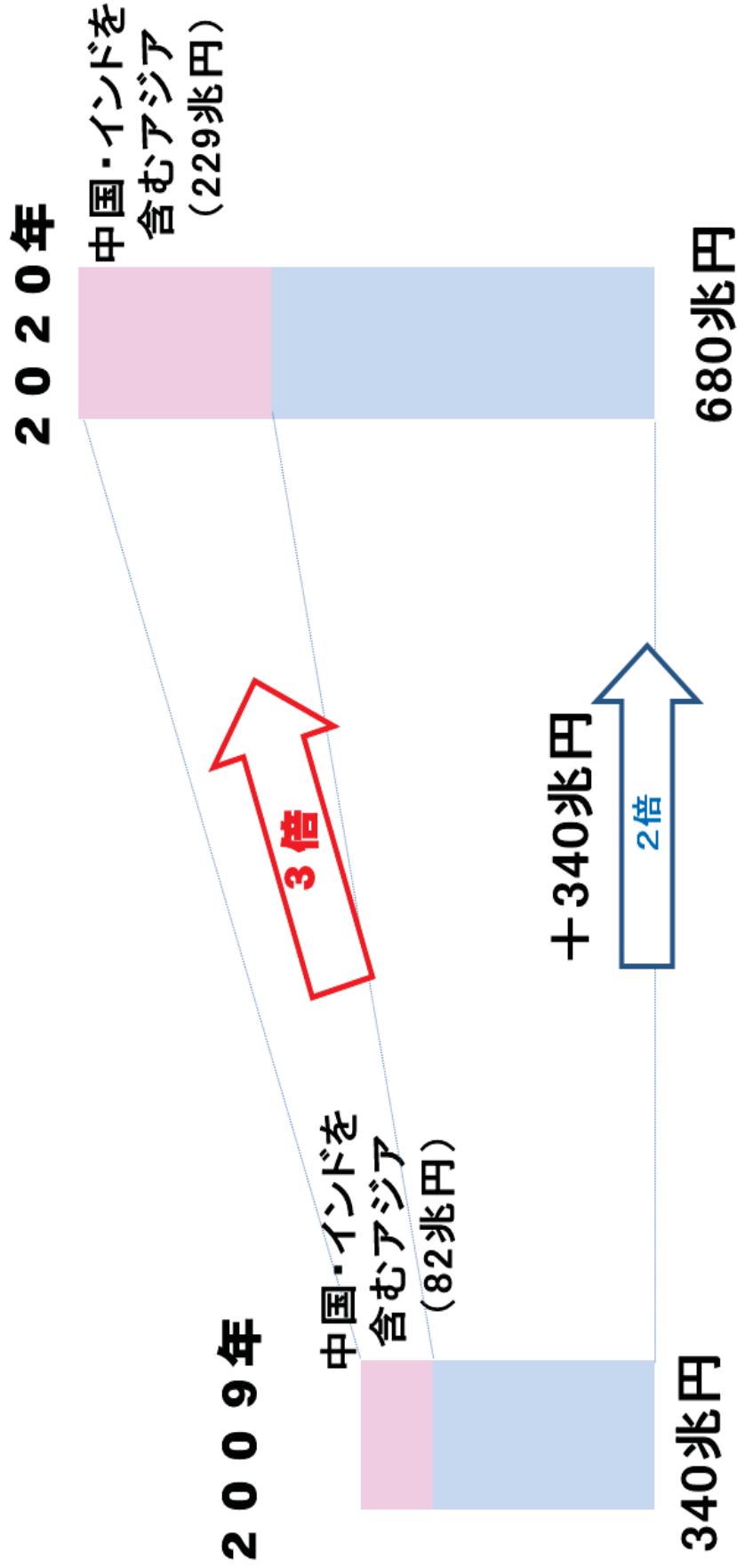
# 目 次

- 1 世界の食市場の獲得と輸出戦略 ..... 2ページ
- 2 「和食」のユネスコ無形文化遺産登録と  
日本食・食文化の海外普及について ..... 10ページ
- 3 日本食・食文化の普及機会となる今後の事案 ..... 20ページ

# 1 世界の食市場の獲得と輸出戦略

## ○ 世界の食市場規模（加工+外食）

- 現在340兆円の世界の食の市場規模は、2020年には680兆円に倍増
- 特に、中国・インドを含むアジア全体で考えると、市場規模は2009年の82兆円に比べ、229兆円へと約3倍増

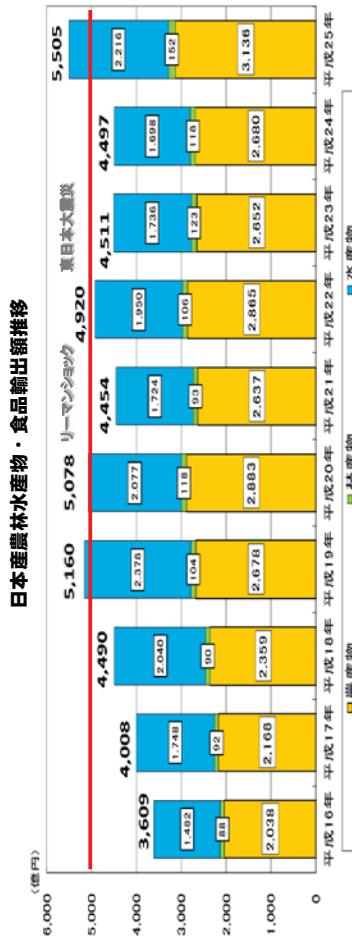


資料：ATカーニー社の推計を基に農林水産省作成  
注1：2009年為替平均値である1ドル94.6円で換算  
2：中国・インドを含むアジアとは、中国、香港、韓国、インド、ASEAN諸国の合計  
3：市場規模に日本は含まれない（日本は、58兆円（2009年）から67兆円（2020年）へと約1.2倍に拡大）

# ○ 輸出の現状と戦略

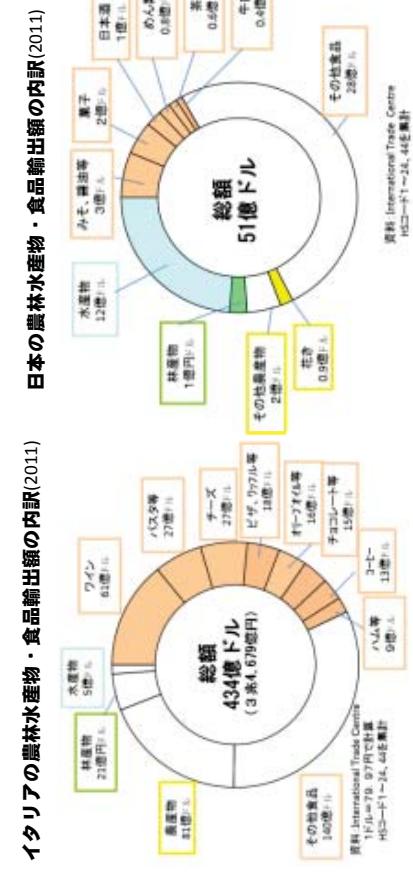
## (1) 日本の農林水産物・食品輸出の現状

- 巨大な食の世界市場規模に対し、2013年の日本の輸出金額は5,505億円



## (2) 「食」への評価と農林水産物・食品輸出額の相関

- ジェトロの調査によると、「食」の人気が一番高いのは日本だが、「食」への支持が輸出に結びついていない。
- 日本の輸出先は、関税が低く、非関税措置も厳しくない地域が中心。



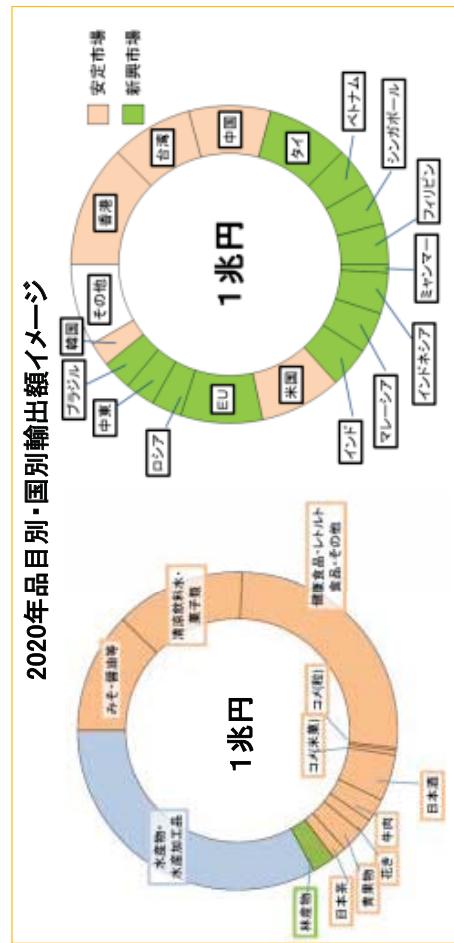
【好きな外国料理】 質問：「好きな料理かつ外食で食べる外国料理はどれですか？」

中 国：「日本料理」が25.2%と最も高い。  
中 香 港：「日本料理」が25.0%と最も高い。  
中 韓 国：「日本料理」が19.2%と最も高い。  
法 兰 蘭：「日本料理」が26.7%と最も高い。  
イタリア：「日本料理」が17.4%と最も高い。

出典：ジェトロ「日本食品に対する海外消費者調査（中国、香港、台湾、韓国、米国、フランス、イタリア）」（2013年3月）

### (3) 農林水産物・食品輸出の方向性①：重点国・重点品目

- 日本「食」への支持を背景に、日本「食」の基軸となる食品・食材を、食市場の拡大が見込まれる国・地域へ輸出することにより、2020年までに1兆円目標を達成。



- 重点品目
  - ・水産物
  - ・加工食品（みそ、醤油、清涼飲料水、菓子類、牛乳・乳製品、即席麺やレトルトカレー等のコンビニエンス・フーズなど）
  - ・コメ・コメ加工品（包装米飯、日本酒含む）
  - ・青果物・牛肉・花巻
- 重点国・地域
  - ・新興市場：  
EU、ロシア、ペトナム、インドネシア、インド、フィリピン、マレーシア、タイ、シンガポール、ミャンマー、中東、ブラジル
  - ・安定市場：香港、米国、台湾、中国、韓国

### (4) 農林水産物・食品輸出の方向性②：3Es

- 市場の状況に応じ、原発事故の影響の最小化を起点に、①相手国が求める認証・基準への対応や基準への確立支援(ENTER)、②商流の確立支援(EXPAND)、③商流の拡大支援(PROPAGATE)の3つのE施策を集中的に実施。

原発事故への対応  
START

輸出環境の整備  
STEP1

商流の確立  
STEP2

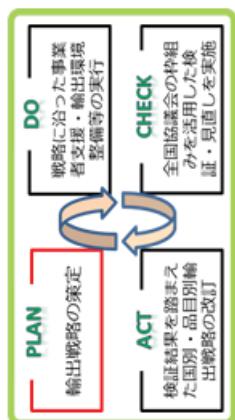
商流の拡大  
STEP3

- 農林漁業成長産業化ファンド、Made BY Japanとの有機的な連携
- 情報提供を始め、商談会、海外でのマッチングの場、各種イベントへの支援等総合的なサポート体制を充実・強化（ジエトロ等）
- 共同輸送・屋敷による物流費の抑制
- 産地間連携による日本の農林水産物を年間を通じて安定的に供給できる体制を構築

# ○ 2020年の目指す姿

～国別・品目別輸出戦略～

農林水産物・食品の輸出額を  
2020年までに1兆円規模へ拡大



中間目標  
**7,000億円**

|                   |  |
|-------------------|--|
| 水産物<br>1,700億円    | 東南<br>EU、ロシア、アフリカ<br>アジアなど               |
| 加工食品<br>1,300億円   | 東南アジア<br>EU、ロシア、中東、アラブ、インドなど<br>中国、インドなど |
| コメ・コメ加工品<br>130億円 | 台湾、豪州、EU、<br>ロシアなど                       |
| 林産物<br>120億円      | 中国、韓国など                                  |
| 花き<br>80億円        | ミリ、ロシア、シンガポール、カナダなど                      |
| 青果物<br>80億円       | EU、ロシア、東南アジア<br>ア、中東など                   |
| 牛肉<br>50億円        | EU、米国、香港、<br>シンガポール、タイ、<br>カナダ、UAEなど     |
| 茶<br>50億円         | EU、ロシア、米国<br>など                          |

**1兆円**

|                   |  |
|-------------------|--|
| 水産物<br>3,500億円    | 東南<br>EU、ロシア、アフリカ<br>アジアなど               |
| 加工食品<br>5,000億円   | 東南アジア<br>EU、ロシア、中東、アラブ、インドなど<br>中国、インドなど |
| コメ・コメ加工品<br>600億円 | 台湾、豪州、EU、<br>ロシアなど                       |
| 林産物<br>250億円      | 中国、韓国など                                  |
| 花き<br>150億円       | ミリ、ロシア、シンガポール、カナダなど                      |
| 青果物<br>250億円      | EU、ロシア、東南アジア<br>ア、中東など                   |
| 牛肉<br>250億円       | EU、米国、香港、<br>シンガポール、タイ、<br>カナダ、UAEなど     |
| 茶<br>150億円        | EU、ロシア、米国<br>など                          |

【2012年】 【2020年】

## ○ 世界の食市場を獲得するための、“FBI戦略”

- 日本の食文化の普及に取り組みつつ、日本の食産業の海外展開と日本の農林水産物・食品の輸出促進を一貫的に展開することにより、グローバルな「食市場」(今後10年間で340兆円から680兆円に倍増)を獲得。
- このため、世界の料理界で日本食材の活用推進(Made FROM Japan)、日本の「食文化・食産業」の海外展開(Made BY Japan)、日本の農林水産物・食品の輸出(Made IN Japan)、の取組を一貫的に推進。



### 世界の料理界で日本食材の活用推進 (Made FROM Japan)

日本食材と世界の料理界とのコラボレーション  
※ 世界中のシェフが日本のゆずをメニュー化  
※ 中華料理の高級食材として輸出されるホタテ



### 日本の農林水産物・食品の輸出 (Made IN Japan)

国別・品目別輸出戦略の実行  
(全国協議会の枠組みを活用した検証・見直しを実施)

# ○ 世界で日本の「食」が注目されている

## 和食ブーム

- 外国人観光客が  
「訪日前に期待すること」

**1位「食事」(62.5%)**

出典: JNTO 訪日外客訪問時間調査(2010年)

- 外国人が好きな外国料理  
**1位「日本料理」  
(66.3%)**

出典: 日本貿易振興機構調査(2014年3月)  
※複数回答可、回答者数に対する回答個数の割合  
(自国の料理は選択肢から除外)

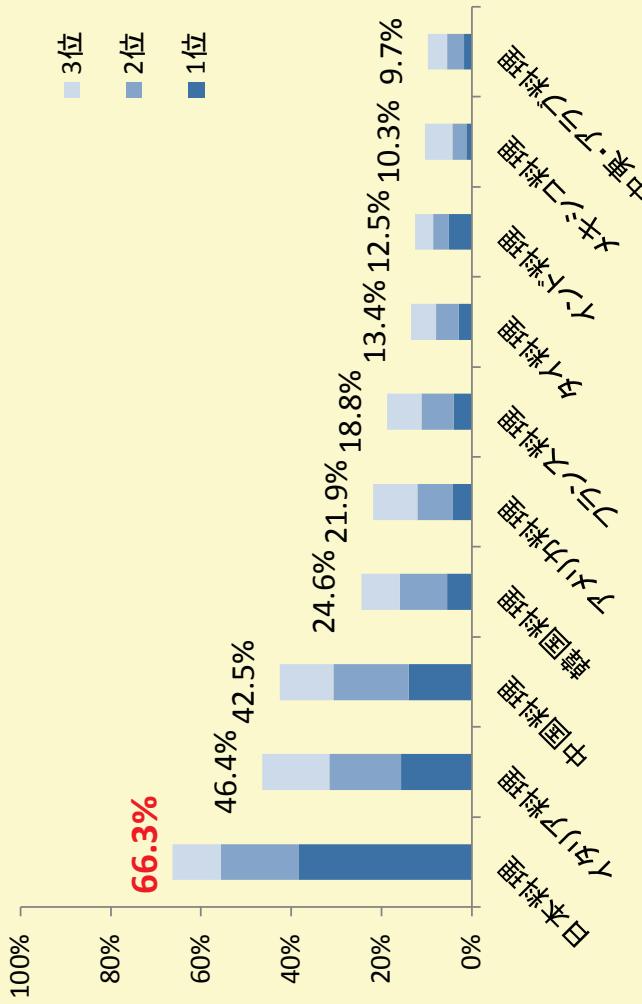
- 海外の日本食レストランの数

**2006年 約2万4千店 → 2013年 約5万5千店**

(外務省調べ、農林水産省推計)

## 食を文化としてとらえる世界の潮流

### 好きな外国料理（6カ国全体結果）

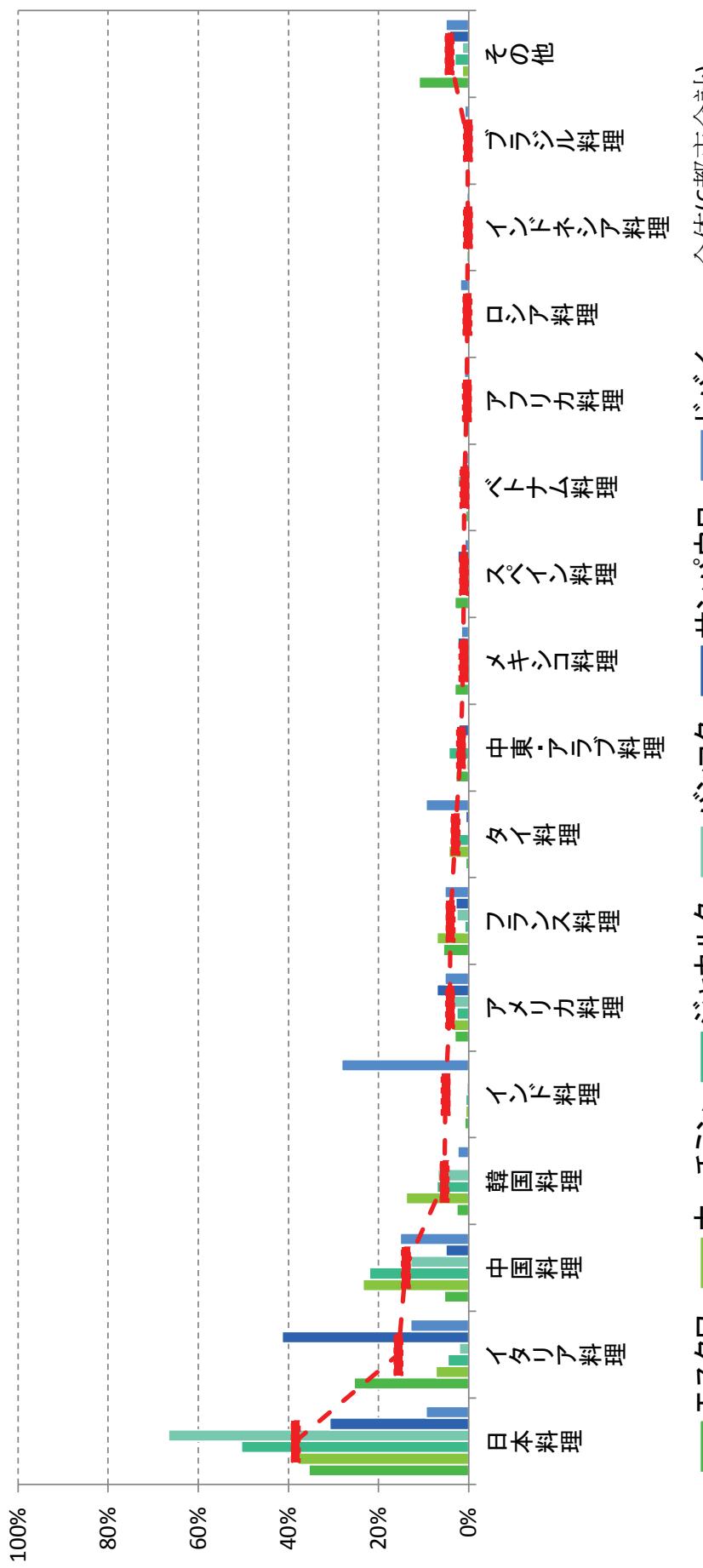


※複数回答可、回答者数に対する回答個数の割合。(自国の料理は選択肢から除外)  
出典: ジェトロ「日本食品に対する海外消費者意識アンケート調査」(2014年3月)を基に作成



## (参考) 都市別の「好きかな外国料理」

- モスクワ、ホーチミン、ジャカルタ、バンコク、サンパウロ、ドバイの都市別のアンケート調査で、サンパウロ、ドバイを除く4都市で「好きな外國料理の1位」として「日本料理」が選ばれている。
- 4都市では、バンコク66.6%、ジャカルタ50.4%、ホーチミン37.8%、モスクワ35.4%であり、特にバンコクとジャカルタでは、「日本料理」の人気が突出している。



※ 自国の料理は選択肢から除外

出典: ジェトロ「日本食品に対する海外消費者意識アンケート調査」(2014年3月)を基に作成

## 2 「和食」のユネスコ無形文化遺産登録と 日本食・食文化の海外普及について

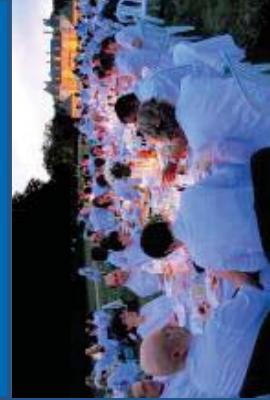
## ○ ユネスコ無形文化遺産とは

- 「無形文化遺産」とは、芸能や伝統工芸技術などの形のない文化であって、土地の歴史や生活風習などと密接に関わっているもののこと。
- ユネスコの「無形文化遺産保護条約」では、この無形文化遺産を保護し、相互に尊重する機運を高めるため、登録制度を実施。
- 2010年には、「フランスの美食術」などの食に関する無形文化遺産が登録。

### 無形文化遺産の例



### 食に関する無形文化遺産

|                            |  |
|----------------------------|--|
| フランスの美食術(2010年)            |   |
| メキシコの伝統料理(2010年)           |    |
| 地中海料理(2010年)               |  |
| ケシケキの伝統(2011年)             |   |
| スペイン、ギリシャ、イタリア、モロッコ<br>トルコ |  |

## ○ 「和食；日本人の伝統的な食文化」の内容

- 有識者の検討会で日本食文化の内容等を検討し、日本の食文化を特徴づけるキーワードとして「自然の尊重」を抽出。
- 「自然の尊重」というキーワードに基づき、その特徴がまとめられ、2012年3月に「和食；日本人の伝統的な食文化」と題してユネスコへ登録申請。

### 「和食」の登録申請概要

|  |  |   |
|--|--|---|
| <b>多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重</b>   | <b>栄養バランスに優れた健康的な食生活</b>   | <b>自然の美しさや季節の移ろいの表現</b>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・明確な四季と地理的多様性により、新鮮で多様な山海の幸を使用。</li><li>・食材の持ち味を引き出し、引き立たせる工夫。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・米、味噌汁、魚や野菜・山菜といつたおかずなどにより食事がバランスよく構成。</li><li>・動物性油脂を多用せず、長寿や肥満防止に寄与。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・料理に葉や花などをあしらい、差し盛り付ける表現法が発達。</li><li>・季節にあつた食器の使用や部屋のしつらえ。</li></ul> |
| <b>年中行事との密接な関わり</b>  |  | 正月を始めとして、年中行事と密接に関わった食事の時間を作ることで、家族や地域の絆を強化。  |



「和食；日本人の伝統的な食文化」と題し、  
**「自然の尊重」**という日本人の精神を体現した食に関する「社会的慣習」として提案。

# ○ 日本食・食文化の普及との取組について

○ 今後10年間で、340兆円から680兆円に倍増すると見込まれている世界の食市場の獲得のためには、**日本食・食文化の魅力を正しく普及していくことが重要**。そのためには、日本食・食文化が海外において継続的に普及・継承していくような仕組みを構築することが必要。

## 総理、農林水産大臣等によるトップセールス

出張等の機会に合わせ、レセプションにおいて、日本産食材を活用したメニュー等を提供  
例)・26年5月に、安倍総理のフランス訪問の際に和食を紹介するレセプションを実施。  
初の解禁となる和牛の料理を提供



## 海外の料理学校

将来の料理人を育成する海外の料理学校において日本食講座を開設  
例)・25年3月に、コルドンブルー(仏)で日本食講座を実施。



## メディア等

影響力の高いメディア等を活用して、海外で、日本食・食文化の魅力を発信  
例)・影響力の高いメディアであるCNNを活用した和牛・水産物・日本酒のCMを制作。



## 外国人調理師の在留資格の要件緩和

本年2月から外国人調理師が日本国内において動きたながら日本料理を学べるように在留資格の要件緩和を実施  
例)・調理師学校  
○ 外国人留学生の卒業後の実習計画を共同で策定  
○ 実習計画に基づき外国人調理師が日本料理店で2年間、働きながら日本料理の調理技能等を修得



## 海外の日本食レストラン等

海外の複数の日本食レストラン等と連携し、一般消費者に日本食・食文化の魅力を伝える料理の提供等を実施  
例)・上海の外食チェーンのゴールデンジャガー等、約100店舗において、手延べ素麺や鰹節を活用したメニューの提供を実施



## 海外のトップシェフや食関連事業者等

世界的トップシェフに日本食・食文化への正しい魅力を深めて貢う取組を実施  
例)・パリにおいてアラン・デュカスと連携した日本食や日本産食材のPRイベントを開催



## ○ 日本食・食文化の普及の事例（トップセールスの事例）

### ■ 1月17日 ベルリンでの日本食レセプション

ベルリン農業大臣サミットの前夜祭として、林大臣主催による日本食レセプションを実施。各国の農業大臣等の閣僚級、各国大使や外交団、ドイツ政財界から約1100人の来場者に林大臣自らが日本産食材を活用したFBI戦略メニューを振る舞った。



### ■ 5月5日 パリでの日仏友好和食レセプション

安倍総理のフランス訪問の際に、パリで和食を紹介するレセプションを実施。解禁後初となる和牛の料理を提供。



## ○ 日本食・食文化の普及の事例（メディアを活用した広報の事例）

■CNNを活用した和牛・水産物・日本酒CMの制作  
国産農林水産物の輸出促進や認知向上を目的として、影響力の高いメディアであるCNNを活用した和牛・水産物・日本酒のCMを作成。日本酒CMでは、酒造りに高い製造技術が求められる点や「水」が重要な役割を果たす点を強調。欧州・北米・アジア等において3月に放映された。



和牛CM（畜産農家の様子）



水産物CM（築地市場の様子）



日本酒CM（酒造りの様子）

■NHKワールドTVを通じ日本食・食文化に係る番組を放映  
「和牛」「日本茶」「日本酒」「日本茶」をテーマに全4話の番組を制作。世界の約140の国・地域で放映された。番組の監修は菊乃井主人の村田吉弘氏。番組では映像、インタビュー、ナレーション等により日本食・食文化の魅力を効果的に訴求した。第1話「和牛」は3月12日、第2話「日本酒」は4月18日に放映。



## ○ 日本食・食文化の普及の事例（海外の日本食レストランの活用）

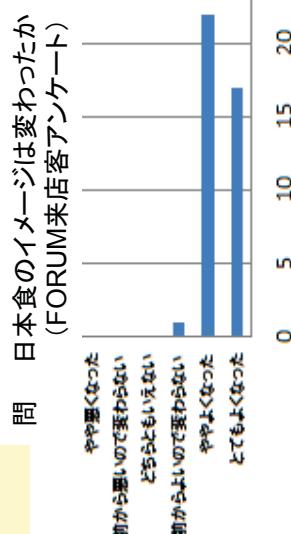
### ■香港でのレストランフェア（2013年8月12日～17日）

内容：同時期に開催中の見本市「Food Expo」に出演している商品を香港市内のレストランでFBI戦略メニューとして展開  
特に、Made Fromメニューは現地のお客様からの大変好評。

Made Fromメニュー展開 中華レストラン「FORUM」  
国産きしめん（乾麺）→中華風ヤキソバ

Made By メニュー展開 日本食レストラン「鬼に角」  
国産西京漬け→現地食材とのコンビランチ

Made In メニュー展開 日本食レストラン「稻ぎく」  
国産梅酒→梅酒ゼリー

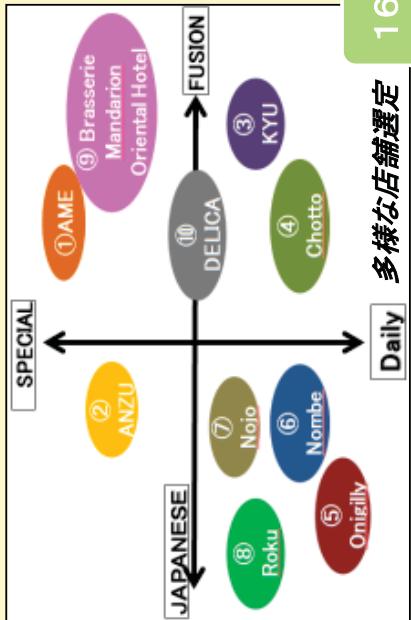


### ■サンフランシスコでのレストランフェア（2014年1月18日～26日）

内容：同時期に開催中の見本市「Winter Fancy Food Show」への出展商品を活用  
市内のレストランでMade From戦略メニューを中心に行開  
多様な店舗選定により、生産者・店舗・消費者の三者に新発見



三河みりん アラスカ銀タラとエビワサミン  
味噌スープしたて ゆであずき 小豆ピスケットトマーガー<sup>トマト</sup>  
バニラアイス添え



## ○ 日本食・食文化の普及の事例（海外の料理学校の活用）

### ■ル・コルドン・ブルー・パリ校で日本食講座

日時：2013年3月8日 パリ  
内容：2013年2-3月のフランスにおける「日本食文化週間」の一環として  
未来のシェフ達に日本食講座を開催  
コルドン・ブルー・パリ校としては初の日本食正規講座  
講師：西澤辰男先生（服部栄養学園）  
千星典央シェフ（ル・サンク・・パリ）

西澤先生が和食の基本である「出汁」をレクチャー、千星シェフがその「出汁」を  
ジュレにアレンジしてフレンチメニューを提案。流れ作業のコラボに、歓声。



### ■タイ Dusit Thani Collegeでの日本食研修コース

Dusit Thaniグループは、タイの有名ホテル＆レストラングループ  
タイ教育省のサービス産業認可大学

日時：2013年12月14日、20日、21日 バンコク(タイ)  
内容：バンコクのシェフ育成大学での日本食基礎研修を実施  
講師：辻調理師専門学校 松岡先生、西尾先生

松花堂弁当＆うどん等のメニューを通して、包丁の取扱いや衛生講習を指導

## ○ 日本食・食文化の普及の事例（外国人調理師の在留資格の緩和要件）

- 外国人調理師が日本国内において働きながら日本料理を学べるよう、平成25年12月、在留資格の要件を緩和する方針を決定。
- 調理師養成施設の留学生について、調理師養成施設と日本料理の提供事業者が共同で申請した実習計画を農林水産省が認定し、実習計画に基づき、2年間、働きながら日本料理の知識及び技能を修得。

### ■ 実習計画の内容

- 1 日本料理の知識及び技能の修得のための計画及び施設に関する事項
- 2 在留中の住居の確保に関する事項
- 3 日本料理の指導員及び生活指導員の任命に関する事項
- 4 報酬及び労働・社会保険への加入等を担保する財産的基盤に関する事項
- 5 外国人調理師との面接及び外国人調理師からの生活・労働等に係る相談への対応（苦情処理を含む。）並びに監査の実施に関する事項
- 6 外国人調理師の帰国情旅費の確保その他の帰国担保措置に関する事項
- 7 特定日本料理調理活動の継続が不可能となつた場合の措置に関する事項

### ■ 認定の要件

- 1 計画の内容が期間全体を通じて効果的な日本料理の知識及び技能の修得が可能と認められること
- 2 日本料理の修得期間を2年以内としていること
- 3 受入れ人数を1事業所当たり2人以内としていること
- 4 日本人と同等以上上の報酬を受けけること 等

## ○ 日本食・食文化の普及の事例（海外のトップシェフや食関連事業者）

### ■マスター・オブ・ワインの活用

場所：ディスカバリー・チャンネル  
内容：世界で約300人しか認定されていない「マスター・オブ・ワイン」の1人  
サム・ハロップ氏を日本へ招聘し、米作りから酒蔵に至るまで日本酒の  
魅力を丁寧に取材して貰う。その模様を3分×10話のドキュメンタリー化  
放映：2013年9月 スペイン・イギリスにて放映

別途、サム・ハロップ氏は日本酒取材の内容や日本酒の魅力を  
欧洲ワイン界のトップ層へ、講演会を通して発信。



### ■アラン・デュカス(仏) × 奥田シェフ(銀座「小十」)による 実演コラボ

場所：パリ アラン・デュカス店舗  
内容：仏トップシェフの仏アラン・デュカス氏が、国内トップ料理人とコラボ  
日本産食材を活用して、和食＆フレンチ料理を仏VIP層に特別提供  
日時：2013年11月6日



仏のメディア＆シェフ仲間やVIP層へ、日本食・食文化の魅力や  
日本産食材の新しい活用法について発信。

### 3 日本食・食文化の普及機会となる今後の事業

～ミラノ万博・東京オリンピック・パラリンピック～

## ○「和食：日本人的伝統的な食文化」の世界に向けた発信

- 平成25年12月4日、我が国からユネスコ無形文化遺産に登録申請していた「和食；日本人の伝統的な食文化」の登録が決定。

### 国内

登録決定を機に、日本食文化を未来に向けて守り伝えていく、国民的な機運に繋げることが重要。  
=継続的なPRによる関心の維持、  
教育等による保護・継承

### 【「和食；日本人の伝統的な食文化」とは】

・「自然の尊重」という日本人の精神を表現した食に関する社会的慣習

- ①新鮮で多様な食材とその持ち味の尊重
- ②栄養バランスに優れた健康的な食生活
- ③自然の美しさや季節の移ろいの表現
- ④正月行事などの年中行事との密接な関わり



### 予算事業

- ・日本食・食文化魅力発信プロジェクト(2,658百万円の内数、H26新規)
- ・地域における日本型食生活等の普及促進(消費・安全対策交付金で実施 352百万円、H26継続)等

### 【「和食」登録決定

- 日本及び日本食への注目の高まり  
=海外への食文化発信等の絶好の機会

### 予算事業

- ・日本食・食文化魅力発信プロジェクト(2,658百万円の内数、H26新規)
- ・ミラノ国際博覧会政府出展委託事業(1,100百万円、H26継続)

# 2015年ミラノ国際博覧会の開催について

- ミラノ万博は、2015年5月から半年間「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマに開催される大規模な博覧会
- 農林水産省及び経済産業省を幹事省、国土交通省を副幹事省とし、ジエトロを参加機関とした体制を整備
- 日本の農林水産業や食を取り巻く様々な取組み、日本食、日本食文化に詰め込まれた様々な知恵や技が、人類共通の課題解決に貢献していくことをテーマに準備中

<日本館の概要>

建築

## 多様性のうつわ

日本古来からの知恵と技を現代の日本の最先端技術を用いて応用し、伝統と革新が共存する木材等を活用した日本館を建築する。

展示

## 食生活と農業生産の多様性

自然と共生する「農林水産業」をベースに、深遠な知恵と技とが凝縮された日本の「食」と「食文化」が、持続可能な未来社会を切り拓くことをアピール。

万博日本館のマーク

祝い箸をモチーフにし、  
EXPOの「E」を作っている

レストラン Feel the Japanese Passion

展示の理解を共感に変えるため、だし等の日本の優れた食を体験できる場として展開。(高級日本食レストランとフードコートを設置)

日本館のテーマ

Harmonious Diversity

-共存する多様性-

催事 多くの方が参加・発信できる行催事の展開

日本食や食文化の多様性を世界へアピールするため、地方公共団体や団体の参画を公募。現在25組33自治体、12団体が参画表明

# ○ 2020年オリソピック・パラリンピック東京大会 我が国の農林水産物・食文化による「おもてなし」

## 日本食で

- **日本食と栄養**（いただく）仕組みを構築
- ・選手、観光客、マスコミ、VIP等へ  
・ベジタリアン、ハラール等にも対応
- ・様々な機会をどうぞ  
・魚食を中心とした日本食の情報発信
- ・近隣市場などを活用した日本食の発信
- ・日本食等を通じた「食文化」精神を発信
- ・「もつたいない」精神を発信
- ・外国人のニーズに対応した新たな商品の開発
- ・「安全・安心な国産食材供給システム構築
- ・選手村、ホテル等で提供する各国料理に  
・開催時期（夏季）に合わせた生産体制の確立



## 花で

- **世界最高水準の品質の日本の花**の活用
- ・表彰式で（ピクトリーブーケ）、マラソンの沿道で、  
・選手村で、主要都市の空港、駅・公共施設で
- ・国産花きを計画的に生産・供給できる体制の整備



## 農山漁村で

- 観光客等を農山漁村でもうなす仕組みの構築
- ・農山漁村での農林漁業体験プログラムの構築
- ・地域の農林水産物を活用した郷土料理等の提供
- ・日本の日常生活の体験のための農家民宿の整備
- ・外国人旅行者への情報発信体制の構築



## 和の空間で

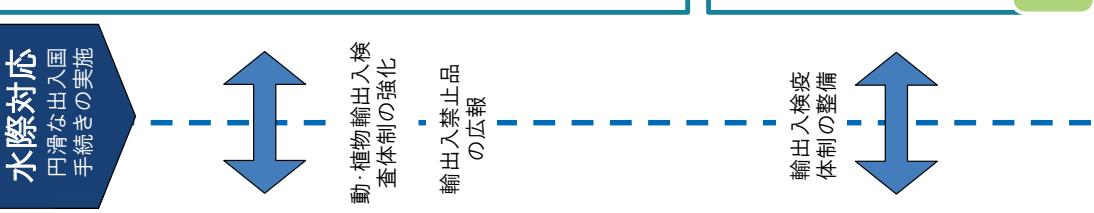
- **国産材と使いた木造化・内装木質化**
- ・大会施設や選手村等の整備、改修  
・仮設建築物にも木材を積極的に使用
- ・関係施設の建設、床材、家具等  
・日本の伝統的な建築様式を取り入れる
- ・CLT（直交集成板）や耐火集成材等  
・資材の安定供給体制の整備



- **国産の量と使用した和の空間の設置**
- ・選手村、競技場の一画に  
・茶道、華道等の体験等も実施
- ・和装（純国産絹製品）でおもてなし



- **環境に配慮した空間づくり**
- ・木質バイオマス、食品廃棄物等を原料とした再生可能エネルギーを大会施設や選手村に  
・バイオプラスチックの活用





## 訪日外国人消費動向調査 【トピックス分析】

### 平成26年訪日外国人観光客の地方訪問状況 ～観光客の2人に1人が2大都市圏以外の地方を訪問

平成27年10月

観光庁観光戦略課調査室



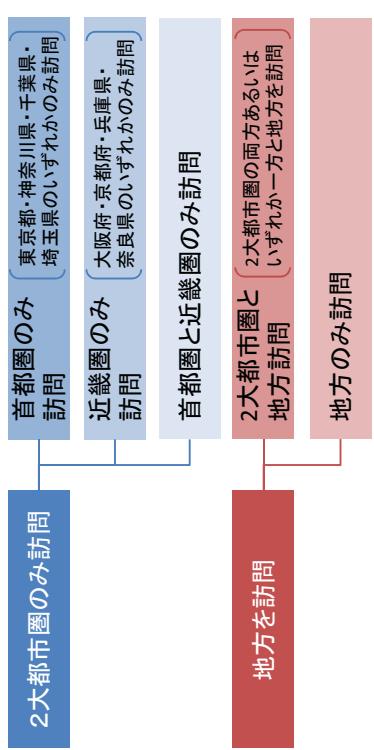
日本観光庁 Japan Tourism Agency Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

# 2人に1人の観光客が東京・大阪大都市圏以外の地方を訪問

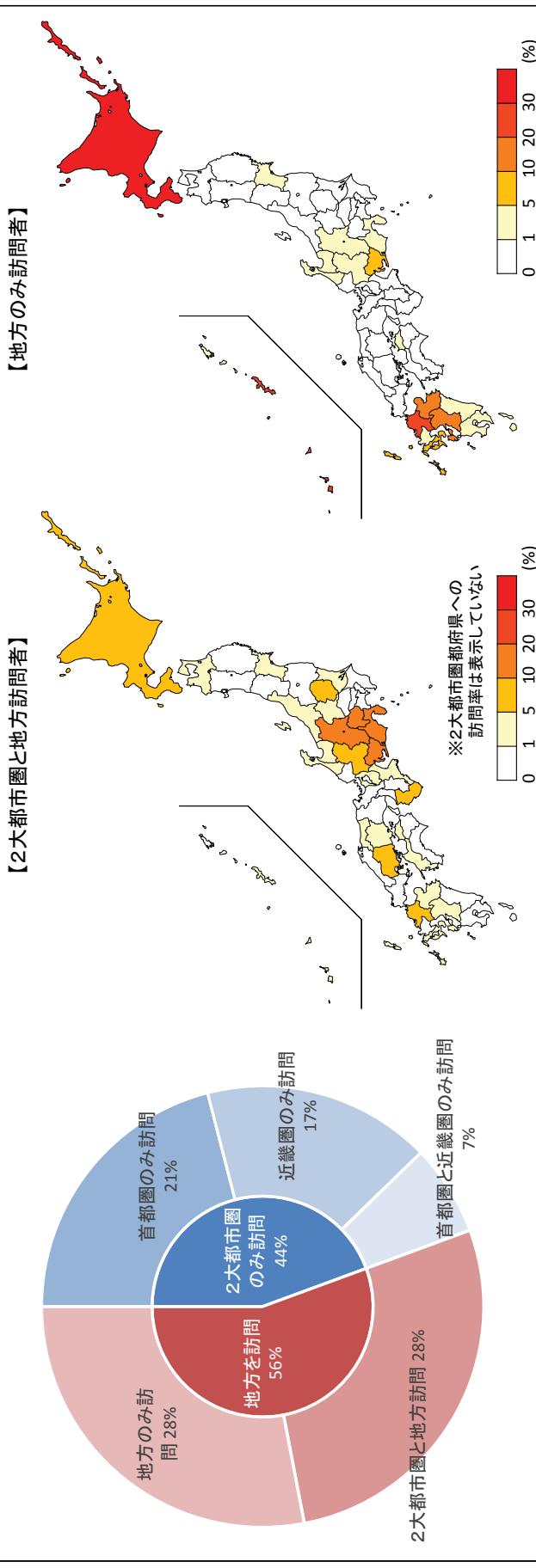
観光庁

- 平成26年の訪日外国人消費動向調査において、「観光・レジャー」目的客（以降、観光客と記載）の都道府県別訪問率を見ると、2大都市圏のみ訪問した観光客は44%なのに対し、地方を訪問した割合は56%を占める。また、地方のみを訪問した割合は28%であった。
- 2大都市圏と地方を訪問した観光客は中部地方への訪問率が高く、地方のみ訪問した観光客は北海道や九州、沖縄県への訪問率が高い。
- 今回のトピックス分析では、地方を訪れた観光客に焦点を当て、どこどの地方を訪れているのかを把握するとともに、地方訪問者の客層や旅行中の活動などについて詳細分析を行う。

図表1 訪問地のタイプ



図表2 地方訪問率



注1) 上記の数値は、平成26年1-3月期・4-6月期・7-9月期・10-12月期の「観光・レジャー」目的の標本に対して国籍・地域別及び四半期別のJNTO訪日外客数によるウェイトバック処理を施して算出している。  
注2) 平成26年調査では、到着空港及び出国空港は都道府県の訪問地としてカウントしていない。

東京農業大学生命科学部（仮称）、  
地域環境科学部地域創成科学科（仮称）、  
国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）の卒業生に  
に対する企業等の採用意向に関するアンケート調査報告

平成27年11月

一般財団法人 日本開発構想研究所

東京農業大学生命科学部（仮称）、地域環境科学部地域創成科学科（仮称）、  
国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）の卒業生に対する  
企業等の採用意向に関するアンケート調査報告

## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

平成 29 年 4 月に予定している東京農業大学生命科学部（仮称）、地域環境科学部地域創成科学科（仮称）、国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）の開設に向けて、東京農業大学卒業生の採用実績のある企業、または卒業生の就職が見込まれる、全国 47 都道府県の企業等の採用担当者にアンケートを実施し、東京農業大学生命科学部（仮称）、地域環境科学部地域創成科学科（仮称）、国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）の卒業生に対する企業等の採用意向を把握することを目的とする。

### (2) 調査対象

東京農業大学卒業生の採用実績のある企業、または卒業生の就職が見込まれる企業等 4,000 社の採用担当者にアンケートを実施し、945 件の有効回答があった。

### (3) 調査方法

東京農業大学卒業生の採用実績のある企業、または卒業生の就職が見込まれる企業等 4,000 社の採用担当者にアンケート用紙及び東京農業大学生命科学部（仮称）、地域環境科学部地域創成科学科（仮称）、国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）の概要を示したリーフレットを送付し、アンケートを実施した。回答については第三者機関へ企業等から直接郵送。

集計結果より、東京農業大学生命科学部（仮称）、地域環境科学部地域創成科学科（仮称）、国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）の卒業生に対する採用意向を分析した。

### (4) 調査実施期間

平成 27 年 9 月～平成 27 年 11 月

### (5) 有効回収率等

配布数 : 4,000 社

有効回答数 : 945 件

有効回収率 : 約 23.6%

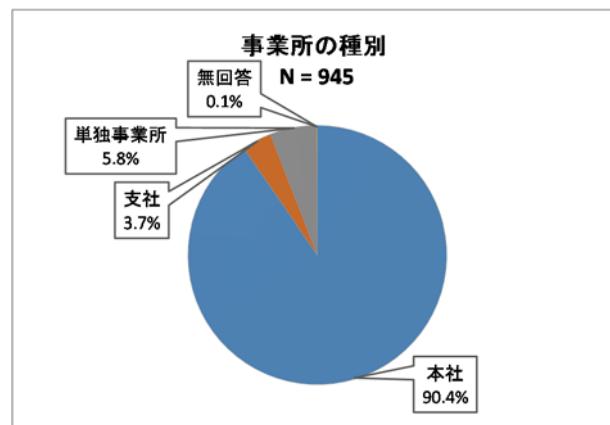
※東京農業大学にて設置を構想している生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科は仮称であるが、その旨の表示を本文中では省略した。

## 2. 調査結果

### (1) 事業所の種別について

事業所の種別について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「本社」が 854 件（90.4%）と最も多く、次いで「単独事業所」55 件（5.8%）、「支社」35 件（3.7%）、「無回答」1 件（0.1%）の順になっている。

| 事業所の種別 |          |     |       |
|--------|----------|-----|-------|
| No.    | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
| 1      | 本社       | 854 | 90.4  |
| 2      | 支社       | 35  | 3.7   |
| 3      | 単独事業所    | 55  | 5.8   |
|        | 無回答      | 1   | 0.1   |
|        | N (%ベース) | 945 | 100   |



## (2) 事業所の所在地について

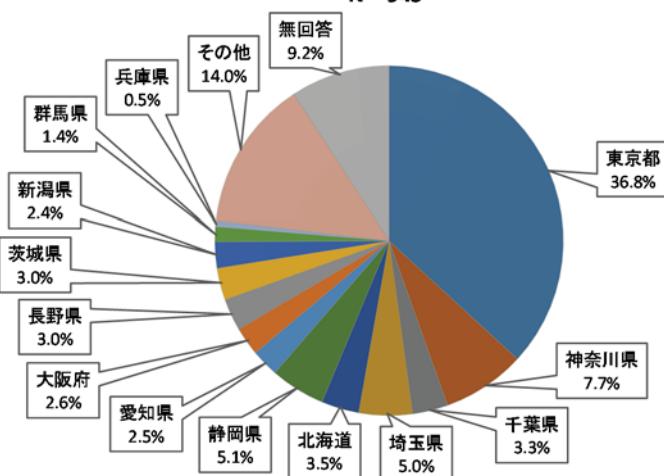
事業所の所在地について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「東京都」が 348 件 (36.8%) と最も多く、次いで「その他」 132 件 (14.0%)、「無回答」 87 件 (9.2%)、「神奈川県」 73 件 (7.7%)、「静岡県」 48 件 (5.1%)、「埼玉県」 47 件 (5.0%)、「北海道」 33 件 (3.5%)、「千葉県」 31 件 (3.3%)、「長野県」 28 件 (3.0%)、「茨城県」 28 件 (3.0%)、「大阪府」 25 件 (2.6%)、「愛知県」 24 件 (2.5%)、「新潟県」 23 件 (2.4%)、「群馬県」 13 件 (1.4%)、「兵庫県」 5 件 (0.5%) の順になっている。

事業所の所在地

| No. | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
|-----|----------|-----|-------|
| 1   | 東京都      | 348 | 36.8  |
| 2   | 神奈川県     | 73  | 7.7   |
| 3   | 千葉県      | 31  | 3.3   |
| 4   | 埼玉県      | 47  | 5.0   |
| 5   | 北海道      | 33  | 3.5   |
| 6   | 静岡県      | 48  | 5.1   |
| 7   | 愛知県      | 24  | 2.5   |
| 8   | 大阪府      | 25  | 2.6   |
| 9   | 長野県      | 28  | 3.0   |
| 10  | 茨城県      | 28  | 3.0   |
| 11  | 新潟県      | 23  | 2.4   |
| 12  | 群馬県      | 13  | 1.4   |
| 13  | 兵庫県      | 5   | 0.5   |
| 14  | その他      | 132 | 14.0  |
|     | 無回答      | 87  | 9.2   |
|     | N (%ベース) | 945 | 100   |

事業所の所在地

N = 945

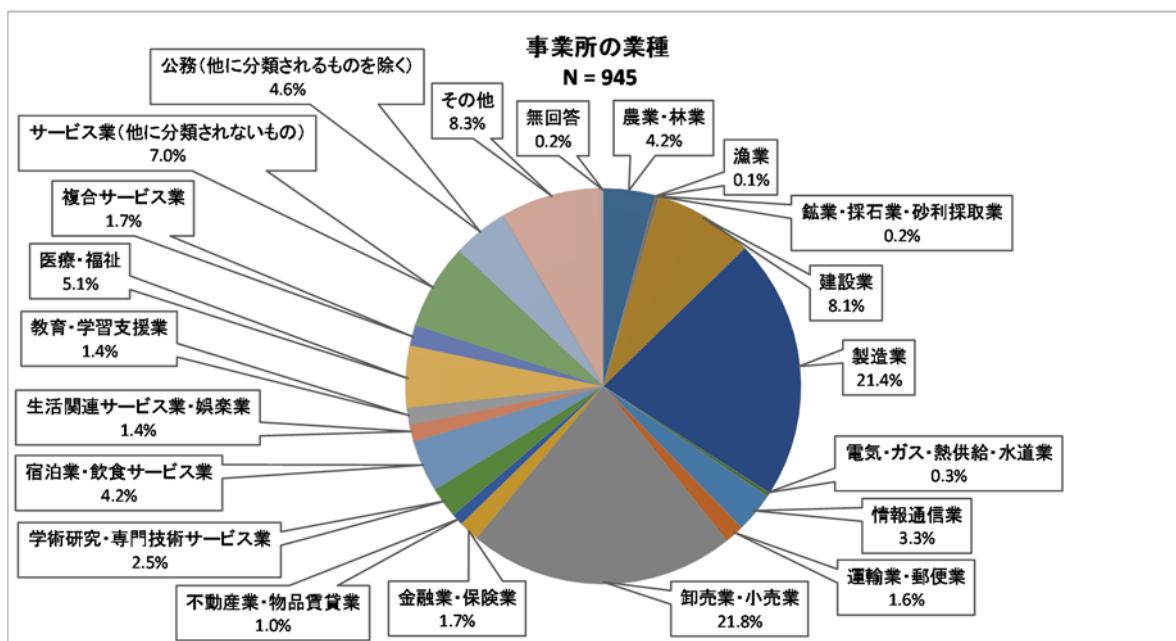


### (3) 事業所の業種について

事業所の業種について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「卸売業・小売業」が 206 件 (21.8%) と最も多く、次いで「製造業」202 件 (21.4%)、「その他」78 件 (8.3%)、「建設業」77 件 (8.1%)、「サービス業（他に分類されないもの）」66 件 (7.0%)、「医療・福祉」48 件 (5.1%)、「公務（他に分類されるものを除く）」43 件 (4.6%)、「農業・林業」40 件 (4.2%)、「宿泊業・飲食サービス業」40 件 (4.2%)、「情報通信業」31 件 (3.3%) の順になっている。

事業所の業種

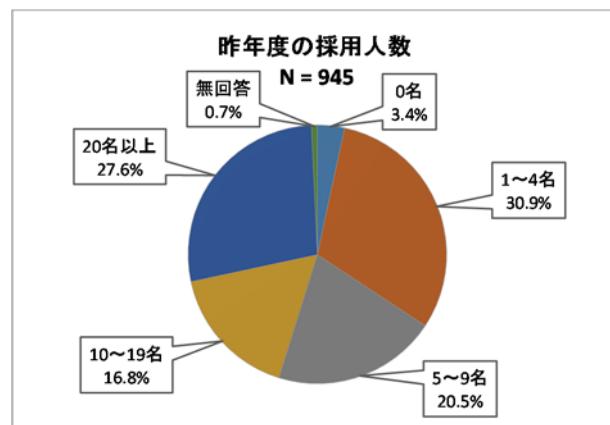
| No. | カテゴリ              | 件数  | (全体)% |
|-----|-------------------|-----|-------|
| 1   | 農業・林業             | 40  | 4.2   |
| 2   | 漁業                | 1   | 0.1   |
| 3   | 鉱業・採石業・砂利採取業      | 2   | 0.2   |
| 4   | 建設業               | 77  | 8.1   |
| 5   | 製造業               | 202 | 21.4  |
| 6   | 電気・ガス・熱供給・水道業     | 3   | 0.3   |
| 7   | 情報通信業             | 31  | 3.3   |
| 8   | 運輸業・郵便業           | 15  | 1.6   |
| 9   | 卸売業・小売業           | 206 | 21.8  |
| 10  | 金融業・保険業           | 16  | 1.7   |
| 11  | 不動産業・物品賃貸業        | 9   | 1.0   |
| 12  | 学術研究・専門技術サービス業    | 24  | 2.5   |
| 13  | 宿泊業・飲食サービス業       | 40  | 4.2   |
| 14  | 生活関連サービス業・娯楽業     | 13  | 1.4   |
| 15  | 教育・学習支援業          | 13  | 1.4   |
| 16  | 医療・福祉             | 48  | 5.1   |
| 17  | 複合サービス業           | 16  | 1.7   |
| 18  | サービス業（他に分類されないもの） | 66  | 7.0   |
| 19  | 公務（他に分類されるものを除く）  | 43  | 4.6   |
| 20  | その他               | 78  | 8.3   |
|     | 無回答               | 2   | 0.2   |
|     | N (%ベース)          | 945 | 100   |



#### (4) 昨年度の採用人数について

昨年度の採用人数について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「1~4 名」が 292 件 (30.9%) と最も多く、次いで「20 名以上」 261 件 (27.6%)、「5~9 名」 194 件 (20.5%)、「10~19 名」 159 件 (16.8%)、「0 名」 32 件 (3.4%)、「無回答」 7 件 (0.7%) の順になっている。

| 昨年度の採用人数 |          |     |       |
|----------|----------|-----|-------|
| No.      | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
| 1        | 0名       | 32  | 3.4   |
| 2        | 1~4名     | 292 | 30.9  |
| 3        | 5~9名     | 194 | 20.5  |
| 4        | 10~19名   | 159 | 16.8  |
| 5        | 20名以上    | 261 | 27.6  |
|          | 無回答      | 7   | 0.7   |
|          | N (%ベース) | 945 | 100   |

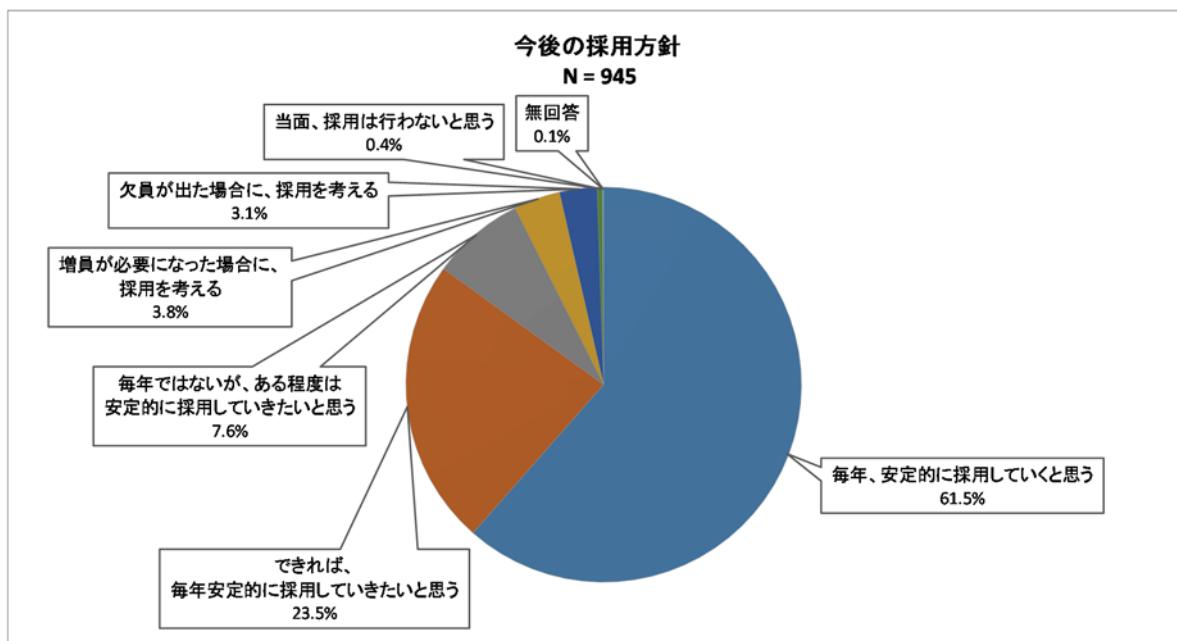


## (5) 今後の採用方針について

今後の採用方針について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「毎年、安定的に採用していくと思う」が 581 件 (61.5%) と最も多く、次いで「できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う」 222 件 (23.5%)、「毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う」 72 件 (7.6%)、「増員が必要になった場合に、採用を考える」 36 件 (3.8%)、「欠員が出た場合に、採用を考える」 29 件 (3.1%)、「当面、採用は行わないと思う」 4 件 (0.4%)、「無回答」 1 件 (0.1%) の順になっている。

今後の採用方針

| No. | カテゴリ                         | 件数  | (全体)% |
|-----|------------------------------|-----|-------|
| 1   | 毎年、安定的に採用していくと思う             | 581 | 61.5  |
| 2   | できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う       | 222 | 23.5  |
| 3   | 毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う | 72  | 7.6   |
| 4   | 増員が必要になった場合に、採用を考える          | 36  | 3.8   |
| 5   | 欠員が出た場合に、採用を考える              | 29  | 3.1   |
| 6   | 当面、採用は行わないと思う                | 4   | 0.4   |
|     | 無回答                          | 1   | 0.1   |
|     | N (%ベース)                     | 945 | 100   |

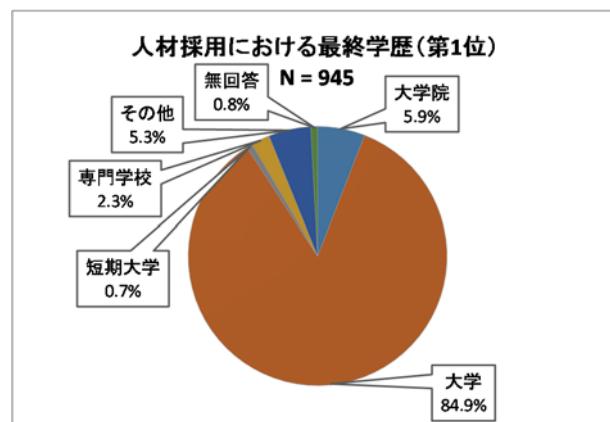


## (6) 人材採用における最終学歴について

### 6-1 人材採用における最終学歴（第1位）について

人材採用における最終学歴（第1位）について調査したところ、回答のあった企業等945件のうち、「大学」が802件（84.9%）と最も多く、次いで「大学院」56件（5.9%）、「その他」50件（5.3%）、「専門学校」22件（2.3%）、「無回答」8件（0.8%）、「短期大学」7件（0.7%）の順になっている。

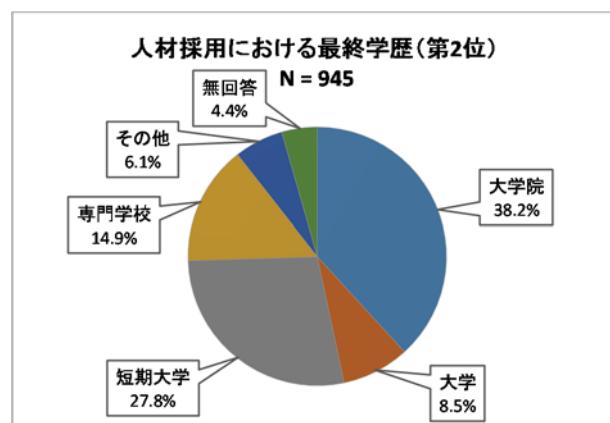
| 人材採用における最終学歴(第1位) |          |     |       |
|-------------------|----------|-----|-------|
| No.               | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
| 1                 | 大学院      | 56  | 5.9   |
| 2                 | 大学       | 802 | 84.9  |
| 3                 | 短期大学     | 7   | 0.7   |
| 4                 | 専門学校     | 22  | 2.3   |
| 5                 | その他      | 50  | 5.3   |
|                   | 無回答      | 8   | 0.8   |
|                   | N (%ベース) | 945 | 100   |



### 6-2 人材採用における最終学歴（第2位）について

人材採用における最終学歴（第2位）について調査したところ、回答のあった企業等945件のうち、「大学院」が361件（38.2%）と最も多く、次いで「短期大学」263件（27.8%）、「専門学校」141件（14.9%）、「大学」80件（8.5%）、「その他」58件（6.1%）、「無回答」42件（4.4%）の順になっている。

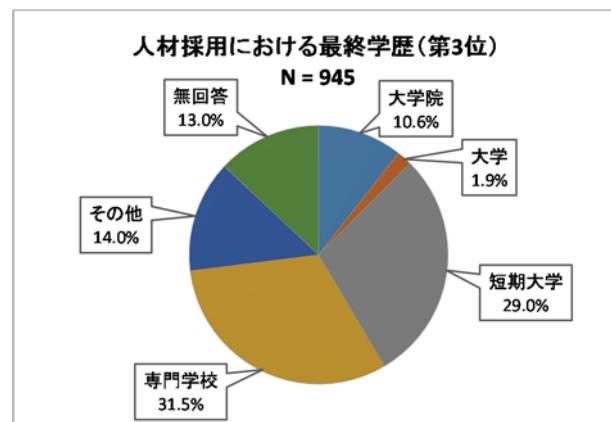
| 人材採用における最終学歴(第2位) |          |     |       |
|-------------------|----------|-----|-------|
| No.               | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
| 1                 | 大学院      | 361 | 38.2  |
| 2                 | 大学       | 80  | 8.5   |
| 3                 | 短期大学     | 263 | 27.8  |
| 4                 | 専門学校     | 141 | 14.9  |
| 5                 | その他      | 58  | 6.1   |
|                   | 無回答      | 42  | 4.4   |
|                   | N (%ベース) | 945 | 100   |



### 6-3 人材採用における最終学歴（第3位）について

人材採用における最終学歴（第3位）について調査したところ、回答のあった企業等945件のうち、「専門学校」が298件（31.5%）と最も多く、次いで「短期大学」274件（29.0%）、「その他」132件（14.0%）、「無回答」123件（13.0%）、「大学院」100件（10.6%）、「大学」18件（1.9%）の順になっている。

| 人材採用における最終学歴(第3位) |          |     |
|-------------------|----------|-----|
| No.               | カテゴリ     | 件数  |
| 1                 | 大学院      | 100 |
| 2                 | 大学       | 18  |
| 3                 | 短期大学     | 274 |
| 4                 | 専門学校     | 298 |
| 5                 | その他      | 132 |
|                   | 無回答      | 123 |
|                   | N (%ペース) | 945 |
|                   | (全体)%    | 100 |



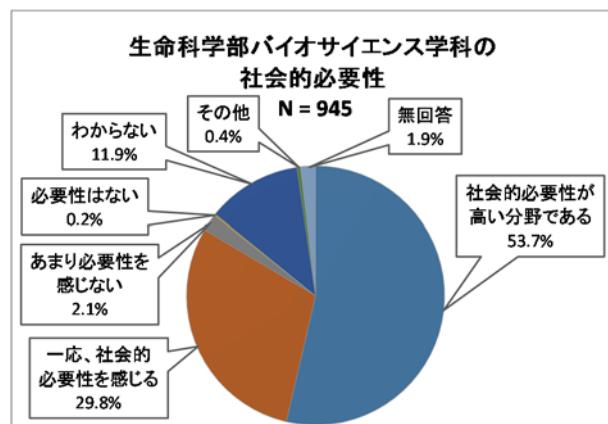
## (7) 新設学部・新設学科の社会的必要性について

### 7-1 生命科学部バイオサイエンス学科の社会的必要性について

東京農業大学生命科学部バイオサイエンス学科の社会的必要性について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「社会的必要性が高い分野である」が 507 件 (53.7%) と最も多く、次いで「一応、社会的必要性を感じる」282 件 (29.8%)、「わからない」112 件 (11.9%)、「あまり必要性を感じない」20 件 (2.1%)、「無回答」18 件 (1.9%)、「その他」4 件 (0.4%)、「必要性はない」2 件 (0.2%) の順になっている。

なお、東京農業大学生命科学部バイオサイエンス学科について、「社会的必要性が高い分野である」、「一応、社会的必要性を感じる」の肯定的な回答を合算すると、789 件 (83.5%) となっている。

| 生命科学部バイオサイエンス学科の社会的必要性 |                | 件数  | (全体)% |
|------------------------|----------------|-----|-------|
| No.                    | カテゴリ           |     |       |
| 1                      | 社会的必要性が高い分野である | 507 | 53.7  |
| 2                      | 一応、社会的必要性を感じる  | 282 | 29.8  |
| 3                      | あまり必要性を感じない    | 20  | 2.1   |
| 4                      | 必要性はない         | 2   | 0.2   |
| 5                      | わからない          | 112 | 11.9  |
| 6                      | その他            | 4   | 0.4   |
|                        | 無回答            | 18  | 1.9   |
|                        | N (%ベース)       | 945 | 100   |

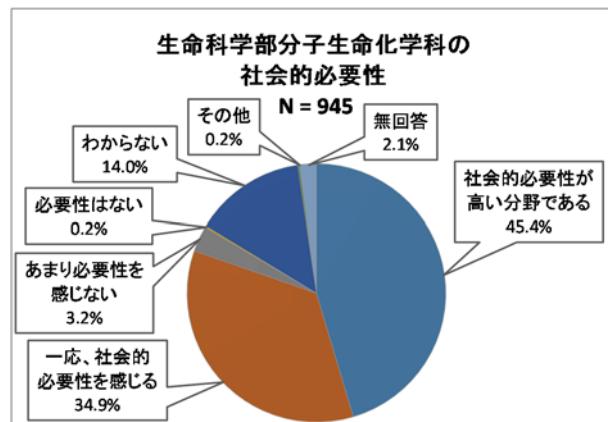


### 7-2 生命科学部分子生命化学科の社会的必要性について

東京農業大学生命科学部分子生命化学科の社会的必要性について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「社会的必要性が高い分野である」が 429 件 (45.4%) と最も多く、次いで「一応、社会的必要性を感じる」330 件 (34.9%)、「わからない」132 件 (14.0%)、「あまり必要性を感じない」30 件 (3.2%)、「無回答」20 件 (2.1%)、「必要性はない」2 件 (0.2%)、「その他」2 件 (0.2%) の順になっている。

なお、東京農業大学生命科学部分子生命化学科について、「社会的必要性が高い分野である」、「一応、社会的必要性を感じる」の肯定的な回答を合算すると、759 件 (80.3%) となっている。

| 生命科学部分子生命化学科の社会的必要性 |                | 件数  | (全体)% |
|---------------------|----------------|-----|-------|
| No.                 | カテゴリ           |     |       |
| 1                   | 社会的必要性が高い分野である | 429 | 45.4  |
| 2                   | 一応、社会的必要性を感じる  | 330 | 34.9  |
| 3                   | あまり必要性を感じない    | 30  | 3.2   |
| 4                   | 必要性はない         | 2   | 0.2   |
| 5                   | わからない          | 132 | 14.0  |
| 6                   | その他            | 2   | 0.2   |
|                     | 無回答            | 20  | 2.1   |
|                     | N (%ベース)       | 945 | 100   |

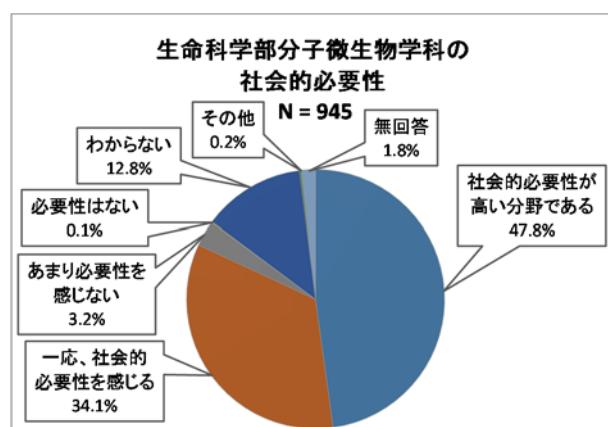


### 7-3 生命科学部分子微生物学科の社会的必要性について

東京農業大学生命科学部分子微生物学科の社会的必要性について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「社会的必要性が高い分野である」が 452 件 (47.8%) と最も多く、次いで「一応、社会的必要性を感じる」322 件 (34.1%)、「わからない」121 件 (12.8%)、「あまり必要性を感じない」30 件 (3.2%)、「無回答」17 件 (1.8%)、「その他」2 件 (0.2%)、「必要性はない」1 件 (0.1%) の順になっている。

なお、東京農業大学生命科学部分子微生物学科について、「社会的必要性が高い分野である」、「一応、社会的必要性を感じる」の肯定的な回答を合算すると、774 件 (81.9%) となっている。

| 生命科学部分子微生物学科の社会的必要性 |                |     |       |
|---------------------|----------------|-----|-------|
| No.                 | カテゴリ           | 件数  | (全体)% |
| 1                   | 社会的必要性が高い分野である | 452 | 47.8  |
| 2                   | 一応、社会的必要性を感じる  | 322 | 34.1  |
| 3                   | あまり必要性を感じない    | 30  | 3.2   |
| 4                   | 必要性はない         | 1   | 0.1   |
| 5                   | わからない          | 121 | 12.8  |
| 6                   | その他            | 2   | 0.2   |
|                     | 無回答            | 17  | 1.8   |
|                     | N (%ベース)       | 945 | 100   |

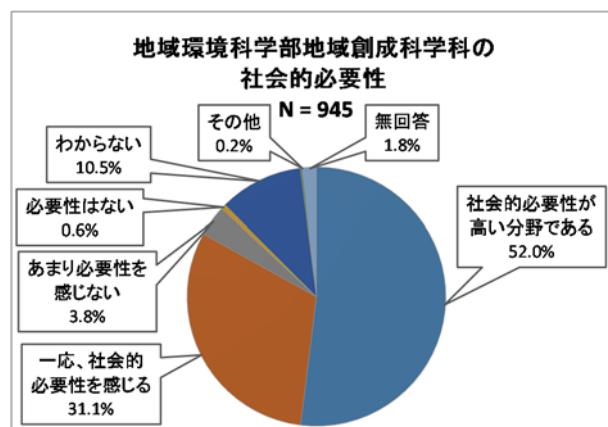


### 7-4 地域環境科学部地域創成科学科の社会的必要性について

東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科の社会的必要性について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「社会的必要性が高い分野である」が 491 件 (52.0%) と最も多く、次いで「一応、社会的必要性を感じる」294 件 (31.1%)、「わからない」99 件 (10.5%)、「あまり必要性を感じない」36 件 (3.8%)、「無回答」17 件 (1.8%)、「必要性はない」6 件 (0.6%)、「その他」2 件 (0.2%) の順になっている。

なお、東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科について、「社会的必要性が高い分野である」、「一応、社会的必要性を感じる」の肯定的な回答を合算すると、785 件 (83.1%) となっている。

| 地域環境科学部地域創成科学科の社会的必要性 |                |     |       |
|-----------------------|----------------|-----|-------|
| No.                   | カテゴリ           | 件数  | (全体)% |
| 1                     | 社会的必要性が高い分野である | 491 | 52.0  |
| 2                     | 一応、社会的必要性を感じる  | 294 | 31.1  |
| 3                     | あまり必要性を感じない    | 36  | 3.8   |
| 4                     | 必要性はない         | 6   | 0.6   |
| 5                     | わからない          | 99  | 10.5  |
| 6                     | その他            | 2   | 0.2   |
|                       | 無回答            | 17  | 1.8   |
|                       | N (%ベース)       | 945 | 100   |

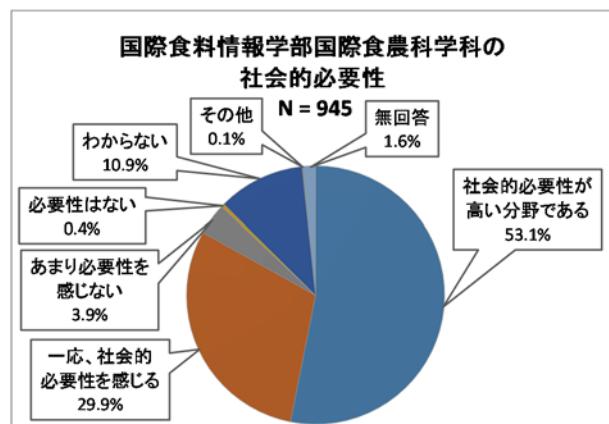


## 7-5 國際食料情報學部國際食農科学科の社会的必要性について

東京農業大学國際食料情報學部國際食農科学科の社会的必要性について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「社会的必要性が高い分野である」が 502 件（53.1%）と最も多く、次いで「一応、社会的必要性を感じる」283 件（29.9%）、「わからない」103 件（10.9%）、「あまり必要性を感じない」37 件（3.9%）、「無回答」15 件（1.6%）、「必要性はない」4 件（0.4%）、「その他」1 件（0.1%）の順になっている。

なお、東京農業大学國際食料情報學部國際食農科学科について、「社会的必要性が高い分野である」、「一応、社会的必要性を感じる」の肯定的な回答を合算すると、785 件（83.0%）となっている。

| 国際食料情報學部國際食農科学科の社会的必要性 |                |             |
|------------------------|----------------|-------------|
| No.                    | カテゴリ           | 件数<br>(全体)% |
| 1                      | 社会的必要性が高い分野である | 502 53.1    |
| 2                      | 一応、社会的必要性を感じる  | 283 29.9    |
| 3                      | あまり必要性を感じない    | 37 3.9      |
| 4                      | 必要性はない         | 4 0.4       |
| 5                      | わからない          | 103 10.9    |
| 6                      | その他            | 1 0.1       |
|                        | 無回答            | 15 1.6      |
|                        | N (%ベース)       | 945 100     |



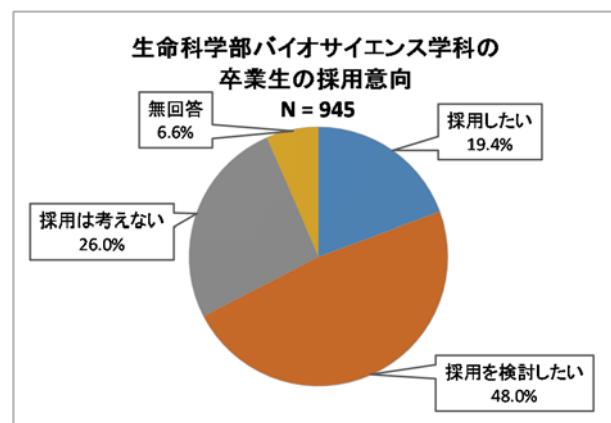
## (8) 新設学部・新設学科の卒業生の採用意向について

### 8-1 生命科学部バイオサイエンス学科の卒業生の採用意向について

東京農業大学生命科学部バイオサイエンス学科の卒業生の採用意向について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「採用を検討したい」が 454 件 (48.0%) と最も多く、次いで「採用は考えない」 246 件 (26.0%)、「採用したい」 183 件 (19.4%)、「無回答」 62 件 (6.6%) の順になっている。

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、637 件 (67.4%) となっている。

| 生命科学部バイオサイエンス学科の卒業生の採用意向 |          |          |
|--------------------------|----------|----------|
| No.                      | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                        | 採用したい    | 183 19.4 |
| 2                        | 採用を検討したい | 454 48.0 |
| 3                        | 採用は考えない  | 246 26.0 |
|                          | 無回答      | 62 6.6   |
|                          | N (%ベース) | 945 100  |

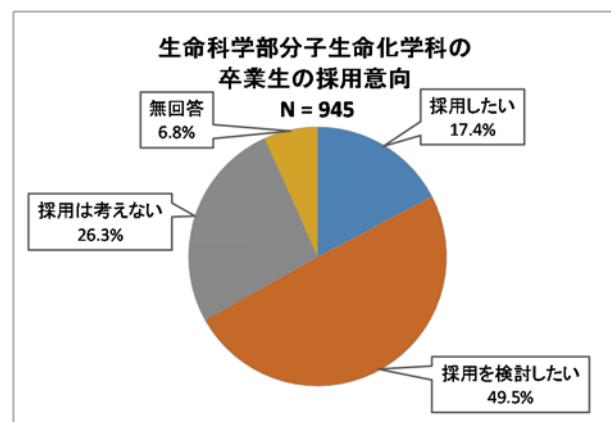


### 8-2 生命科学部分子生命化学科の卒業生の採用意向について

東京農業大学生命科学部分子生命化学科の卒業生の採用意向について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「採用を検討したい」が 468 件 (49.5%) と最も多く、次いで「採用は考えない」 249 件 (26.3%)、「採用したい」 164 件 (17.4%)、「無回答」 64 件 (6.8%) の順になっている。

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、632 件 (66.9%) となっている。

| 生命科学部分子生命化学科の卒業生の採用意向 |          |          |
|-----------------------|----------|----------|
| No.                   | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                     | 採用したい    | 164 17.4 |
| 2                     | 採用を検討したい | 468 49.5 |
| 3                     | 採用は考えない  | 249 26.3 |
|                       | 無回答      | 64 6.8   |
|                       | N (%ベース) | 945 100  |

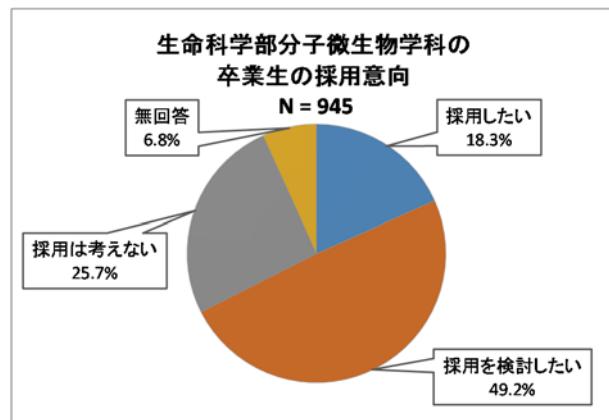


### 8-3 生命科学部分子微生物学科の卒業生の採用意向について

東京農業大学生命科学部分子微生物学科の卒業生の採用意向について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「採用を検討したい」が 465 件（49.2%）と最も多く、次いで「採用は考えない」 243 件（25.7%）、「採用したい」 173 件（18.3%）、「無回答」 64 件（6.8%）の順になっている。

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、638 件（67.5%）となっている。

| 生命科学部分子微生物学科の卒業生の採用意向 |          |     |       |
|-----------------------|----------|-----|-------|
| No.                   | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
| 1                     | 採用したい    | 173 | 18.3  |
| 2                     | 採用を検討したい | 465 | 49.2  |
| 3                     | 採用は考えない  | 243 | 25.7  |
|                       | 無回答      | 64  | 6.8   |
|                       | N (%ベース) | 945 | 100   |

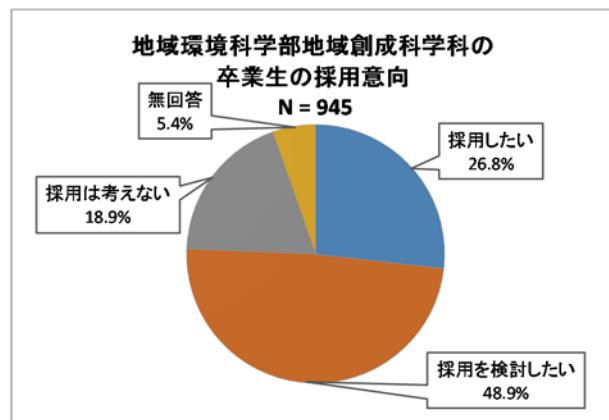


### 8-4 地域環境科学部地域創成科学科の卒業生の採用意向について

東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科の卒業生の採用意向について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「採用を検討したい」が 462 件（48.9%）と最も多く、次いで「採用したい」 253 件（26.8%）、「採用は考えない」 179 件（18.9%）、「無回答」 51 件（5.4%）の順になっている。

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、715 件（75.7%）となっている。

| 地域環境科学部地域創成科学科の卒業生の採用意向 |          |     |       |
|-------------------------|----------|-----|-------|
| No.                     | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
| 1                       | 採用したい    | 253 | 26.8  |
| 2                       | 採用を検討したい | 462 | 48.9  |
| 3                       | 採用は考えない  | 179 | 18.9  |
|                         | 無回答      | 51  | 5.4   |
|                         | N (%ベース) | 945 | 100   |

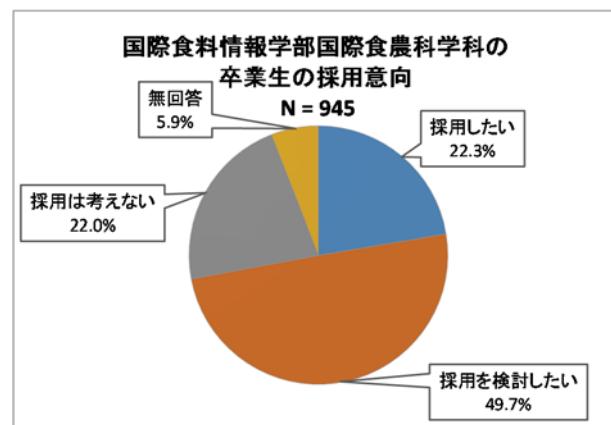


### 8-5 国際食料情報学部国際食農科学科の卒業生の採用意向について

東京農業大学国際食料情報学部国際食農科学科の卒業生の採用意向について調査した結果、回答のあった企業等 945 件のうち、「採用を検討したい」が 470 件 (49.7%) と最も多く、次いで「採用したい」 211 件 (22.3%)、「採用は考えない」 208 件 (22.0%)、「無回答」 56 件 (5.9%) の順になっている。

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、681 件 (72.0%) となっている。

| 国際食料情報学部国際食農科学科の卒業生の採用意向 |          |          |
|--------------------------|----------|----------|
| No.                      | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                        | 採用したい    | 211 22.3 |
| 2                        | 採用を検討したい | 470 49.7 |
| 3                        | 採用は考えない  | 208 22.0 |
|                          | 無回答      | 56 5.9   |
|                          | N (%ベース) | 945 100  |

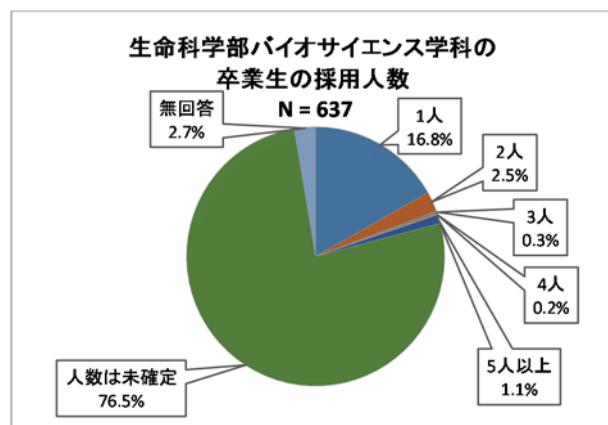


(9) 新設学部・新設学科の卒業生の採用人数について

9-1 生命科学部バイオサイエンス学科の卒業生の採用人数について

「(8) 8-1 生命科学部バイオサイエンス学科の卒業生の採用意向について」で肯定的な採用意向を示した 637 件に対して、東京農業大学生命科学部バイオサイエンス学科の卒業生の将来的な採用人数について調査したところ、「人数は未確定」が 487 件 (76.5%) と最も多く、次いで「1人」 107 件 (16.8%)、「無回答」 17 件 (2.7%)、「2人」 16 件 (2.5%)、「5人以上」 7 件 (1.1%)、「3人」 2 件 (0.3%)、「4人」 1 件 (0.2%) の順になっている。

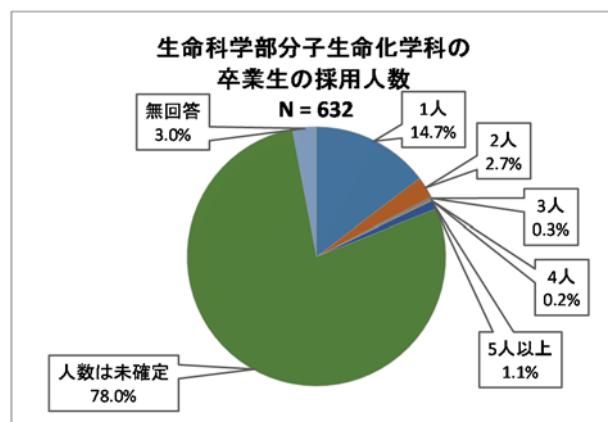
| 生命科学部バイオサイエンス学科の卒業生の採用人数 |          |     |       |
|--------------------------|----------|-----|-------|
| No.                      | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
| 1                        | 1人       | 107 | 16.8  |
| 2                        | 2人       | 16  | 2.5   |
| 3                        | 3人       | 2   | 0.3   |
| 4                        | 4人       | 1   | 0.2   |
| 5                        | 5人以上     | 7   | 1.1   |
| 6                        | 人数は未確定   | 487 | 76.5  |
|                          | 無回答      | 17  | 2.7   |
|                          | N (%ベース) | 637 | 100   |



9-2 生命科学部分子生命化学科の卒業生の採用人数について

「(8) 8-2 生命科学部分子生命化学科の卒業生の採用意向について」で肯定的な採用意向を示した 637 件に対して、東京農業大学生命科学部分子生命化学科の卒業生の将来的な採用人数について調査したところ、「人数は未確定」が 493 件 (78.0%) と最も多く、次いで「1人」 93 件 (14.7%)、「無回答」 19 件 (3.0%)、「2人」 17 件 (2.7%)、「5人以上」 7 件 (1.1%)、「3人」 2 件 (0.3%)、「4人」 1 件 (0.2%) の順になっている。

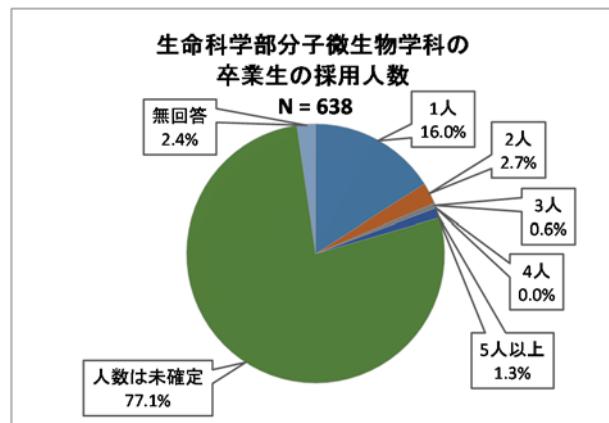
| 生命科学部分子生命化学科の卒業生の採用人数 |          |     |       |
|-----------------------|----------|-----|-------|
| No.                   | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
| 1                     | 1人       | 93  | 14.7  |
| 2                     | 2人       | 17  | 2.7   |
| 3                     | 3人       | 2   | 0.3   |
| 4                     | 4人       | 1   | 0.2   |
| 5                     | 5人以上     | 7   | 1.1   |
| 6                     | 人数は未確定   | 493 | 78.0  |
|                       | 無回答      | 19  | 3.0   |
|                       | N (%ベース) | 632 | 100   |



### 9-3 生命科学部分子微生物学科の卒業生の採用人数について

「(8) 8-3 生命科学部分子微生物学科の卒業生の採用意向について」で肯定的な採用意向を示した 638 件に対して、東京農業大学生命科学部分子微生物学科の卒業生の将来的な採用人数について調査したところ、「人数は未確定」が 492 件 (77.1%) と最も多く、次いで「1人」 102 件 (16.0%)、「2人」 17 件 (2.7%)、「無回答」 15 件 (2.4%)、「5人以上」 8 件 (1.3%)、「3人」 4 件 (0.6%)、「4人」 0 件 (0%) の順になっている。

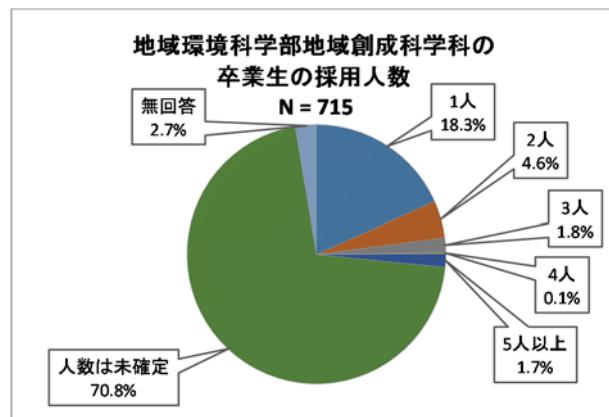
| 生命科学部分子微生物学科の卒業生の採用人数 |          |          |
|-----------------------|----------|----------|
| No.                   | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                     | 1人       | 102 16.0 |
| 2                     | 2人       | 17 2.7   |
| 3                     | 3人       | 4 0.6    |
| 4                     | 4人       | 0 0.0    |
| 5                     | 5人以上     | 8 1.3    |
| 6                     | 人数は未確定   | 492 77.1 |
|                       | 無回答      | 15 2.4   |
|                       | N (%ベース) | 638 100  |



### 9-4 地域環境科学部地域創成科学科の卒業生の採用人数について

「(8) 8-4 地域環境科学部地域創成科学科の卒業生の採用意向について」で肯定的な採用意向を示した 715 件に対して、東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科の卒業生の将来的な採用人数について調査したところ、「人数は未確定」が 506 件 (70.8%) と最も多く、次いで「1人」 131 件 (18.3%)、「2人」 33 件 (4.6%)、「無回答」 19 件 (2.7%)、「3人」 13 件 (1.8%)、「5人以上」 12 件 (1.7%)、「4人」 1 件 (0.1%) の順になっている。

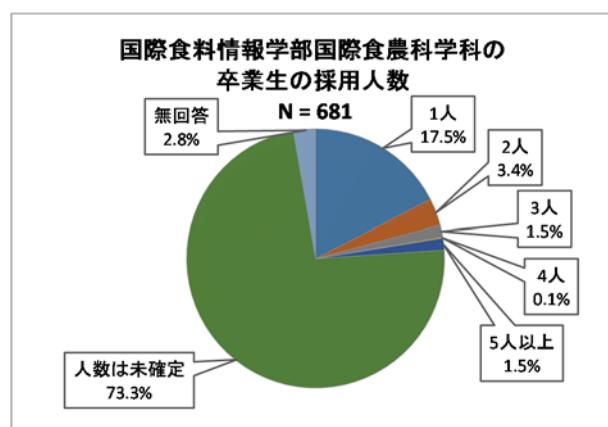
| 地域環境科学部地域創成科学科の卒業生の採用人数 |          |          |
|-------------------------|----------|----------|
| No.                     | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                       | 1人       | 131 18.3 |
| 2                       | 2人       | 33 4.6   |
| 3                       | 3人       | 13 1.8   |
| 4                       | 4人       | 1 0.1    |
| 5                       | 5人以上     | 12 1.7   |
| 6                       | 人数は未確定   | 506 70.8 |
|                         | 無回答      | 19 2.7   |
|                         | N (%ベース) | 715 100  |



### 9-5 國際食料情報學部國際食農科学科の卒業生の採用人数について

「(8) 8-5 國際食料情報學部國際食農科学科の卒業生の採用意向について」で肯定的な採用意向を示した 681 件に対して、東京農業大学國際食料情報學部國際食農科学科の卒業生の将来的な採用人数について調査したところ、「人数は未確定」が 499 件 (73.3%) と最も多く、次いで「1人」119 件 (17.5%)、「2人」23 件 (3.4%)、「無回答」19 件 (2.8%)、「3人」10 件 (1.5%)、「5人以上」10 件 (1.5%)、「4人」1 件 (0.1%) の順になっている。

| 國際食料情報學部國際食農科学科の卒業生の採用人数 |          |             |
|--------------------------|----------|-------------|
| No.                      | カテゴリ     | 件数<br>(全体)% |
| 1                        | 1人       | 119 17.5    |
| 2                        | 2人       | 23 3.4      |
| 3                        | 3人       | 10 1.5      |
| 4                        | 4人       | 1 0.1       |
| 5                        | 5人以上     | 10 1.5      |
| 6                        | 人数は未確定   | 499 73.3    |
|                          | 無回答      | 19 2.8      |
|                          | N (%ベース) | 681 100     |



### 3. 調査結果のまとめ

東京農業大学 生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科の卒業生に対する将来的な採用意向人数の集計にあたっては、「(8) 新設学部・新設学科の卒業生の採用意向について」の肯定的な回答数と、「(9) 新設学部・新設学科の卒業生の採用人数について」の将来的な採用人数の各選択肢（「1人」、「2人」、「3人」、「4人」、「5人以上」、「人数は未確定（※）」）を乗じ、これを合計し、算出した。

※「人数は未確定」とは、「(8) 新設学部・新設学科の卒業生の採用意向について」にて、「採用したい」「採用を検討したい」と回答し将来的な採用意向は示すが、アンケートの時点では将来的な採用人数について確定していないものである。したがって、本調査では「人数は未確定」の将来的な採用人数を最低数である「1人」として計算した。

#### 生命科学部バイオサイエンス学科

下記の表より、東京農業大学生命科学部バイオサイエンス学科の卒業生に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、213人分となる。入学定員は140名であるため、約1.52倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向人数は671人となり、これは、入学定員140名に対して、約4.79倍となる。

#### 生命科学部バイオサイエンス学科

| 回答数(件)<br>人数(人) | 「採用したい」<br>のみ | 合計                |
|-----------------|---------------|-------------------|
| 1人(A)           | 40            | (a) (A) × (a) 40  |
| 2人(B)           | 9             | (b) (B) × (b) 18  |
| 3人(C)           | 1             | (c) (C) × (c) 3   |
| 4人(D)           | -             | (d) (D) × (d) -   |
| 5人以上(E)         | 6             | (e) (E) × (e) 30  |
| 人数は未確定(F)       | 122           | (f) (F) × (f) 122 |
| 無回答             | 5             |                   |

合計採用意向 213人

※採用人数が無回答であった場合は、計算から除外した

| 回答数(件)<br>人数(人) | 「採用したい」<br>「採用を検討し<br>たい」の合計 | 合計 |
|-----------------|------------------------------|----|
| 1人(A)           | 107 (a) (A) × (a) 107        |    |
| 2人(B)           | 16 (b) (B) × (b) 32          |    |
| 3人(C)           | 2 (c) (C) × (c) 6            |    |
| 4人(D)           | 1 (d) (D) × (d) 4            |    |
| 5人以上(E)         | 7 (e) (E) × (e) 35           |    |
| 人数は未確定(F)       | 487 (f) (F) × (f) 487        |    |
| 無回答             | 17                           |    |

合計採用意向 671人

## 生命科学部分子生命化学科

下記の表より、東京農業大学生命科学部分子生命化学科の卒業生に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、195 人分となる。入学定員は 115 名であるため、約 1.69 倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向人数は 665 人となり、これは、入学定員 115 名に対して、約 5.78 倍となる。

### 生命科学部分子生命化学科

| 回答数(件)<br>人数(人) | 「採用したい」<br>のみ | 合計            | 回答数(件)<br>人数(人) | 「採用したい」<br>「採用を検討し<br>たい」の合計 | 合計            |
|-----------------|---------------|---------------|-----------------|------------------------------|---------------|
| 1人(A)           | 30 (a)        | (A) × (a) 30  | 1人(A)           | 93 (a)                       | (A) × (a) 93  |
| 2人(B)           | 10 (b)        | (B) × (b) 20  | 2人(B)           | 17 (b)                       | (B) × (b) 34  |
| 3人(C)           | 1 (c)         | (C) × (c) 3   | 3人(C)           | 2 (c)                        | (C) × (c) 6   |
| 4人(D)           | - (d)         | (D) × (d) -   | 4人(D)           | 1 (d)                        | (D) × (d) 4   |
| 5人以上(E)         | 6 (e)         | (E) × (e) 30  | 5人以上(E)         | 7 (e)                        | (E) × (e) 35  |
| 人数は未確定(F)       | 112 (f)       | (F) × (f) 112 | 人数は未確定(F)       | 493 (f)                      | (F) × (f) 493 |
| 無回答             | 5             |               | 無回答             | 19                           |               |
| 合計採用意向 195 人    |               |               | 合計採用意向 665 人    |                              |               |

※採用人数が無回答であった場合は、計算から除外した

## 生命科学部分子微生物学科

下記の表より、東京農業大学生命科学部分子微生物学科の卒業生に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、211 人分となる。入学定員は 115 名であるため、約 1.83 倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向人数は 680 人となり、これは、入学定員 115 名に対して、約 5.91 倍となる。

### 生命科学部分子微生物学科

| 回答数(件)<br>人数(人) | 「採用したい」<br>のみ | 合計            | 回答数(件)<br>人数(人) | 「採用したい」<br>「採用を検討し<br>たい」の合計 | 合計            |
|-----------------|---------------|---------------|-----------------|------------------------------|---------------|
| 1人(A)           | 34 (a)        | (A) × (a) 34  | 1人(A)           | 102 (a)                      | (A) × (a) 102 |
| 2人(B)           | 11 (b)        | (B) × (b) 22  | 2人(B)           | 17 (b)                       | (B) × (b) 34  |
| 3人(C)           | 2 (c)         | (C) × (c) 6   | 3人(C)           | 4 (c)                        | (C) × (c) 12  |
| 4人(D)           | - (d)         | (D) × (d) -   | 4人(D)           | - (d)                        | (D) × (d) -   |
| 5人以上(E)         | 7 (e)         | (E) × (e) 35  | 5人以上(E)         | 8 (e)                        | (E) × (e) 40  |
| 人数は未確定(F)       | 114 (f)       | (F) × (f) 114 | 人数は未確定(F)       | 492 (f)                      | (F) × (f) 492 |
| 無回答             | 5             |               | 無回答             | 15                           |               |
| 合計採用意向 211 人    |               |               | 合計採用意向 680 人    |                              |               |

※採用人数が無回答であった場合は、計算から除外した

## 地域環境科学部地域創成科学科

下記の表より、東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科の卒業生に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、341 人分となる。入学定員は 80 名であるため、約 4.26 倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向人数は 806 人となり、これは、入学定員 80 名に対して、約 10.07 倍となる。

### 地域環境科学部地域創成科学科

| 回答数(件)<br>人数(人) | 「採用したい」<br>のみ     | 合計  | 回答数(件)<br>人数(人) | 「採用したい」<br>「採用を検討し<br>たい」の合計 | 合計  |
|-----------------|-------------------|-----|-----------------|------------------------------|-----|
| 1人(A)           | 53 (a) (A) × (a)  | 53  | 1人(A)           | 131 (a) (A) × (a)            | 131 |
| 2人(B)           | 25 (b) (B) × (b)  | 50  | 2人(B)           | 33 (b) (B) × (b)             | 66  |
| 3人(C)           | 11 (c) (C) × (c)  | 33  | 3人(C)           | 13 (c) (C) × (c)             | 39  |
| 4人(D)           | 1 (d) (D) × (d)   | 4   | 4人(D)           | 1 (d) (D) × (d)              | 4   |
| 5人以上(E)         | 11 (e) (E) × (e)  | 55  | 5人以上(E)         | 12 (e) (E) × (e)             | 60  |
| 人数は未確定(F)       | 146 (f) (F) × (f) | 146 | 人数は未確定(F)       | 506 (f) (F) × (f)            | 506 |
| 無回答             | 6                 |     | 無回答             | 19                           |     |

合計採用意向 341 人

合計採用意向 806 人

※採用人数が無回答であった場合は、計算から除外した

## 国際食料情報学部国際食農科学科

下記の表より、東京農業大学国際食料情報学部国際食農科学科の卒業生に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、278 人分となる。入学定員は 100 名であるため、2.78 倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向人数は 748 人となり、これは、入学定員 100 名に対して、7.48 倍となる。

### 国際食料情報学部国際食農科学科

| 回答数(件)<br>人数(人) | 「採用したい」<br>のみ     | 合計  | 回答数(件)<br>人数(人) | 「採用したい」<br>「採用を検討し<br>たい」の合計 | 合計  |
|-----------------|-------------------|-----|-----------------|------------------------------|-----|
| 1人(A)           | 38 (a) (A) × (a)  | 38  | 1人(A)           | 119 (a) (A) × (a)            | 119 |
| 2人(B)           | 14 (b) (B) × (b)  | 28  | 2人(B)           | 23 (b) (B) × (b)             | 46  |
| 3人(C)           | 9 (c) (C) × (c)   | 27  | 3人(C)           | 10 (c) (C) × (c)             | 30  |
| 4人(D)           | 1 (d) (D) × (d)   | 4   | 4人(D)           | 1 (d) (D) × (d)              | 4   |
| 5人以上(E)         | 9 (e) (E) × (e)   | 45  | 5人以上(E)         | 10 (e) (E) × (e)             | 50  |
| 人数は未確定(F)       | 136 (f) (F) × (f) | 136 | 人数は未確定(F)       | 499 (f) (F) × (f)            | 499 |
| 無回答             | 4                 |     | 無回答             | 19                           |     |

合計採用意向 278 人

合計採用意向 748 人

※採用人数が無回答であった場合は、計算から除外した

以上の調査結果と、今回の調査対象以外の進路も考えられることから、東京農業大学生命科学部、地域環境科学部地域創成科学科、国際食料情報学部国際食農科学科の卒業生の進路は十分に確保できるものと考える。

# 調査票

東京農業大学 生命科学部(仮称)、地域環境科学部地域創成科学科(仮称)、  
国際食料情報学部国際食農科学科(仮称)の設置に係るアンケート調査

- ・このアンケート調査は2017年4月に設置を予定している新学部・新学科の設置構想の基礎資料とするため、貴社の採用状況・意向についてお聞きするものです。
- ・このアンケート結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。
- ・回答は、該当する番号を回答欄へ直接記入してください。

★調査回答締め切りのお願い

2015年10月2日(金)までに、同封の返信用封筒にてご投函頂きますようお願いいたします。

【 貴社についてお聞きします 】

【回答欄】

- Q1. 本社・支社・事業所等についてお聞きします。  
次の中から該当する番号を1つお選びください。

1. 本社      2. 支社      3. 単独事業所

- Q2. 所在地についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。  
※Q1の【企業】で「1. 本社」以外を選択された場合は、その所在地をお答えください。

1. 東京都      2. 神奈川県      3. 千葉県      4. 埼玉県  
5. 北海道      6. 静岡県      7. 愛知県      8. 大阪府  
9. 長野県      10. 茨城県      11. 新潟県      12. 群馬県  
13. 兵庫県      14. その他( )

- Q3. 業種についてお聞きします。次の中から最も当てはまる番号を1つお選びください。

1. 農業・林業      2. 漁業  
3. 鉱業・採石業・砂利採取業      4. 建設業  
5. 製造業      6. 電気・ガス・熱供給・水道業  
7. 情報通信業      8. 運輸業・郵便業  
9. 卸売業・小売業      10. 金融業・保険業  
11. 不動産業・物品販貸業      12. 学術研究・専門技術サービス業  
13. 宿泊業・飲食サービス業      14. 生活関連サービス業・娯楽業  
15. 教育・学習支援業      16. 医療・福祉  
17. 複合サービス業      18. サービス業(他に分類されないもの)  
19. 公務(他に分類されるものを除く)      20. その他(具体的に )

- Q4. 昨年度に採用された人数について、該当する番号を1つお選びください。

(支社または単独事業所でお答えいただいている場合は、そちらでの採用数をお願いします)

1. 0名      2. 1~4名      3. 5~9名      4. 10~19名      5. 20名以上

- Q5. 今後の人材採用について、どのようにお考えですか。お考えに近い番号を1つお選びください。

1. 毎年、安定的に採用していくと思う  
2. できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う  
3. 每年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う  
4. 増員が必要になった場合に、採用を考える  
5. 欠員が出た場合に、採用を考える  
6. 当面、採用は行わないと思う

- Q6. 今後、人材の採用にあたり、どのような出身学歴(最終学歴)の方の採用をお考えですか。  
「採用対象となる」と思われる番号を第3位までお選びください。

1. 大学院  
2. 大学  
3. 短期大学  
4. 専門学校  
5. その他( )

a: 第1位

b: 第2位

c: 第3位

【 ここからは、同封の「生命科学部(仮称)、地域環境科学部地域創成科学科(仮称)、国際食料情報学部国際食農科学科(仮称)の概要」をご覧になりながらお答えください 】

Q7. 東京農業大学が構想している新学部・新学科の社会的必要性についてどのようにお考えになりますか。学部・学科ごとに次の中から該当する番号を1つお選びください。

1. 社会的必要性が高い分野である      2. 一応、社会的必要性を感じる  
3. あまり必要性を感じない      4. 必要性はない  
5. わからない      6. その他（具体的に）

a : 生命科学部バイオサイエンス学科（仮称）→  b : 生命科学部分子生命化学科（仮称）→   
c : 生命科学部分子微生物学科（仮称）→  d : 地域環境科学部地域創成科学科（仮称）→   
e : 国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）→

Q8. 東京農業大学が構想している新学部・新学科卒業生の採用意向についておたずねします。学部・学科ごとに次の中から該当する番号を1つお選びください。

1. 採用したい  
2. 採用を検討したい  
3. 採用は考えない

1つでも1、2を選ばれた方はQ9へお進みください。  
全て3を選ばれた方はQ10へお進みください。

a : 生命科学部バイオサイエンス学科（仮称）→  b : 生命科学部分子生命化学科（仮称）→   
c : 生命科学部分子微生物学科（仮称）→  d : 地域環境科学部地域創成科学科（仮称）→   
e : 国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）→

Q9. 東京農業大学が構想している新学部・新学科の卒業生を何人程度採用したいと考えますか。Q8にて「採用したい」「採用を検討したい」を選択した学科について、次の中から該当する番号を1つお選びください。

1. 1人      2. 2人      3. 3人      4. 4人      5. 5人以上      6. 人数は未確定

a : 生命科学部バイオサイエンス学科（仮称）→  b : 生命科学部分子生命化学科（仮称）→   
c : 生命科学部分子微生物学科（仮称）→  d : 地域環境科学部地域創成科学科（仮称）→   
e : 国際食料情報学部国際食農科学科（仮称）→

Q10. 東京農業大学が構想している新学部・新学科の設置構想にあたり、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。その他、大学の教育内容・活動等について、ご意見等ございましたら、あわせてご記入ください。

◆◆ 最後までご協力いただき、ありがとうございました ◆◆

東京農業大学 大学改革推進室（担当：村越）

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 電話：03-5477-2650 FAX：03-5477-2804



正門に掛かる門標は棟方志功の揮毫

# 進化する東京農大

2017年4月設置構想中

**新設 生命科学部※<仮称> 世田谷キャンパス**

**新設 バイオサイエンス学科※<仮称> 定員 140名**

**新設 分子生命化学科※<仮称> 定員 115名**

**新設 分子微生物学科※<仮称> 定員 115名**

地域環境科学部 世田谷キャンパス

**新設 地域創成科学科※<仮称> 定員 80名**

国際食料情報学部 世田谷キャンパス

**新設 国際食農科学科※<仮称> 定員 100名**

“生きる”を支える

# 東京農業大学

TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE FOUNDED IN 1891

※学部・学科の概要等は予定であり、変更する場合があります。

# 「農のこころ」を育み “生きる”を支える東京農業大学



東京農業大学 学長

農学博士 高野 克己

東京農大は生命・食料・環境・健康・エネルギー・地域再生など、人類の生存に関わる幅広い農学領域を対象に、国内外の様々な課題解決に取り組んでいます。

人類はその叡智により自然の恵みを享受し、高度に複雑化した現代社会を創造しました。一方では、地球規模の気候変動に伴う環境変化と自然災害の増加、人口増加による食料危機、水不足、生活環境の悪化、経済格差の拡大など、地球とそこに生きる多様な生き物、人類の生存を脅かす課題に直面しています。

東京農大は建学の精神「人物を畠に還す」と教育・研究の理念「実学主義」に基づき、世界水準の先端研究と生命を大切にする「農のこころ」を育む実学教育を推進し、未来の問題を解決できる人物をグローバル社会に輩出します。

東京農大は、農と生命を科学し、“生きる”を支えるエシカル（環境保全・社会貢献など）な社会の構築を目指します。

## 学部改組の趣旨

### 新設 ●生命科学部（新設・仮称）※<sup>1</sup>

生物の設計図である遺伝子は、生命のメカニズムの情報を伝える物質であり、それを利用して人々の生活をより豊かにする試みに、社会の注目が年々高まっています。また、生命を作り機能させている化学反応と、最もシンプルな生物である微生物の研究・応用は、環境、食料、健康、エネルギーなどの新技術開発に貢献する大きな潜在能力を秘めています。生命の本質を科学する本学部では、基盤をなす分子・遺伝子・細胞からまるごとの微生物・動植物まで幅広い理解をベースに、それらの解析と革新的な活用法の探求に主眼をおいています。その専門教育と研究活動の成果によって、将来にわたり社会問題の解決に貢献し国際的に活躍できる人材の育成をめざしていきます。

### ●地域環境科学部

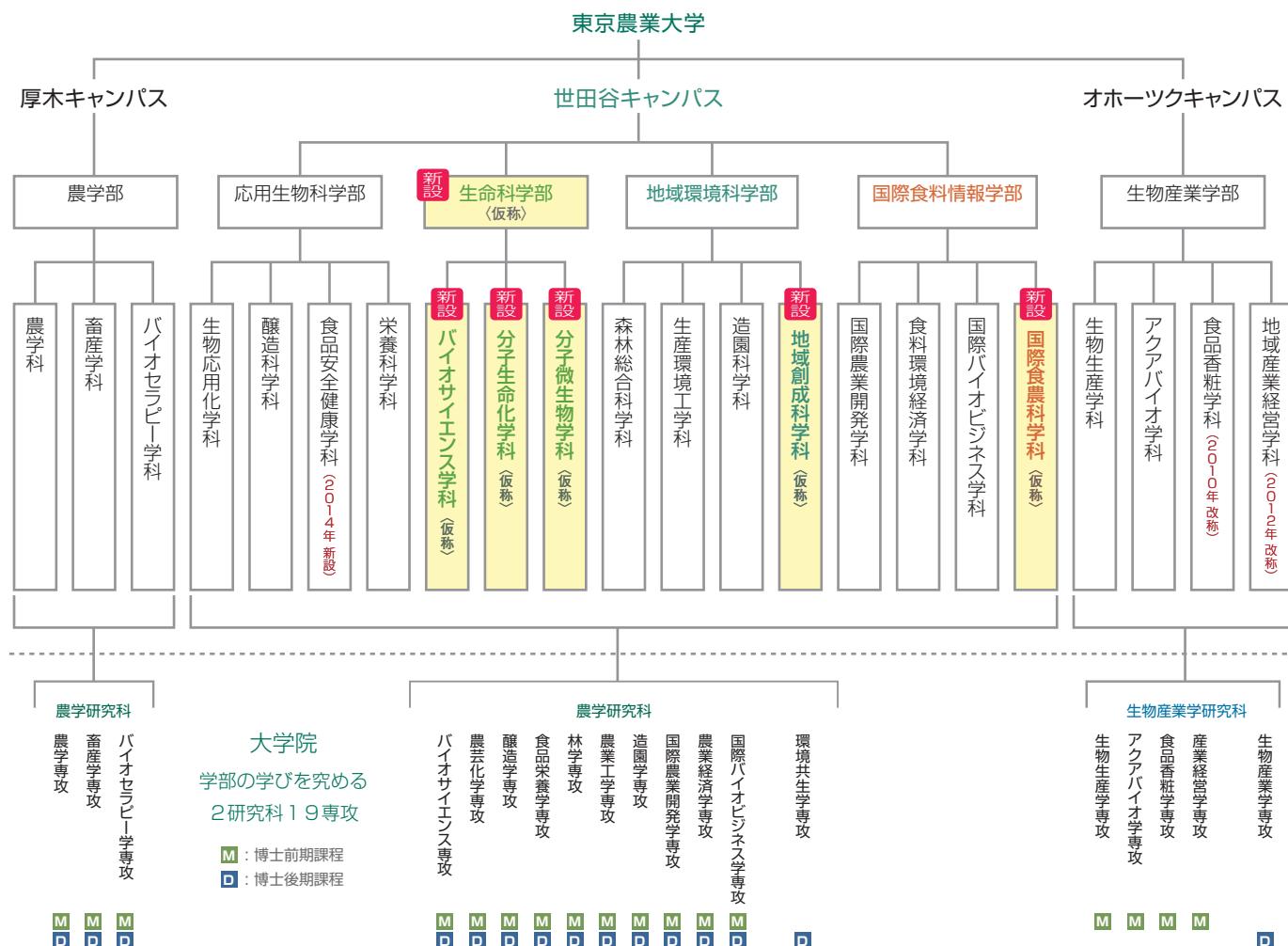
近年、地球温暖化や気候変動などによって巨大台風の襲来や局地的豪雨、猛暑日など地球規模の環境問題が表面化しています。2013年6月のリオ+20では「グリーンエコノミー」が提言され、環境問題への具体的な取り組みが世界的に問われています。社会では、生産力優先から生活重視へ、開発主義から生物多様性保全へ、さらに地域づくりの視点もグローバル経済からローカル経済重視へと変化してきました。そのため新たな地域環境科学部では、21世紀の環境の時代における「地域づくり」や「地域再生」を基本理念に、農学系の知識や技術を基礎として、持続可能な循環型社会の構築に貢献し、地域で活躍できる人材の育成をめざします。

### ●国際食料情報学部

日本の「和食」が世界無形文化遺産に、「能登の里山里海」等が世界農業遺産に登録されるなど、近年、伝統的な食農文化に対する国民の関心が増大しています。こうした背景から、農業生産をとりまく社会では、地域の食農文化を継承し世界に発信していくことのできる人材、また、農業を基盤とした経営の6次産業化の発展に貢献できる人材、さらに食の世界市場に向けた経営展開を実現できる人材の育成が欠かせない時代を迎えています。そのため「日本と世界の食料・農業・農村問題の解決に向けて、国際的情報網の活用のもと、総合的・実践的に挑戦する」を国際食料情報学部の基本理念とし、社会のニーズに応え、活躍できる人材の育成をめざします。

※1 学部・学科の概要等は予定であり、変更する場合があります。

# 多様な農学分野をカバーする 3キャンパス6学部22学科へ



## 生命科学部

# バイオサイエンス学科

<仮称／設置構想中>

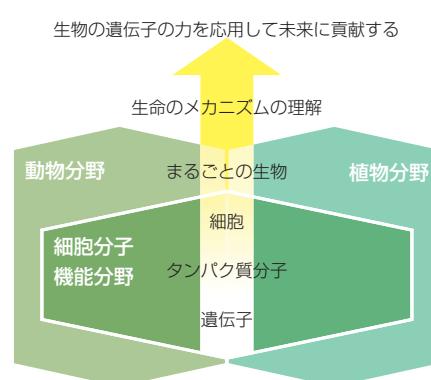
## 学科のキーワード

- ◆動物 ◆植物 ◆細胞 ◆機能分子 ◆遺伝子操作 ◆ゲノム
- ◆脳 ◆発生 ◆細胞培養 ◆増殖・分化 ◆育種 ◆遺伝子工学
- ◆植物の環境耐性 ◆創薬 ◆機能性食品開発 ◆イメージング

## 遺伝子の力を解き明かし、未来の生活に貢献する

遺伝子は生物の設計図。最先端のバイオ技術を駆使して、遺伝子の働きを解き明かし、遺伝子の力を最大限に引き出して、人類が抱えている食料、健康、環境の諸問題の解決をめざします。細胞、そして動物と植物を研究対象として、遺伝子操作を中心とした遺伝子工学技術から、生きている生物の内部を観察するライブイメージング（可視化）技術に至るまで、基礎・専門的の技法を身につけます。講義では最先端の知識を学習します。

### ●教育課程の特色



### ■取得資格(予定)

中学校教諭一種免許状(理科)<sup>\*2</sup>  
高等学校教諭一種免許状(理科／農業)<sup>\*2</sup>  
危険物取扱責任者、学芸員、司書

### ■予想される進路

大学院、化学系企業、製薬企業、環境科学・生物関連企業、食品系企業など

### 予想される研究テーマ

- 遺伝子操作マウスを用いたレチノイン酸(ビタミンA)により記憶力が良くなるメカニズムの解析 ●藻類の細胞増殖制御に関する研究 ●生物間コミュニケーション分子の解析 ●哺乳動物の未熟な卵子を成熟させる体外培養法の確立 ●イネ乾燥耐性品種選抜のためのDNAマーカー探索 ●植物の低温驯化プロセスにおけるタンパク質リン酸化酵素活性化の分子機構

\*1 学部・学科の概要等は予定であり、変更する場合があります。

\*2 課程認定申請予定。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

生命科学部

# 分子生命化学科<sup>\*1</sup>

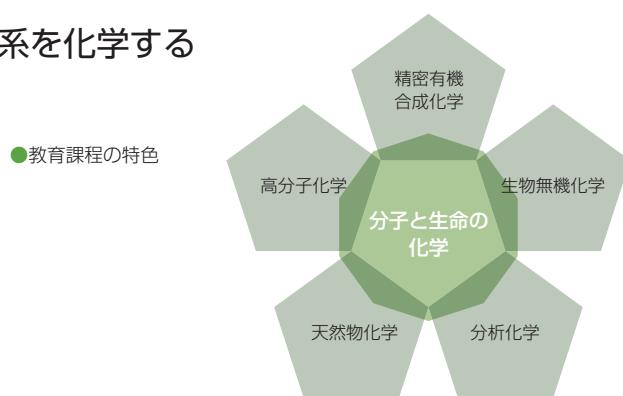
<仮称／設置構想中>

学科のキーワード

- ◆原子・分子 ◆化学力養成 ◆農学領域を化学の視点から
- ◆日常生活で取り扱う最小単位 ◆遺伝子よりも小さい
- ◆新物質の探究 ◆バイオプラスチック

## 原子・分子の視点から生命、農業、生態系を化学する

生物圏のあらゆる“生命”現象には、原子・分子が関わっています。この原子・分子の動きを化学的な視点で解き明かしていくことで、これから農学の可能性をより広げていくことを狙いとしています。精密有機合成化学、天然物化学を中心に、高分子化学、分析化学を基盤とする研究・教育を展開、また大学院への進学もサポートし、汎用性のある基礎力を有する人材を育成します。さらに、農場実習などの「農の現場を知る」ための実習も行います。



### ■取得資格(予定)

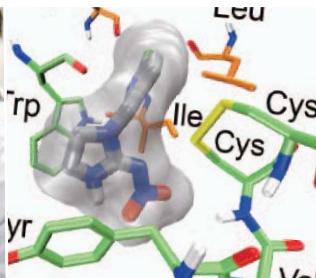
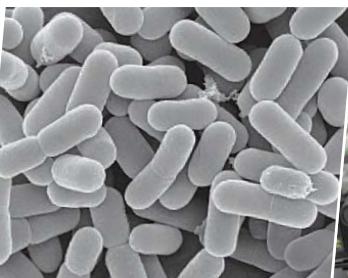
中学校・高等学校教諭一種免許状(理科)<sup>\*2</sup>、  
危険物取扱責任者、学芸員、司書

### ■予想される進路

大学院、化学系企業、製薬企業、公務員、環境科学・生物関連企業など

### 予想される研究テーマ

- 超微量で生物の機能・行動に影響を与える物質の設計
- 植物・動物・微生物からの新規有用化合物の探索および分離
- 生物学的・化学的手法によるバイオプラスチックの創製
- 細胞を構成する有機分子の解析・合成
- 医療・農薬の開発につながる天然有機化合物の合成



生命科学部

# 分子微生物学科<sup>\*1</sup>

<仮称／設置構想中>

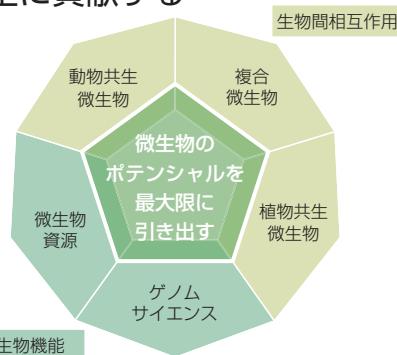
学科のキーワード

- ◆微生物探索 ◆プロバイオティクスと健康 ◆病原菌応答 ◆生物間相互作用
- ◆ゲノム ◆バイオインフォマティクス ◆環境浄化 ◆有用物質生産
- ◆発酵代謝 ◆腸内細菌 ◆極限微生物 ◆微細藻類

## 微生物を先端科学で追求し、動植物の健全な生育と環境保全に貢献する

微生物は地球上の最もシンプルな生命体。あらゆる環境に生息しますが、これまでに見つかっている微生物種はほんの数%にすぎません。植物や動物、そして広大な地球環境を研究対象として、これまで未解明であったミクロの世界を先端科学のちからで追求することで、未来の農学分野への貢献を目指します。未解明の生命現象へ果敢に挑戦する独創性に富む人材の育成を目指します。

### ●教育課程の特色



### ■取得資格(予定)

中学校教諭一種免許状(理科)<sup>\*2</sup>、  
高等学校教諭一種免許状(理科／農業)<sup>\*2</sup>、  
学芸員、司書、危険物取扱責任者

### ■予想される進路

大学院、バイオ産業、製薬企業、食品産業、発酵産業、  
健康産業、検査業界、環境科学、公務員、教員

### 予想される研究テーマ

- 未知微生物の探索と有用な生命現象の発見
- ゲノム情報を活用した微生物の新規機能開発
- 植物・微生物間の病原応答機構に関する分子応答解析
- 微生物に対する動物の生体防御機構
- 極限環境微生物が持つ環境ストレス耐性能力の有効利用
- 乳酸菌のゲノムネットワーク解析による有用物質生産
- 酵母と乳酸菌の協調的増幅に関わる因子の推定
- 腸内細菌が健康におよぼす影響

\*1 学部・学科の概要等は予定であり、変更する場合があります。

\*2 課程認定申請予定。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

## 地域環境科学部

# 地域創成科学科<sup>※1</sup>

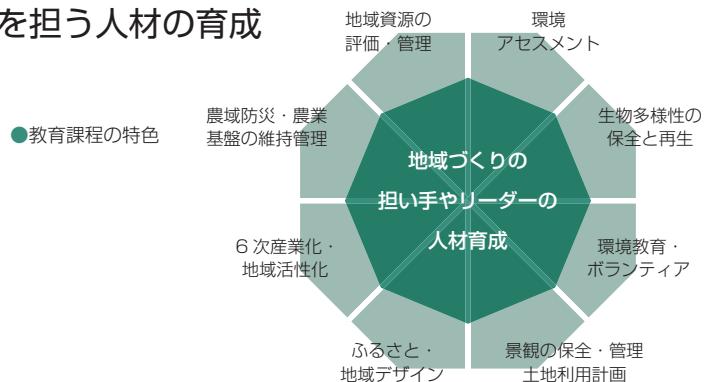
<仮称／設置構想中>

### 学科のキーワード

- ◆生物多様性 ◆土地利用 ◆自然再生 ◆SATOYAMA
- ◆地域防災 ◆農業施設 ◆農村都市交流 ◆地域貢献 ◆環境教育
- ◆農山村インターンシップ

## 持続可能な循環型社会の再構築とそれを担う人材の育成

里山などの“地域”的伝統的な文化や知恵と最新の技術を融合させ、持続可能な土地利用の構築、地域づくりの実現に貢献します。地域が抱える問題を総合的に捉え、生物多様性や生態系に配慮した土地利用、地域防災に関する保全・管理技術、環境教育、政策立案、地域マネジメントといった実学型教育を通じて、地域づくりの担い手やリーダーになり得る人材の育成を目指します。



### ■取得資格(予定)

高等学校教諭一種免許状(農業)<sup>※2</sup>、学芸員、司書、測量士補、自然再生士補、樹木医補、技術士補

### ■予想される進路

大学院、農産物流通業、建設業(土木・造園)、農業協同組合、観光・レクリエーション業、地方自治体、教員など

### 予想される研究テーマ

- 伝統的な草地利用による春植物の保全 ●農地や樹林地におけるファイトレメディエーション ●動植物、植生調査による自然空間の実態把握 ●気象観測データによる土砂災害の予測と最適避難経路の選定
- 食品廃棄物の肥料化による地域内の窒素・炭素循環 ●住民参加型の農業施設管理とその経済性評価
- ボランティアによる中山間地の草地管理と景観認識調査



## 国際食料情報学部

# 国際食農科学科<sup>※1</sup>

<仮称／設置構想中>

### 学科のキーワード

- ◆和食 日本人の伝統的な食文化 ◆世界農業遺産 ◆伝統野菜
- ◆食育 ◆農業の教育力 ◆食のマルシェ ◆6次産業化 ◆フードツーリズム
- ◆地産地消 ◆スローフード ◆フェアトレード

## 世界に向けて日本の食農技術・文化を展開

日本の食と農に関する文化、それらを支える栽培や加工技術は、今日、世界的に注目を集めています。本学科では、農学の柱となる生産科学系、食品科学系、食農文化系、食農政策系、食農教育系などの多様性のある教育システムで、総合的に食と農の伝統と新たな発展の可能性を理解し、国際的な視野で活躍できる人材の育成を目指します。

### ●教育課程の特色



### ■取得資格(予定)

高等学校教諭一種免許状(農業)<sup>※2</sup>、学芸員、司書、食の6次産業化プロデューサー、フードスペシャリスト

### ■予想される進路

大学院、食品系商社、総合商社、食品メーカー、貿易、広告・マスコミ、農業協同組合・生活協同組合、NPO、公務員、教員、新規就農、農業法人など

### 予想される研究テーマ

- 食文化・農村文化と地域振興 ●都市農村交流による地域活性化とメディア戦略 ●調理加工特性を活かした食品素材の有効利用
- 食品の機能性に関する研究 ●伝統野菜の生理・生態に関する研究
- 世界のフェアトレードによる国際貢献活動に関する研究 ●海外における学校菜園の教育効果
- 食育プログラムの開発

※1 学部・学科の概要等は予定であり、変更する場合があります。

※2 課程認定申請予定。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

## 緑あふれる都市型キャンパス

東京農業大学のメインキャンパスである世田谷キャンパスは、小田急線経堂駅を最寄りとしています。新宿まで30分強、渋谷へは正門前バス停からやはり30分程度ということもあり、非常に都心にアクセスしやすい立地にあります。

広い敷地内には、100種類以上の樹木があふれ、落ち着いた雰囲気に包まれています。講義棟である1号館、図書館やコンピュータセンターが入った「農大アカデミアセンター」など、新校舎も次々に誕生しています。



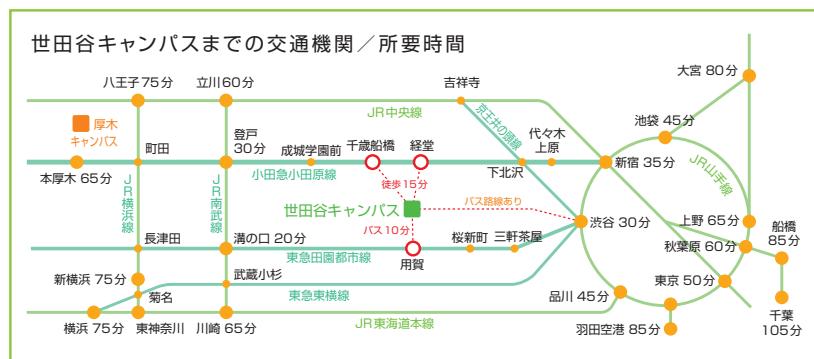
キャンパスより新宿方面を望む



6階建ての講義棟・1号館



芝生がひろがる「ユリノキ広場」は学生の人気スポット



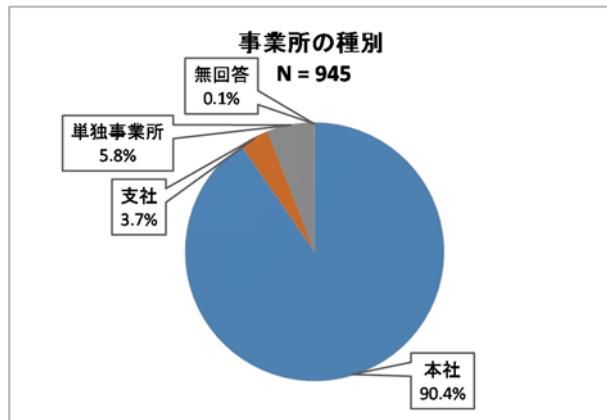
東京農業大学  
www.nodai.ac.jp

お問い合わせ先

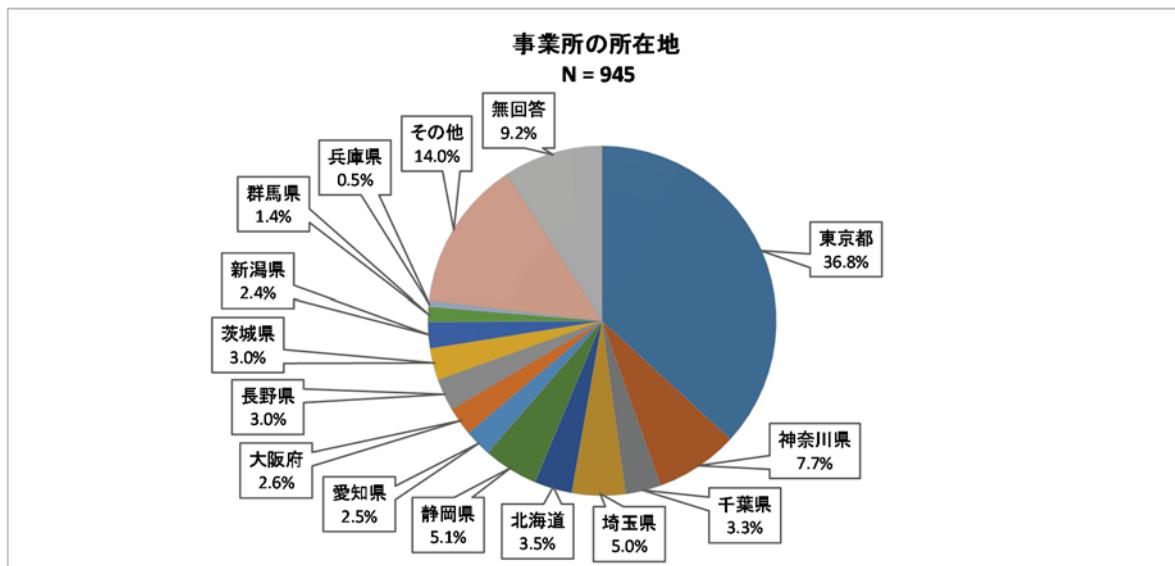
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1  
TEL.03-5477-2226 (入試センター)

# 单纯集計表

| 事業所の種別 |          |     |       |
|--------|----------|-----|-------|
| No.    | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
| 1      | 本社       | 854 | 90.4  |
| 2      | 支社       | 35  | 3.7   |
| 3      | 単独事業所    | 55  | 5.8   |
|        | 無回答      | 1   | 0.1   |
|        | N (%ベース) | 945 | 100   |



| 事業所の所在地 |          |     |       |
|---------|----------|-----|-------|
| No.     | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
| 1       | 東京都      | 348 | 36.8  |
| 2       | 神奈川県     | 73  | 7.7   |
| 3       | 千葉県      | 31  | 3.3   |
| 4       | 埼玉県      | 47  | 5.0   |
| 5       | 北海道      | 33  | 3.5   |
| 6       | 静岡県      | 48  | 5.1   |
| 7       | 愛知県      | 24  | 2.5   |
| 8       | 大阪府      | 25  | 2.6   |
| 9       | 長野県      | 28  | 3.0   |
| 10      | 茨城県      | 28  | 3.0   |
| 11      | 新潟県      | 23  | 2.4   |
| 12      | 群馬県      | 13  | 1.4   |
| 13      | 兵庫県      | 5   | 0.5   |
| 14      | その他      | 132 | 14.0  |
|         | 無回答      | 87  | 9.2   |
|         | N (%ベース) | 945 | 100   |

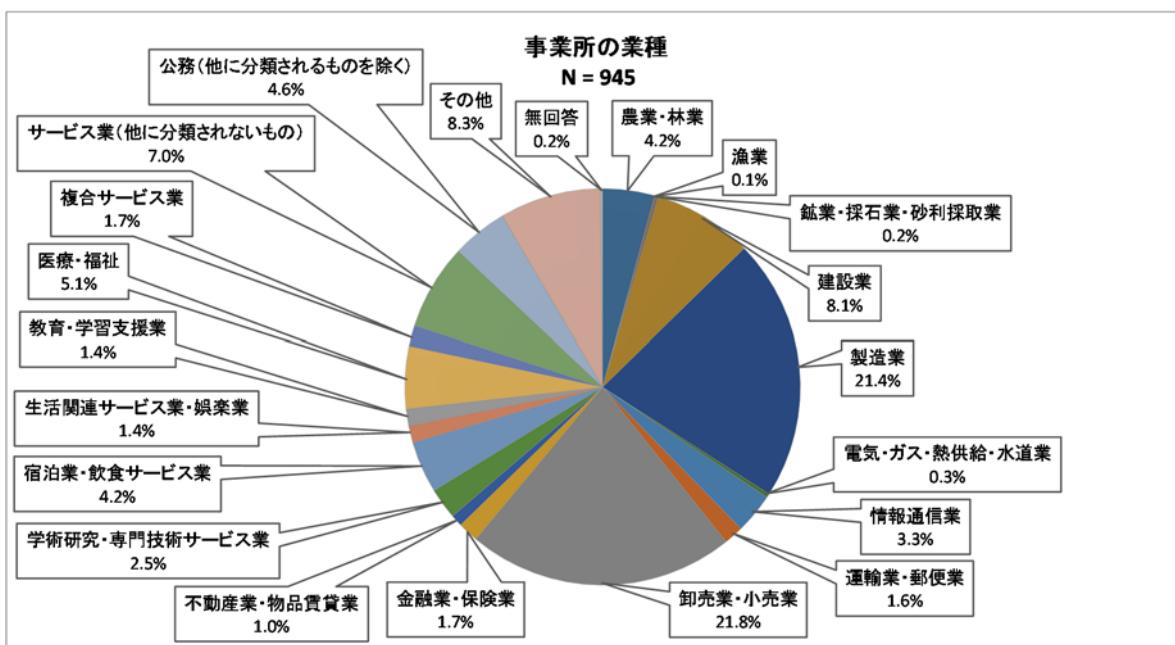


### 事業所の業種

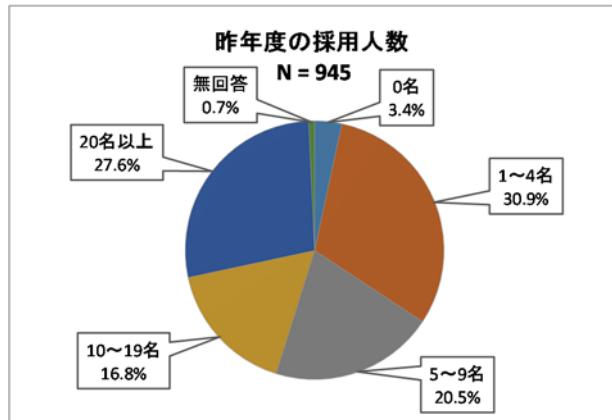
| No. | カテゴリ              | 件数  | (全体)% |
|-----|-------------------|-----|-------|
| 1   | 農業・林業             | 40  | 4.2   |
| 2   | 漁業                | 1   | 0.1   |
| 3   | 鉱業・採石業・砂利採取業      | 2   | 0.2   |
| 4   | 建設業               | 77  | 8.1   |
| 5   | 製造業               | 202 | 21.4  |
| 6   | 電気・ガス・熱供給・水道業     | 3   | 0.3   |
| 7   | 情報通信業             | 31  | 3.3   |
| 8   | 運輸業・郵便業           | 15  | 1.6   |
| 9   | 卸売業・小売業           | 206 | 21.8  |
| 10  | 金融業・保険業           | 16  | 1.7   |
| 11  | 不動産業・物品貯蔵業        | 9   | 1.0   |
| 12  | 学術研究・専門技術サービス業    | 24  | 2.5   |
| 13  | 宿泊業・飲食サービス業       | 40  | 4.2   |
| 14  | 生活関連サービス業・娯楽業     | 13  | 1.4   |
| 15  | 教育・学習支援業          | 13  | 1.4   |
| 16  | 医療・福祉             | 48  | 5.1   |
| 17  | 複合サービス業           | 16  | 1.7   |
| 18  | サービス業(他に分類されないもの) | 66  | 7.0   |
| 19  | 公務(他に分類されるものを除く)  | 43  | 4.6   |
| 20  | その他               | 78  | 8.3   |
|     | 無回答               | 2   | 0.2   |
|     | N (%ベース)          | 945 | 100   |

### 事業所の業種

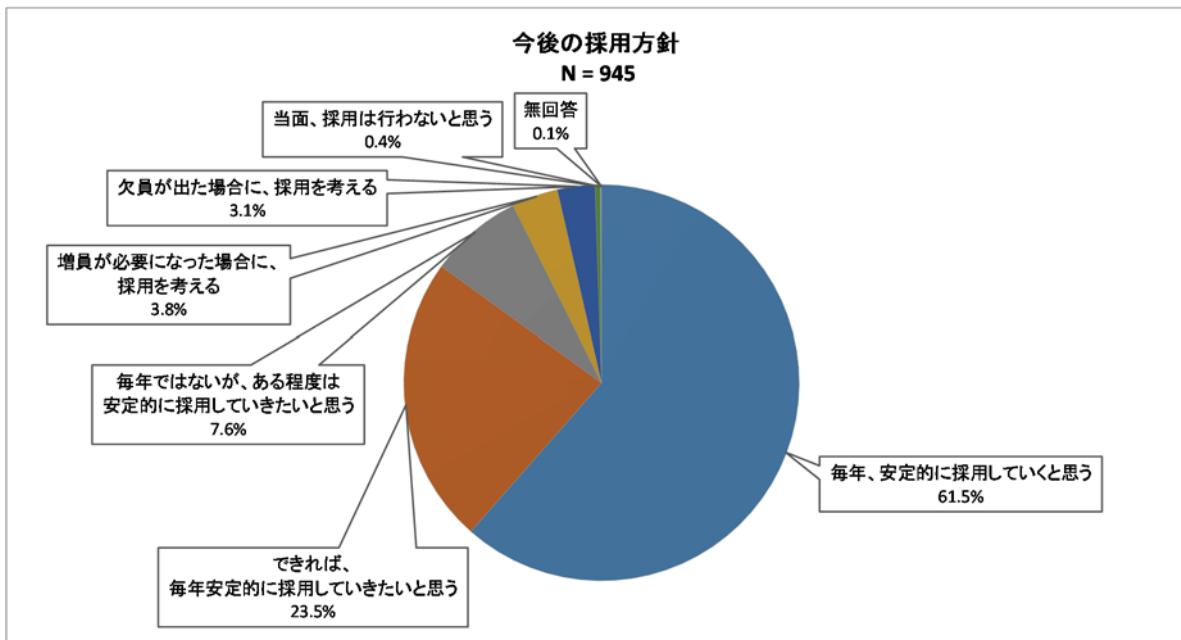
N = 945



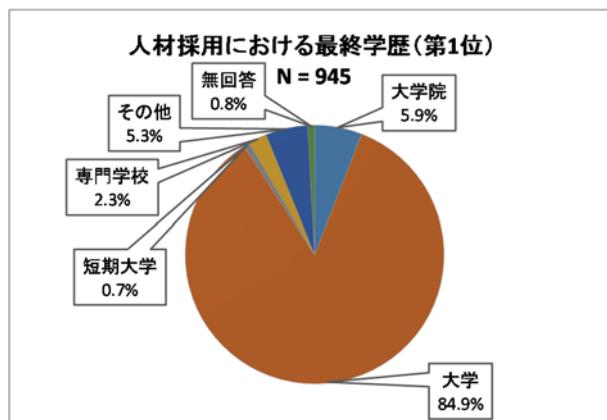
| 昨年度の採用人数 |          |     |       |
|----------|----------|-----|-------|
| No.      | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
| 1        | 0名       | 32  | 3.4   |
| 2        | 1~4名     | 292 | 30.9  |
| 3        | 5~9名     | 194 | 20.5  |
| 4        | 10~19名   | 159 | 16.8  |
| 5        | 20名以上    | 261 | 27.6  |
|          | 無回答      | 7   | 0.7   |
|          | N (%ベース) | 945 | 100   |



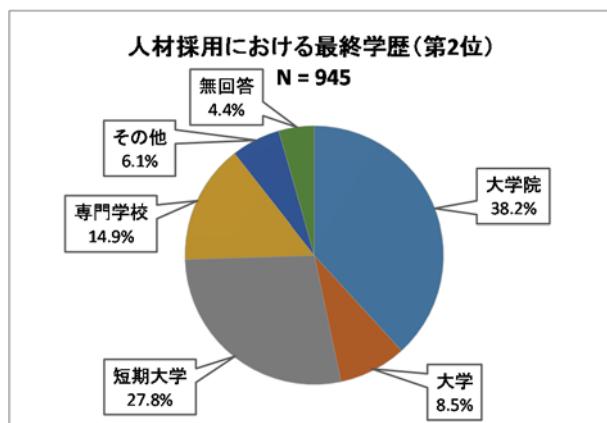
| 今後の採用方針 |                              |     |       |
|---------|------------------------------|-----|-------|
| No.     | カテゴリ                         | 件数  | (全体)% |
| 1       | 毎年、安定的に採用していくと思う             | 581 | 61.5  |
| 2       | できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う       | 222 | 23.5  |
| 3       | 毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う | 72  | 7.6   |
| 4       | 増員が必要になった場合に、採用を考える          | 36  | 3.8   |
| 5       | 欠員が出た場合に、採用を考える              | 29  | 3.1   |
| 6       | 当面、採用は行わないと思う                | 4   | 0.4   |
|         | 無回答                          | 1   | 0.1   |
|         | N (%ベース)                     | 945 | 100   |



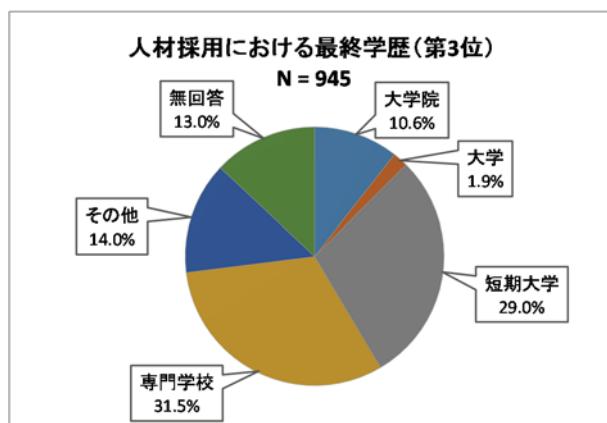
| 人材採用における最終学歴(第1位) |          |     |       |
|-------------------|----------|-----|-------|
| No.               | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
| 1                 | 大学院      | 56  | 5.9   |
| 2                 | 大学       | 802 | 84.9  |
| 3                 | 短期大学     | 7   | 0.7   |
| 4                 | 専門学校     | 22  | 2.3   |
| 5                 | その他      | 50  | 5.3   |
|                   | 無回答      | 8   | 0.8   |
|                   | N (%ベース) | 945 | 100   |



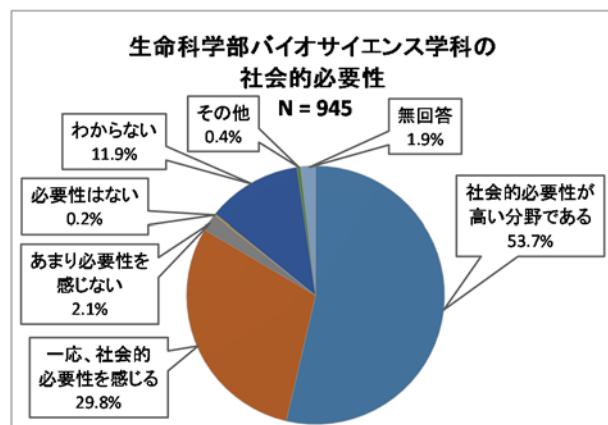
| 人材採用における最終学歴(第2位) |          |     |       |
|-------------------|----------|-----|-------|
| No.               | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
| 1                 | 大学院      | 361 | 38.2  |
| 2                 | 大学       | 80  | 8.5   |
| 3                 | 短期大学     | 263 | 27.8  |
| 4                 | 専門学校     | 141 | 14.9  |
| 5                 | その他      | 58  | 6.1   |
|                   | 無回答      | 42  | 4.4   |
|                   | N (%ベース) | 945 | 100   |



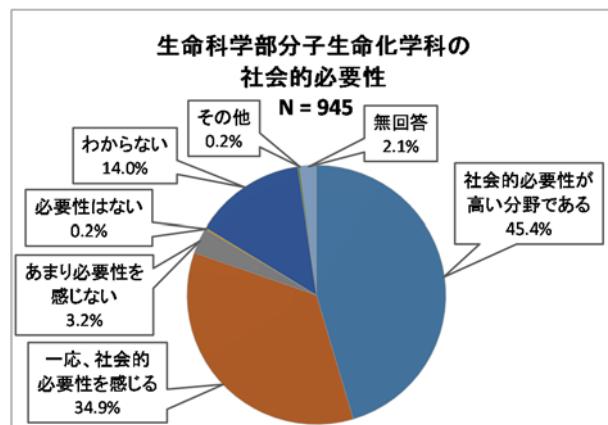
| 人材採用における最終学歴(第3位) |          |     |       |
|-------------------|----------|-----|-------|
| No.               | カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
| 1                 | 大学院      | 100 | 10.6  |
| 2                 | 大学       | 18  | 1.9   |
| 3                 | 短期大学     | 274 | 29.0  |
| 4                 | 専門学校     | 298 | 31.5  |
| 5                 | その他      | 132 | 14.0  |
|                   | 無回答      | 123 | 13.0  |
|                   | N (%ベース) | 945 | 100   |



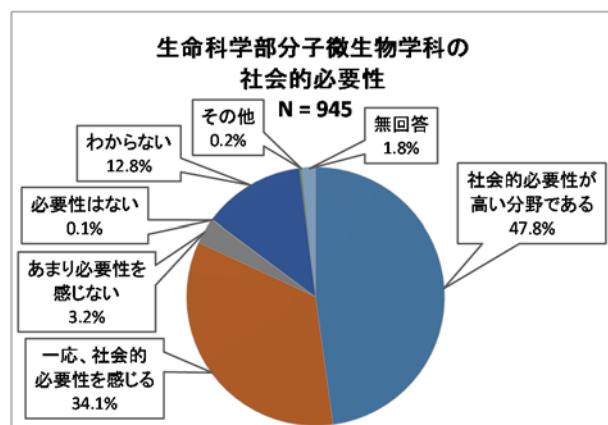
| 生命科学部バイオサイエンス学科の社会的必要性 |                |          |
|------------------------|----------------|----------|
| No.                    | カテゴリ           | 件数 (全体)% |
| 1                      | 社会的必要性が高い分野である | 507 53.7 |
| 2                      | 一応、社会的必要性を感じる  | 282 29.8 |
| 3                      | あまり必要性を感じない    | 20 2.1   |
| 4                      | 必要性はない         | 2 0.2    |
| 5                      | わからない          | 112 11.9 |
| 6                      | その他            | 4 0.4    |
|                        | 無回答            | 18 1.9   |
|                        | N (%ベース)       | 945 100  |



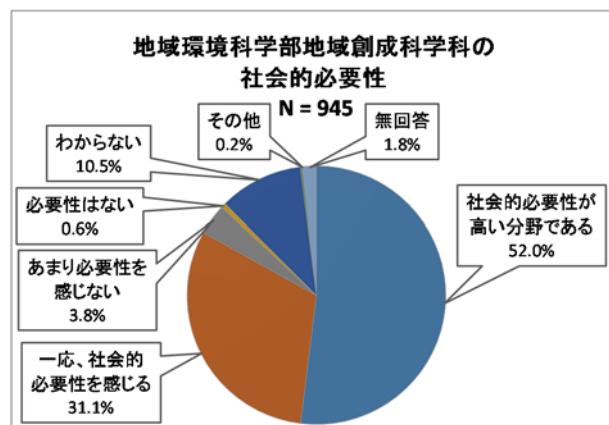
| 生命科学部分子生命化学科の社会的必要性 |                |          |
|---------------------|----------------|----------|
| No.                 | カテゴリ           | 件数 (全体)% |
| 1                   | 社会的必要性が高い分野である | 429 45.4 |
| 2                   | 一応、社会的必要性を感じる  | 330 34.9 |
| 3                   | あまり必要性を感じない    | 30 3.2   |
| 4                   | 必要性はない         | 2 0.2    |
| 5                   | わからない          | 132 14.0 |
| 6                   | その他            | 2 0.2    |
|                     | 無回答            | 20 2.1   |
|                     | N (%ベース)       | 945 100  |



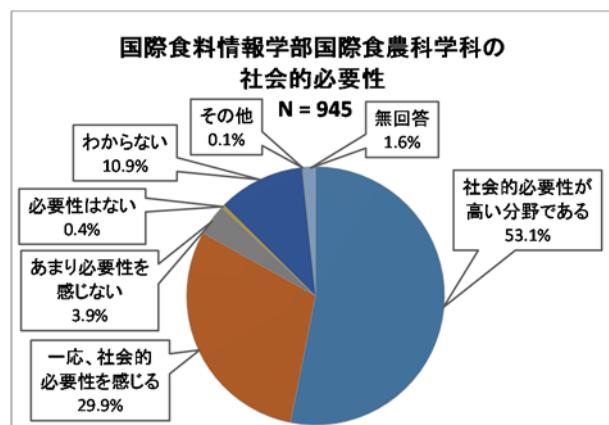
| 生命科学部分子微生物学科の社会的必要性 |                |          |
|---------------------|----------------|----------|
| No.                 | カテゴリ           | 件数 (全体)% |
| 1                   | 社会的必要性が高い分野である | 452 47.8 |
| 2                   | 一応、社会的必要性を感じる  | 322 34.1 |
| 3                   | あまり必要性を感じない    | 30 3.2   |
| 4                   | 必要性はない         | 1 0.1    |
| 5                   | わからない          | 121 12.8 |
| 6                   | その他            | 2 0.2    |
|                     | 無回答            | 17 1.8   |
|                     | N (%ベース)       | 945 100  |



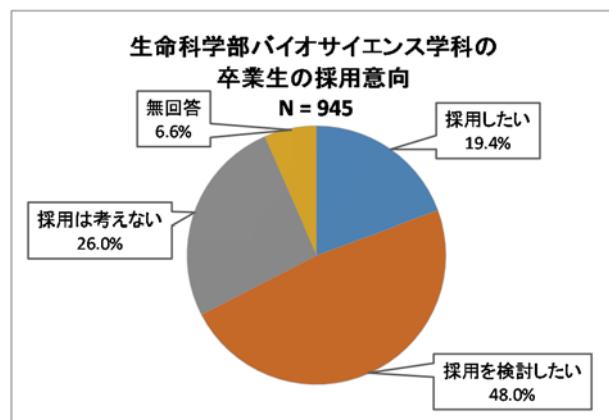
| 地域環境科学部地域創成科学科の社会的必要性 |                |          |
|-----------------------|----------------|----------|
| No.                   | カテゴリ           | 件数 (全体)% |
| 1                     | 社会的必要性が高い分野である | 491 52.0 |
| 2                     | 一応、社会的必要性を感じる  | 294 31.1 |
| 3                     | あまり必要性を感じない    | 36 3.8   |
| 4                     | 必要性はない         | 6 0.6    |
| 5                     | わからない          | 99 10.5  |
| 6                     | その他            | 2 0.2    |
|                       | 無回答            | 17 1.8   |
|                       | N (%ベース)       | 945 100  |



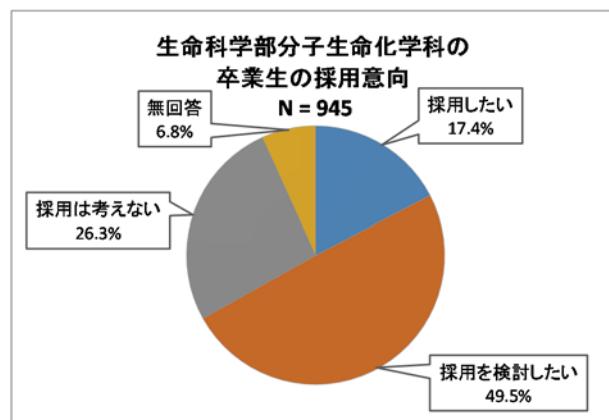
| 国際食料情報学部国際食農科学科の社会的必要性 |                |          |
|------------------------|----------------|----------|
| No.                    | カテゴリ           | 件数 (全体)% |
| 1                      | 社会的必要性が高い分野である | 502 53.1 |
| 2                      | 一応、社会的必要性を感じる  | 283 29.9 |
| 3                      | あまり必要性を感じない    | 37 3.9   |
| 4                      | 必要性はない         | 4 0.4    |
| 5                      | わからない          | 103 10.9 |
| 6                      | その他            | 1 0.1    |
|                        | 無回答            | 15 1.6   |
|                        | N (%ベース)       | 945 100  |



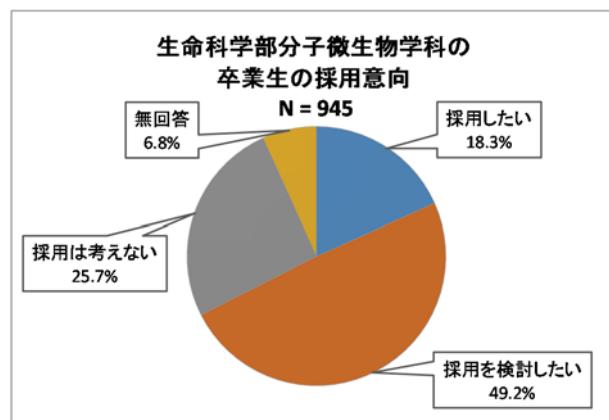
| 生命科学部バイオサイエンス学科の卒業生の採用意向 |          |          |
|--------------------------|----------|----------|
| No.                      | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                        | 採用したい    | 183 19.4 |
| 2                        | 採用を検討したい | 454 48.0 |
| 3                        | 採用は考えない  | 246 26.0 |
|                          | 無回答      | 62 6.6   |
| N (%ベース)                 |          | 945 100  |



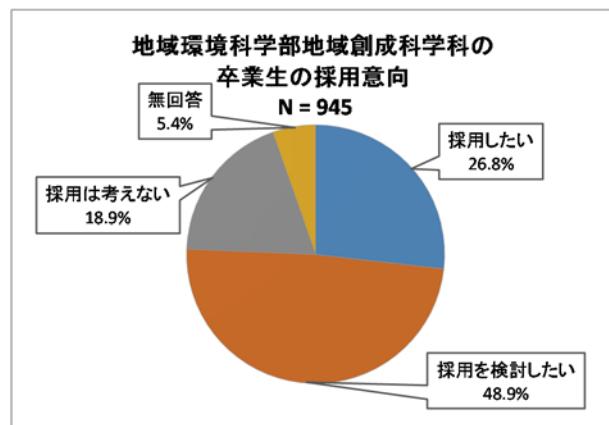
| 生命科学部分子生命化学科の卒業生の採用意向 |          |          |
|-----------------------|----------|----------|
| No.                   | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                     | 採用したい    | 164 17.4 |
| 2                     | 採用を検討したい | 468 49.5 |
| 3                     | 採用は考えない  | 249 26.3 |
|                       | 無回答      | 64 6.8   |
| N (%ベース)              |          | 945 100  |



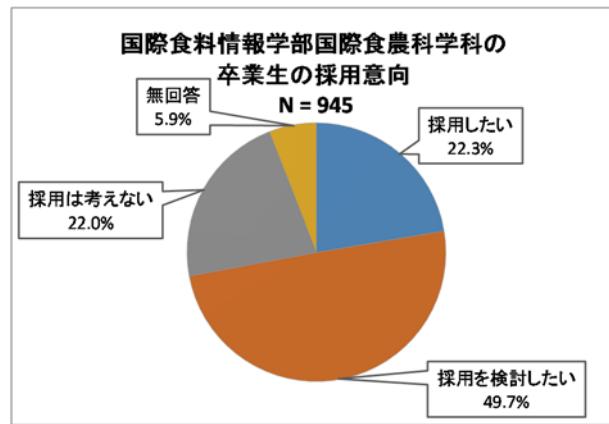
| 生命科学部分子微生物学科の卒業生の採用意向 |          |          |
|-----------------------|----------|----------|
| No.                   | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                     | 採用したい    | 173 18.3 |
| 2                     | 採用を検討したい | 465 49.2 |
| 3                     | 採用は考えない  | 243 25.7 |
|                       | 無回答      | 64 6.8   |
| N (%ベース)              |          | 945 100  |



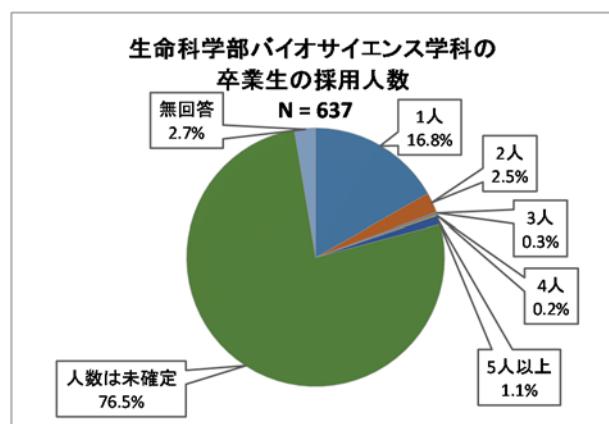
| 地域環境科学部地域創成科学科の卒業生の採用意向 |          |          |
|-------------------------|----------|----------|
| No.                     | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                       | 採用したい    | 253 26.8 |
| 2                       | 採用を検討したい | 462 48.9 |
| 3                       | 採用は考えない  | 179 18.9 |
|                         | 無回答      | 51 5.4   |
| N (%ペース)                |          | 945 100  |



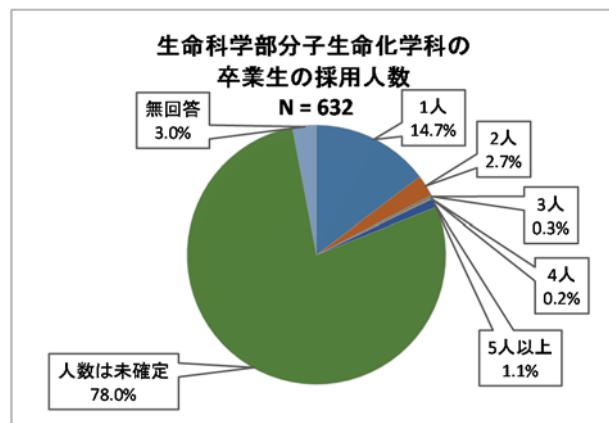
| 国際食料情報学部国際食農科学科の卒業生の採用意向 |          |          |
|--------------------------|----------|----------|
| No.                      | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                        | 採用したい    | 211 22.3 |
| 2                        | 採用を検討したい | 470 49.7 |
| 3                        | 採用は考えない  | 208 22.0 |
|                          | 無回答      | 56 5.9   |
| N (%ペース)                 |          | 945 100  |



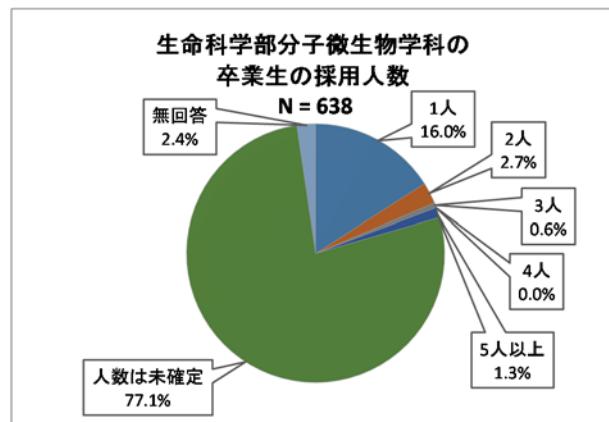
| 生命科学部バイオサイエンス学科の卒業生の採用人数 |          |          |
|--------------------------|----------|----------|
| No.                      | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                        | 1人       | 107 16.8 |
| 2                        | 2人       | 16 2.5   |
| 3                        | 3人       | 2 0.3    |
| 4                        | 4人       | 1 0.2    |
| 5                        | 5人以上     | 7 1.1    |
| 6                        | 人数は未確定   | 487 76.5 |
|                          | 無回答      | 17 2.7   |
|                          | N (%ベース) | 637 100  |



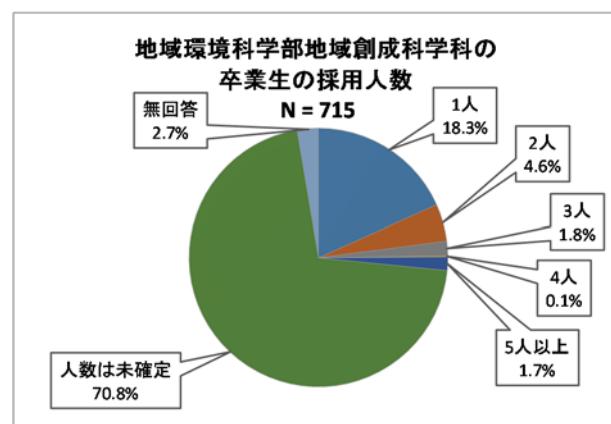
| 生命科学部分子生命化学科の卒業生の採用人数 |          |          |
|-----------------------|----------|----------|
| No.                   | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                     | 1人       | 93 14.7  |
| 2                     | 2人       | 17 2.7   |
| 3                     | 3人       | 2 0.3    |
| 4                     | 4人       | 1 0.2    |
| 5                     | 5人以上     | 7 1.1    |
| 6                     | 人数は未確定   | 493 78.0 |
|                       | 無回答      | 19 3.0   |
|                       | N (%ベース) | 632 100  |



| 生命科学部分子微生物学科の卒業生の採用人数 |          |          |
|-----------------------|----------|----------|
| No.                   | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                     | 1人       | 102 16.0 |
| 2                     | 2人       | 17 2.7   |
| 3                     | 3人       | 4 0.6    |
| 4                     | 4人       | 0 0.0    |
| 5                     | 5人以上     | 8 1.3    |
| 6                     | 人数は未確定   | 492 77.1 |
|                       | 無回答      | 15 2.4   |
|                       | N (%ベース) | 638 100  |



| 地域環境科学部地域創成科学科の卒業生の採用人数 |          |          |
|-------------------------|----------|----------|
| No.                     | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                       | 1人       | 131 18.3 |
| 2                       | 2人       | 33 4.6   |
| 3                       | 3人       | 13 1.8   |
| 4                       | 4人       | 1 0.1    |
| 5                       | 5人以上     | 12 1.7   |
| 6                       | 人数は未確定   | 506 70.8 |
|                         | 無回答      | 19 2.7   |
|                         | N (%ベース) | 715 100  |



| 国際食料情報学部国際食農科学科の卒業生の採用人数 |          |          |
|--------------------------|----------|----------|
| No.                      | カテゴリ     | 件数 (全体)% |
| 1                        | 1人       | 119 17.5 |
| 2                        | 2人       | 23 3.4   |
| 3                        | 3人       | 10 1.5   |
| 4                        | 4人       | 1 0.1    |
| 5                        | 5人以上     | 10 1.5   |
| 6                        | 人数は未確定   | 499 73.3 |
|                          | 無回答      | 19 2.8   |
|                          | N (%ベース) | 681 100  |

